令和４年度各会計決算関係資料

地方自治法第２３３条第５項及び同法第２４１条第５項の規定により、令和４年度の萩市一般会計及び萩市特別会計における主要な施策の成果に関する調書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書並びに定額の資金を運用するために設置した基金の運用状況に関する調書について、次のとおり提出する。

令和５年９月６日

萩市長　　田　中　文　夫

令和４年度各会計決算関係資料

目　　次

○ 主要な施策の成果に関する調書

第１　各会計の決算概況・・・ 1

第２　萩市一般会計について・・・ 2 ～ 208
1. 予算執行の概略・・・ 2 ～ 3
2. 最終予算額と決算額との比較・・・ 4 ～ 7
3. 前年度決算額との比較・・・ 8 ～ 15
4. 令和４年度決算の財政分析・・・ 16 ～ 25
5. 主要施策並びに事務事業実施状況・・・ 26 ～ 203
6. 公債費の状況・・・ 204 ～ 205
7. 市税の状況・・・ 206
8. 引上げ分の地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる社会保障４経費その他社会保障施策に要する経費・・・ 207
9. 入湯税の使途状況・・・ 208

第３　各種特別会計について・・・ 209 ～ 239
1. 萩市土地取得事業特別会計・・・ 209 ～ 211
2. 萩市国民健康保険事業（事業勘定）特別会計・・・ 212 ～ 219
3. 萩市国民健康保険事業（直診勘定）特別会計・・・ 220 ～ 225
4. 萩市休日急患診療事業特別会計・・・ 226 ～ 229
5. 萩市後期高齢者医療事業特別会計・・・ 230 ～ 233
6. 萩市介護保険事業特別会計・・・ 234 ～ 241

○ 歳入歳出決算事項別明細書・・・　別冊

○ 実質収支に関する調書・・・　別冊

○ 財産に関する調書・・・　別冊

○ 定額基金の運用状況に関する調書

第１　萩市土地開発基金・・・ 243 ～ 244

第２　萩市用品調達基金・・・ 245

主要な施策の成果に関する調書

第１　各会計の決算概況

令和４年度の各会計の決算概況は、次のとおりである。

（単位：円）

区分	一般 ①	土地取得 ②	国民健康保険（事業勘定） ③
歳入	31,353,187,165	514,558	6,612,525,820
歳出	30,547,198,629	514,558	6,610,669,820
歳入歳出差引額	805,988,536	0	1,856,000
翌年度へ繰り越すべき財源	184,688,789	0	0
実質収支額	621,299,747	0	1,856,000

区分	国民健康保険（直診勘定） ④	休日急患診療 ⑤	後期高齢者医療 ⑥
歳入	645,587,437	93,580,731	988,270,181
歳出	645,587,437	93,580,731	972,625,415
歳入歳出差引額	0	0	15,644,766
翌年度へ繰り越すべき財源	0	0	0
実質収支額	0	0	15,644,766

区分	介護保険 ⑦	特別会計合計 ⑧（②～⑦）	全会計合計 ⑨（①＋⑧）
歳入	5,824,860,084	14,165,338,811	45,518,525,976
歳出	5,721,727,569	14,044,705,530	44,591,904,159
歳入歳出差引額	103,132,515	120,633,281	926,621,817
翌年度へ繰り越すべき財源	0	0	184,688,789
実質収支額	103,132,515	120,633,281	741,933,028

第２　萩市一般会計について

１．予算執行の概略

当初予算については、通年予算として29,880,000,000円でスタートしました。

その後、新型コロナウイルス感染症、コロナ禍における原油価格や電気・ガス料金等の物価高騰及びエネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響に対応するため、生活者や事業者に係る様々な対策を行う事業、学校給食費の無償化に係る財源として学校給食基金を造成する事業、市内に工場を増設する事業者に対し、整備資金を無利子で貸し付ける事業の追加計上など13回の予算補正を行いました。その結果、補正後の予算額は、歳入歳出ともに 33,550,053,000 円となり、これに令和３年度からの繰越明許費 1,699,725,428 円を加えた最終予算額は 35,249,778,428 円となり、前年度と比べると予算規模は1,879,319,462円（5.1％）減少しました。

一方、決算規模では、歳入が31,353,187,165円（前年度33,521,557,491円）、歳出が30,547,198,629円（前年度32,006,737,222円）となり、前年度と比べると歳入で2,168,370,326円（6.5％）、歳出で1,459,538,593円（4.6％）それぞれ減少しました。（次ページのグラフを参照）

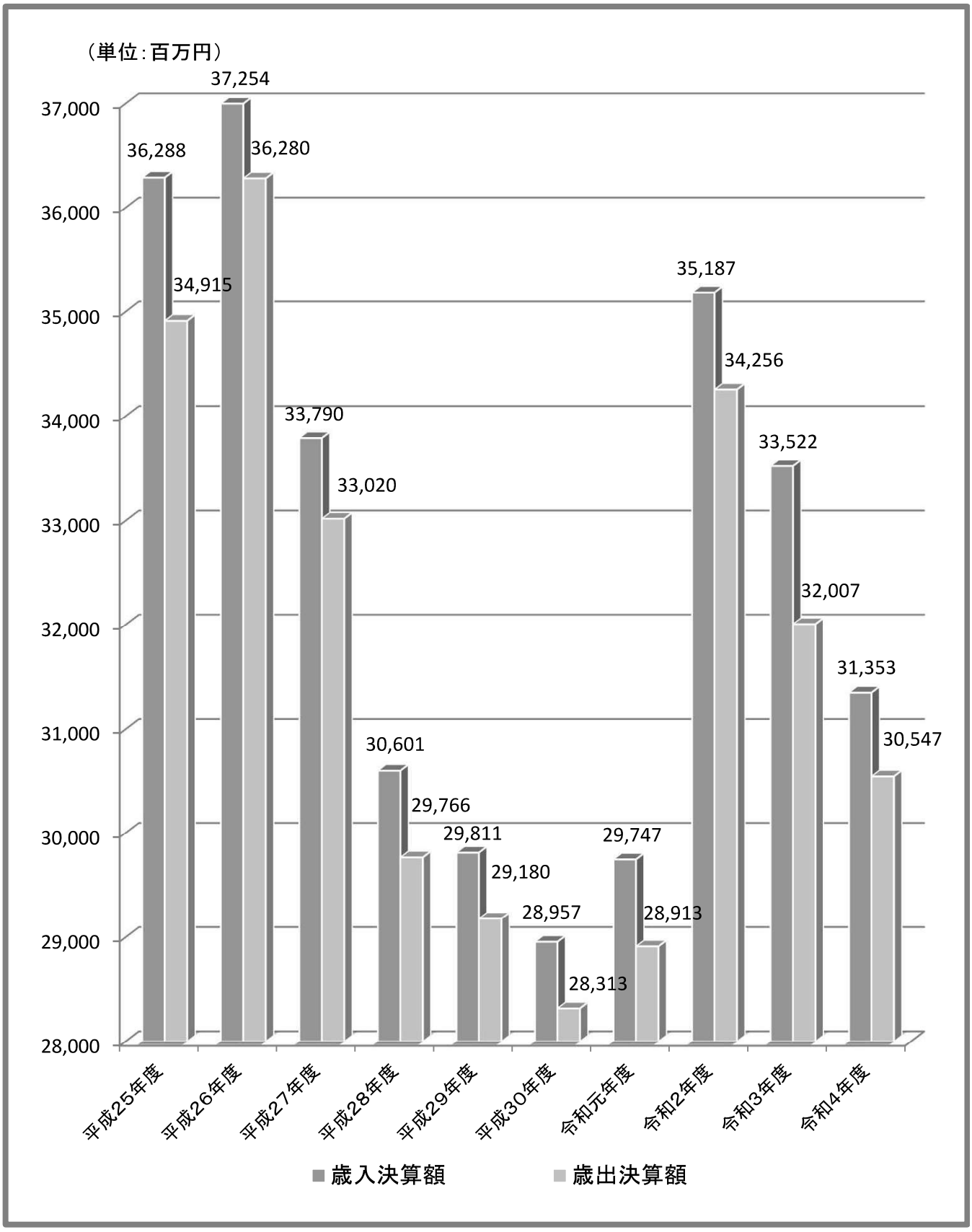
主な要因としては、新型コロナウイルス感染症の影響に対応した事業や旧明倫小学校３・４号棟整備事業、萩田万川温泉センター改修事業等が減少したことによるものです。

また、普通交付税は、前年度に引き続き、国税収入の補正等に伴い増額措置されたものの 306,549,000 円（2.8％）の減少、臨時財政対策債では、324,000,000 円（63.0％）の減少となりました。

これらの結果、歳入から歳出を差し引いた額は805,988,536円となり、繰越明許費等の財源として繰り越した額184,688,789円を差し引くと、その年度の決算状況の判断となる実質収支は621,299,747円で、黒字決算となりました。

また、当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた単年度収支に財政調整基金への積立金及び取崩し額並びに地方債の繰上償還額を加味する実質単年度収支については、326,038,957円の赤字となっています。

決算規模のすう勢


（単位：百万円）
37,000
36,000
35,000
34,000
33,000
32,000
31,000
30,000
29,000
28,000
36,288
34,915
37,254
36,280
33,790
33,020
30,601
29,766
29,811
29,180
28,957
28,313
29,747
28,913
35,187
34,256
33,522
32,007
31,353
30,547
平成25年度
平成26年度
平成27年度
平成28年度
平成29年度
平成30年度
令和元年度
令和2年度
令和3年度
令和4年度
歳入決算額
歳出決算額

２．最終予算額と決算額との比較

第１表　歳入

款	当初予算額	最終予算額(A)	決算額(B)	増減額(B)－(A)
1. 市税	5,075,620,000	5,075,620,000	5,121,891,703	46,271,703
2. 地方譲与税	344,700,000	344,700,000	320,002,500	△ 24,697,500
3. 利子割交付金	5,000,000	5,000,000	3,326,000	△ 1,674,000
4. 配当割交付金	20,000,000	20,000,000	23,927,000	3,927,000
5. 株式等譲渡所得割交付金	8,000,000	8,000,000	17,640,000	9,640,000
6. 法人事業税交付金	40,000,000	40,000,000	95,818,000	55,818,000
7. 地方消費税交付金	1,000,000,000	1,000,000,000	1,112,691,000	112,691,000
8. ゴルフ場利用税交付金	3,000,000	3,000,000	4,013,030	1,013,030
9. 環境性能割交付金	25,000,000	25,000,000	29,139,000	4,139,000
10. 地方特例交付金	20,000,000	20,302,000	27,005,000	6,703,000
11. 地方交付税	11,850,000,000	12,260,999,000	12,374,307,000	113,308,000
12. 交通安全対策特別交付金	5,500,000	5,500,000	4,798,000	△ 702,000
13. 分担金及び負担金	287,670,000	300,017,019	283,299,593	△ 16,717,426
14. 使用料及び手数料	485,250,000	485,250,000	482,433,445	△ 2,816,555
15. 国庫支出金	2,962,500,000	5,192,786,186	4,095,374,912	△ 1,097,411,274
16. 県支出金	2,419,763,000	2,583,629,160	2,242,935,314	△ 340,693,846
17. 財産収入	116,882,000	116,882,000	132,056,640	15,174,640
18. 寄附金	207,840,000	207,840,000	163,169,935	△ 44,670,065
19. 繰入金	2,150,765,000	1,983,582,000	421,893,771	△ 1,561,688,229
20. 繰越金	1,000	1,514,820,080	1,514,820,269	189
21. 諸収入	759,109,000	791,350,983	862,045,053	70,694,070
22. 市債	2,093,400,000	3,265,500,000	2,020,600,000	△ 1,244,900,000
合計	29,880,000,000	35,249,778,428	31,353,187,165	△ 3,896,591,263

（注）最終予算額は、令和３年度からの繰越事業費を含む。

（単位：円）

左の「増減額(B)－(A)」の内訳
個人市民税8,612,720　法人市民税8,659,100　固定資産税△1,169,295 国有資産等所在市町村交付金及び納付金2,738,000　環境性能割4,956,200　種別割477,500 旧法による軽自動車税△63,070　市たばこ税11,310,199　入湯税6,075,900　都市計画税4,674,449
地方揮発油譲与税△6,485,000　自動車重量譲与税△16,866,000　特別とん譲与税11,500 森林環境譲与税△1,358,000
地方特例交付金6,703,000
衛生費分担金△14,390　農林水産業費分担金△1,138,584　災害復旧費分担金△9,138,061 総務費負担金△123,620　民生費負担金△4,257,859　衛生費負担金773,088　土木費負担金△300,000 消防費負担金△2,518,000
総務使用料2,492,030　民生使用料355,810　衛生使用料782,550　農林水産業使用料817,239　商工使用料△307,764 土木使用料1,252,113　教育使用料△5,235,219 総務手数料1,395,870　民生手数料2,200　衛生手数料△4,448,684　農林水産業手数料34,950　商工手数料△400 土木手数料△60,700　消防手数料103,450
民生費国庫負担金△74,813,220　衛生費国庫負担金△62,540,320　災害復旧費国庫負担金△171,385,000 総務費国庫補助金△99,071,251　民生費国庫補助金△294,333,128　衛生費国庫補助金6,749,000 労働費国庫補助金△459,636　農林水産業費国庫補助金△222,855,000　商工費国庫補助金△37,927,225 土木費国庫補助金△86,559,689　教育費国庫補助金△73,045,550　災害復旧費国庫補助金16,569,000 総務費国庫委託金△8,000　民生費国庫委託金2,268,745
総務費県負担金△1,387,000　民生費県負担金△21,890,899　衛生費県負担金△202,825 総務費県補助金8,948,000　民生費県補助金△54,616,348　衛生費県補助金△2,291,800 農林水産業費県補助金△153,992,573　商工費県補助金△59,662,485　土木費県補助金△1,141,295 教育費県補助金△2,402,200　災害復旧費県補助金△44,841,580 総務費県委託金△7,140,831　民生費県委託金△808,215　衛生費県委託金△5,048　農林水産業費県委託金33 土木費県委託金△1,269,780　教育費県委託金2,011,000
財産貸付収入△12,949,990　利子及び配当金△301,984　不動産売払収入28,055,056 物品売払収入5,650,078　生産物売払収入△5,578,520　有価証券売払収入300,000
総務費寄附金△45,570,065　商工費寄附金△100,000　衛生費寄附金1,000,000
財政調整基金繰入金△878,949,000　減債基金繰入金△300,000,000　至誠館大学進学奨学基金繰入金△2,700,000 守永・石川基金繰入金△2,400,000　大谷重友大学進学奨学基金繰入金△300,000　芸術文化育英基金繰入金△150,000 合併特例基金繰入金△269,000,000　あなたのふるさと萩応援基金繰入金△101,227,321 森林環境整備基金繰入金△6,961,000 介護保険事業特別会計繰入金△908
延滞金△1,639,826　市預金利子23,059 民生費貸付金元利収入18,300　労働費貸付金元利収入△3,990,000　商工費貸付金元利収入△60,320,366 教育費貸付金元利収入△11,000 滞納処分費△144,300　雑入136,758,203
総務債△355,400,000　民生債△52,400,000　衛生債△1,100,000　農林水産業債△92,600,000 商工債△288,100,000　土木債△114,900,000　消防債△78,200,000　教育債△130,600,000 災害復旧債△131,600,000

第２表　歳出（目的別）

款	当初予算額	最終予算額(A)	決算額(B)	繰越額(C)	不用額 (A)－(B)－(C)
1. 議会費	196,956,000	199,820,000	190,585,750	0	9,234,250
2. 総務費	4,494,245,000	5,680,000,400	4,939,074,030	302,379,000	438,547,370
3. 民生費	8,767,885,000	9,826,446,886	8,915,570,218	600,000	910,276,668
4. 衛生費	2,798,185,000	3,266,296,200	2,885,119,328	66,222,615	314,954,257
5. 労働費	24,293,000	51,832,000	24,329,369	0	27,502,631
6. 農林水産業費	2,190,196,000	2,582,885,300	1,893,864,623	383,962,100	305,058,577
7. 商工費	2,232,455,000	3,079,694,100	2,420,535,739	311,280,394	347,877,967
8. 土木費	1,832,052,000	1,921,133,700	1,525,813,932	127,830,300	267,489,468
9. 消防費	1,472,490,000	1,539,351,500	1,432,695,042	10,628,110	96,028,348
10. 教育費	2,573,709,000	3,160,292,000	2,802,307,291	126,880,431	231,104,278
11. 災害復旧費	17,212,000	666,969,342	289,372,611	285,685,100	91,911,631
12. 公債費	3,230,322,000	3,230,322,000	3,227,930,696	0	2,391,304
13. 予備費	50,000,000	44,735,000	0	0	44,735,000
合計	29,880,000,000	35,249,778,428	30,547,198,629	1,615,468,050	3,087,111,749

（注）最終予算額は、令和３年度からの繰越事業費を含む。

（単位：円）

左の「不用額(A)－(B)－(C)」の内訳
総務管理費397,779,442　徴税費9,325,364　戸籍住民基本台帳費7,980,246　選挙費20,429,142 統計調査費2,530,636 監査委員費502,540
社会福祉費310,649,464　障害者福祉費128,638,060　老人福祉費198,519,822　児童福祉費194,360,513 生活保護費76,420,709　災害救助費1,688,100
保健衛生費285,074,086　清掃費29,880,171
農業費173,891,852　林業費43,276,715　水産業費87,890,010
商工費271,678,497　観光費76,199,470
土木管理費1,746,121　道路橋りょう費92,707,409　河川費5,559,307　港湾費12,677,480　都市計画費134,891,082 住宅費19,908,069
教育総務費7,628,021　小学校費63,555,251　中学校費64,010,862　社会教育費85,457,595　保健体育費10,452,549
農林水産施設災害復旧費13,250,400　土木施設災害復旧費78,661,231

３．前年度決算額との比較

第１表　歳入

款	令和４年度決算額 (A)	令和３年度決算額 (B)	増減額 (A) － (B)
1. 市税	5,121,891,703	5,105,087,165	16,804,538
2. 地方譲与税	320,002,500	368,896,667	△ 48,894,167
3. 利子割交付金	3,326,000	6,697,000	△ 3,371,000
4. 配当割交付金	23,927,000	26,527,000	△ 2,600,000
5. 株式等譲渡所得割交付金	17,640,000	30,742,000	△ 13,102,000
6. 法人事業税交付金	95,818,000	57,721,000	38,097,000
7. 地方消費税交付金	1,112,691,000	1,119,273,000	△ 6,582,000
8. ゴルフ場利用税交付金	4,013,030	4,097,730	△ 84,700
9. 環境性能割交付金	29,139,000	29,790,000	△ 651,000
10. 地方特例交付金	27,005,000	173,514,000	△ 146,509,000
11. 地方交付税	12,374,307,000	12,717,558,000	△ 343,251,000
12. 交通安全対策特別交付金	4,798,000	5,601,000	△ 803,000
13. 分担金及び負担金	283,299,593	251,748,262	31,551,331
14. 使用料及び手数料	482,433,445	466,288,667	16,144,778
15. 国庫支出金	4,095,374,912	5,784,054,944	△ 1,688,680,032
16. 県支出金	2,242,935,314	2,346,625,806	△ 103,690,492
17. 財産収入	132,056,640	105,023,016	27,033,624
18. 寄附金	163,169,935	187,474,076	△ 24,304,141
19. 繰入金	421,893,771	183,560,000	238,333,771
20. 繰越金	1,514,820,269	930,551,175	584,269,094
21. 諸収入	862,045,053	927,226,983	△ 65,181,930
22. 市債	2,020,600,000	2,693,500,000	△ 672,900,000
合計	31,353,187,165	33,521,557,491	△ 2,168,370,326

（単位：円）

左の「増減額(A)－(B)」の内訳
個人市民税△8,348,822　法人市民税△18,720,300　固定資産税14,835,701 国有資産等所在市町村交付金及び納付金793,300　環境性能割3,310,700　種別割1,943,048 旧法による軽自動車税△359,760　市たばこ税9,550,907　入湯税6,929,850　都市計画税6,869,914
地方揮発油譲与税△19,009,000　自動車重量譲与税△46,239,000　特別とん譲与税95,833 森林環境譲与税16,258,000
地方特例交付金△9,696,000　新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金△136,813,000
衛生費分担金5,610　農林水産業費分担金3,045,931　災害復旧費分担金△78,999 総務費負担金△698,710　民生費負担金1,518,898　衛生費負担金393,601　消防費負担金27,365,000
総務使用料7,304,148　民生使用料286,620　衛生使用料329,740　農林水産業使用料980,500 商工使用料2,947,813　土木使用料△3,746,713　教育使用料7,038,398 総務手数料385,910　民生手数料2,200　衛生手数料189,322　農林水産業手数料29,150 商工手数料109,200　土木手数料156,340　消防手数料132,150
民生費国庫負担金17,131,210　衛生費国庫負担金△21,125,291　災害復旧費国庫負担金71,181,000 総務費国庫補助金△689,209,704　民生費国庫補助金△708,384,536　衛生費国庫補助金36,121,000 労働費国庫補助金726,187　農林水産業費国庫補助金24,111,000　商工費国庫補助金△290,404,755 土木費国庫補助金△55,469,666　消防費国庫補助金△72,874,000　教育費国庫補助金△16,505,860 災害復旧費国庫補助金16,569,000 総務費国庫委託金△8,000　民生費国庫委託金△537,617
総務費県負担金185,500　民生費県負担金△12,443,449　衛生費県負担金△156,040　教育費県負担金9,000 総務費県補助金12,971,000　民生費県補助金△12,794,065　衛生費県補助金4,289,600 農林水産業費県補助金△100,645,688　商工費県補助金26,025,844　土木費県補助金158,782 教育費県補助金△9,694,000　災害復旧費県補助金26,430,635 総務費県委託金△42,913,640　民生費県委託金68,921　衛生費県委託金△6,188　農林水産業費県委託金△674 土木費県委託金2,741,970　教育費県委託金2,082,000
財産貸付収入6,786,151　利子及び配当金△1,427,792　不動産売払収入24,144,372 物品売払収入2,662,690　生産物売払収入△1,331,797　有価証券売払収入△3,800,000
総務費寄附金△24,204,141　衛生費寄附金1,000,000　労働費寄附金△1,000,000　消防費寄附金△100,000
財政調整基金繰入金300,000,000 至誠館大学進学奨学基金繰入金△1,500,000　守永・石川基金繰入金1,200,000　高等学校進学奨励基金繰入金△600,000 芸術文化育英基金繰入金△150,000　あなたのふるさと萩応援基金繰入金△60,969,321 介護保険事業特別会計繰入金353,092
延滞金△2,433,019　市預金利子17,291 民生費貸付金元利収入△799,800　労働費貸付金元利収入△59,000　商工費貸付金元利収入△83,606,548 教育費貸付金元利収入△218,000 滞納処分費11,700　雑入21,905,446
総務債△62,000,000　民生債39,900,000　衛生債△100,000　農林水産業債△59,100,000　商工債△61,900,000 土木債△41,400,000　消防債△22,100,000　教育債△208,700,000　災害復旧債66,500,000 臨時財政対策債△324,000,000

第２表　歳出（目的別）

款	令和４年度決算額(A)	令和３年度決算額(B)	増減額 (A) － (B)
1. 議会費	190,585,750	185,505,240	5,080,510
2. 総務費	4,939,074,030	5,423,537,251	△ 484,463,221
3. 民生費	8,915,570,218	9,892,475,700	△ 976,905,482
4. 衛生費	2,885,119,328	2,769,307,137	115,812,191
5. 労働費	24,329,369	17,822,973	6,506,396
6. 農林水産業費	1,893,864,623	1,993,093,117	△ 99,228,494
7. 商工費	2,420,535,739	2,728,958,634	△ 308,422,895
8. 土木費	1,525,813,932	1,676,038,205	△ 150,224,273
9. 消防費	1,432,695,042	1,496,386,589	△ 63,691,547
10. 教育費	2,802,307,291	2,422,362,535	379,944,756
11. 災害復旧費	289,372,611	81,402,719	207,969,892
12. 公債費	3,227,930,696	3,319,847,122	△ 91,916,426
合計	30,547,198,629	32,006,737,222	△ 1,459,538,593

（単位：円）

左の「増減額(A)－(B)」の内訳
総務管理費△511,692,367　徴税費16,262,920　戸籍住民基本台帳費6,589,910　選挙費2,229,429 統計調査費△459,331　監査委員費2,606,218
社会福祉費△435,376,025　障害者福祉費△54,889,678　老人福祉費3,179,622　児童福祉費△570,210,804 生活保護費80,618,803　災害救助費△227,400
保健衛生費106,994,845　清掃費8,817,346
農業費1,060,502　林業費41,323,267　水産業費△141,612,263
商工費△119,025,738　観光費△189,397,157
土木管理費△5,864,332　道路橋りょう費△34,197,222　河川費△34,795,255　港湾費606,210 都市計画費△48,273,953　住宅費△27,699,721
教育総務費407,679,982　小学校費27,705,328　中学校費89,950,986　社会教育費△189,096,360 保健体育費43,704,820
農林水産施設災害復旧費50,131,529　土木施設災害復旧費157,838,363

第３表　歳出（性質別）

区　　分		令和４年度決算額 (A)	構成比	令和３年度決算額 (B)	構成比	増減額 (A) － (B)
1.	義務的経費	13,771,437	45.1	14,234,348	44.5	△ 462,911
	人件費	5,873,880	19.2	5,713,598	17.9	160,282
	扶助費	4,669,626	15.3	5,200,903	16.2	△ 531,277
	公債費	3,227,931	10.6	3,319,847	10.4	△ 91,916
2.	投資的経費	3,022,370	9.9	4,242,203	13.2	△ 1,219,833
	普通建設（補）	882,495	2.9	1,921,583	6.0	△ 1,039,088
	普通建設（単）	1,663,360	5.5	2,056,855	6.4	△ 393,495
	県工事負担金	178,244	0.6	179,911	0.6	△ 1,667
	受託事業（補）	0	0.0	0	0.0	0
	受託事業（単）	0	0.0	0	0.0	0
	災害復旧（補）	255,066	0.8	54,830	0.1	200,236
	災害復旧（単）	43,205	0.1	29,024	0.1	14,181
3.	物件費	3,904,078	12.8	4,292,718	13.4	△ 388,640
4.	維持補修費	267,982	0.9	196,479	0.6	71,503
5.	補助費等	4,404,879	14.4	4,334,963	13.5	69,916
6.	積立金	1,300,975	4.3	702,190	2.2	598,785

（単位：千円）

左の「増減額(A)－(B)」の主な内訳
一般職給15,694　時間外勤務手当△8,349　期末・勤勉手当26,539　退職手当134,419　職員共済費24,936 会計年度任用職員給・報酬△11,641
住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金△331,500　電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金350,900 自立支援給付費△12,811　重度心身障がい者医療費助成事業費△14,236　障がい児通所給付事業費△16,572 児童手当支給事業費△23,055　児童扶養手当支給事業費△17,051　乳幼児医療費助成事業費△10,788 子育て世帯への臨時特別給付金△496,500　子どものための教育・保育給付費△12,369　生活保護者扶助事業費 70,120
公債元金△77,432　公債利子△14,480　一時借入金利子（全額基金繰替運用に伴うもの）△4
ケーブルテレビ放送光ファイバー整備事業220,215　がんばろう萩！光ファイバー整備事業△340,655 旧明倫小学校３・４号棟整備事業△418,866　萩田万川温泉センター改修事業△280,269 相島漁港整備事業△146,194　山陰道アクセス道路整備事業28,623　橋りょう補修事業△71,039 新防災行政無線整備事業△70,943　木間地区ヘリポート整備事業△44,518　中学校施設予防保全事業56,079 浜崎伝統的建造物群保存地区文化財建造物公開活用事業24,736
がんばろう萩！光ファイバー整備事業△300,188　三見駅舎活用事業23,387　畳ヶ淵公衆トイレ整備事業24,893 旧明倫小学校３・４号棟整備事業△125,369　道の駅「萩往還」環境整備事業25,374 田万川温泉センター改修事業△37,786　むつみ昆虫王国ドーム施設改修事業31,836　常備消防車両整備事業59,594 総合防災システム整備事業23,325　小中学校ＬＥＤ照明設置事業△59,485　中学校施設予防保全事業26,667 小中学校教育用コンピュータ整備事業57,968　大島複合施設整備事業△294,175 公民館等ＬＥＤ照明設置事業38,179　図書館システム更新事業26,198
農業事業県工事負担金△4,290　水産業事業県工事負担金11,442　道路橋りょう事業県工事負担金420 河川事業県工事負担金△999　港湾事業県工事負担金△158　公園事業県工事負担金△8,082
農林水産施設災害復旧事業48,327　公共土木施設災害復旧事業151,909
農林水産施設災害復旧事業3,393　公共土木施設災害復旧事業10,788
自治体ＤＸ推進事業21,516　がんばろう萩！市民生活応援事業△455,201　萩城跡保存修理事業30,871 堀内体育館解体事業24,200　常備消防施設管理事業42,159
庁舎等管理費△1,972　福祉施設管理費11,395　保健衛生施設管理費22,695　農林水産施設管理費16,433 商工観光施設管理費13,447　道路橋りょう維持費6,157　住宅管理費△9,209　小中学校管理費8,373
がんばろう萩！省エネ家電製品購入支援事業補助金55,897 がんばろう萩！畜産用粗飼料等価格高騰対策事業補助金33,108 がんばろう萩！漁船用燃油価格高騰対策事業補助金40,000　がんばろう萩！プレミアム付商品券事業補助金99,879 がんばろう萩！飲食店応援・利用促進事業補助金△36,522 がんばろう萩！原油価格・物価高騰対策事業補助金141,734 がんばろう萩！中小企業者等緊急サポート給付金△233,670　地方バス路線補助金31,789 がんばろう萩！安心安全観光地づくり事業補助金52,515　子育て世帯応援学校給食費補助金43,560 公共下水道事業負担金△71,599
職員退職手当基金積立金△134,983　財政調整基金積立金358,454　あなたのふるさと萩応援基金積立金△34,982 森林環境整備基金積立金22,545　学校給食基金積立金390,116

第３表　歳出（性質別）

区　　分	令和４年度決算額 (A)	構成比	令和３年度決算額 (B)	構成比	増減額 (A) － (B)
7. 投資及び出資金	555,056	1.8	565,181	1.8	△ 10,125
8. 貸付金	349,005	1.1	432,656	1.4	△ 83,651
9. 繰出金	2,971,416	9.7	3,005,999	9.4	△ 34,583
合　　計	30,547,198	100.0	32,006,737	100.0	△ 1,459,539

（単位：千円）

左 の 「 増 減 額 (A) － (B) 」 の 主 な 内 訳
水道事業出資金△1,596　病院事業出資金△2,917　個別排水事業出資金22　農業集落排水事業出資金2,964 林業集落排水事業出資金56　漁業集落排水事業出資金△8,393　公共下水道事業出資金△104 特定環境保全公共下水道事業出資金△157
市内金融機関貸付金△83,651
国民健康保険事業（事業勘定）特別会計繰出金△13,107　後期高齢者医療事業特別会計繰出金7,181 介護保険事業特別会計繰出金△27,445　国民健康保険事業（直診勘定）特別会計繰出金12,395 休日急患診療事業特別会計繰出金△13,607

４．令和４年度決算の財政分析

（１）財政収支の状況

区分	令和４年度		令和３年度	
	決算額	比率	決算額	比率
1. 歳入決算額 (A)	31,353,187	180.8	33,521,557	186.0
2. 歳出決算額 (B)	30,547,198	176.1	32,006,737	177.6
3. 形式収支 (C)	805,989		1,514,820	
4. 予算繰越額 (D)	1,615,468		1,699,725	
(1) 未収入特定財源 (E)	1,430,779		1,482,304	
(2) 翌年度に繰越すべき財源(D)－(E) (F)	184,689		217,421	
5. 実質収支 (C) － (F) (G)	621,300	3.6	1,297,399	7.2
6. 前年度実質収支 (H)	1,297,399		579,512	
7. 単年度収支 (G) － (H) (I)	△ 676,099		717,887	
8. 前年度単年度収支 (J)	717,887		29,734	
9. 財源留保額 (L) － (M) ＋ (N) (K)	350,060		291,602	
(1) 財政調整基金積立額 (L)	650,060		291,602	
(2) 財政調整基金取崩し額 (M)	300,000		0	
(3) 繰上償還額 (N)	0		0	
10. 実質単年度収支 (I) ＋ (K) (O)	△ 326,039		1,009,489	
11. 前年度実質単年度収支 (P)	1,009,489		306,939	
12. 単年度収支増減 (I) － (J) (Q)	△ 1,393,986		688,153	
13. 実質単年度収支増減 (O) － (P) (R)	△ 1,335,528		702,550	
14. 経常一般財源 (S)	17,357,525	100.1	17,812,791	98.8
15. 前年度経常一般財源 (T)	17,812,791		16,937,190	
16. 経常一般財源増減 (S) － (T) (U)	△ 455,266		875,601	
17. 経常一般財源増減率 (U) ／ (T) (V)	△ 2.6		5.2	
18. 標準財政規模 (W)	17,344,258		18,021,533	

（単位：千円）

備　　考
（注）標準財政規模 【{基準財政収入額 － （所得割における税源移譲相当額の25%） － 譲与税 － 交通安全対策特別交付金 － 地方消費税交付金に係る引き上げ分の25%}× 100／75 】 ＋ 譲与税 ＋ 交通安全対策特別交付金 ＋ 普通交付税 ＋ 臨時財政対策債発行可能額 ※ 【 】および（ ）は整数未満四捨五入 比率 標準財政規模(W)に対する比率 経常一般財源 （普通税）＋（地方譲与税）＋（利子割交付金）＋（配当割交付金）＋ （株式等譲渡所得割交付金）＋（法人事業税交付金）＋（地方消費税交付金）＋ （ゴルフ場利用税交付金）＋（環境性能割交付金）＋（地方特例交付金）＋（普通交付税）＋ （交通安全対策特別交付金）＋（国有提供施設等所在市町村助成交付金）＋ （使用料及び手数料、財産収入、諸収入のうち使途の特定されないもの）

（２）一般財源の状況(性質別)

区　　分	令和４年度決算額	令和３年度決算額	増減率
1. 市税	5,103,579	5,088,143	0.3
2. 地方譲与税	320,003	368,897	△ 13.3
3. 利子割交付金	3,326	6,697	△ 50.3
4. 配当割交付金	23,927	26,527	△ 9.8
5. 株式等譲渡所得割交付金	17,640	30,742	△ 42.6
6. 法人事業税交付金	95,818	57,721	66.0
7. 地方消費税交付金	1,112,691	1,119,273	△ 0.6
8. ゴルフ場利用税交付金	4,013	4,098	△ 2.1
9. 環境性能割交付金	29,139	29,790	△ 2.2
10. 地方特例交付金	27,005	173,514	△ 84.4
11. 地方交付税	12,374,307	12,717,558	△ 2.7
(1) 普通交付税	10,810,999	11,117,548	△ 2.8
(2) 特別交付税	1,563,308	1,600,010	△ 2.3
12. 交通安全対策特別交付金	4,798	5,601	△ 14.3
13. 国有提供施設等所在市町村助成交付金	18,313	16,944	8.1

（３）参考数値

区　　分	令和４年度決算額	令和３年度決算額	増減率
1. 経常一般財源 (A)	17,357,525	17,812,791	△ 2.6
2. 歳入決算額 (B)	31,353,187	33,521,557	△ 6.5
3. 基準財政需要額 (C)	15,906,694	16,089,177	△ 1.1
4. 基準財政収入額 (D)	5,083,512	4,971,980	2.2
5. 標準税収入額等	6,343,299	6,196,073	2.4
6. 標準財政規模 (E)	17,344,258	18,021,533	△ 3.8
7. 財政力指数（３か年平均）	0.32	0.32	
8. 経常一般財源構成比 (A)／(B)	55.4	53.1	
9. 経常一般財源比率 (A)／(E)	100.1	98.8	
10. 経常収支比率	93.3	87.9	

※　経常収支比率は、普通会計決算にかかる比率で、令和４年度数値は速報値

（単位：千円）

備　　考
国の税収が減少したことにより県全体の譲与税額の減少し、市への譲与税が減収となった。
県に納入された利子等に係る県民税利子割が減少し、市への交付金が減収となった。
個人に係る源泉徴収口座における株式等譲渡所得等の減少により県民税株式等譲渡所得割が減少し、市への交付金が減収となった。
企業収益の増加等により県全体の法人事業税交付金が増加し、市への交付金が増収となった。
新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補塡特別交付金の大幅な減少により、市への交付金が減収となった。

（単位：千円）

解　　説
毎年度、経常的に歳入されるもので、市税（都市計画税を除く。）、地方譲与税、各種交付金、普通交付税等の合計額をいう。
普通交付税の算定に用いるもので、合理的かつ妥当な水準で行政運営した場合に係る経費を一定の方法で算定した額をいう。
普通交付税の算定に用いるもので、標準的な状態で徴収が見込まれる税収入などを一定の方法で算定した額をいう。
地方税法に定める法定普通税を標準税率をもって、地方交付税法の定める方法により算定した収入見込額をいう。
地方自治体の一般財源の標準的な大きさを示す指標で、経常一般財源の大きさを示すもの。
この数値が１に近く、１を超えるほど財源に余裕があるとされる。
この数値が100％を超える割合が高いほど経常一般財源に余裕があるとされる。
人件費、扶助費、公債費等の義務的性格の経常経費に地方税、普通交付税を中心とする経常的な一般財源がどの程度充当されているかを示すもので、財政構造の弾力性を判断するための指標として用いられる。

（４）財政構造の状況

① 歳　入

区分	令和 決算額 (A)	構成比 %	臨時的なもの (B) 特定財源	臨時的なもの (B) 一般財源
1. 市税	5,103,579	16.3		309,049
2. 地方譲与税	320,003	1.0		
3. 利子割交付金	3,326	0.0		
4. 配当割交付金	23,927	0.1		
5. 株式等譲渡所得割交付金	17,640	0.0		
6. 法人事業税交付金	95,818	0.3		
7. 地方消費税交付金	1,112,691	3.5		
8. ゴルフ場利用税交付金	4,013	0.0		
9. 環境性能割交付金	29,139	0.1		
10. 地方特例交付金	27,005	0.1		
11. 地方交付税	12,374,307	39.5		1,563,308
普通交付税	10,810,999	34.5		
特別交付税	1,563,308	5.0		1,563,308
12. 交通安全対策特別交付金	4,798	0.0		
13. 国有提供施設等所在市町村助成交付金	18,313	0.1		
小計	19,134,559	61.0		1,872,357
14. 分担金及び負担金	283,299	0.9	26,786	
15. 使用料及び手数料	482,433	1.5	20,361	14,596
16. 国庫支出金	4,095,375	13.1	1,442,148	611,571
17. 県支出金	2,242,935	7.2	545,318	39,941
18. 財産収入	132,057	0.4	17,326	48,298
19. 寄附金	163,170	0.5	163,170	0
20. 繰入金	421,894	1.3	121,541	300,353
21. 繰越金	1,514,820	4.8	130,591	1,384,229
22. 諸収入	862,045	2.8	523,406	126,363
23. 市債	2,020,600	6.5	1,830,481	190,119
歳入合計	31,353,187	100.0	4,821,128	4,587,827

（単位：千円）

４　年　度				令　和　３　年　度		比　較	
差引経常的なもの (A) － (B) (C)	(C) の内訳		(A) のうち投資的経費充当財源総額 (D)	決　算　額 (E)	構成比 %	増　減　額 (A) － (E)	増減率 %
	特定財源	一般財源					
4,794,530		4,794,530		5,088,143	15.2	15,436	0.3
320,003		320,003		368,897	1.1	△ 48,894	△ 13.3
3,326		3,326		6,697	0.0	△ 3,371	△ 50.3
23,927		23,927		26,527	0.1	△ 2,600	△ 9.8
17,640		17,640		30,742	0.1	△ 13,102	△ 42.6
95,818		95,818		57,721	0.2	38,097	66.0
1,112,691		1,112,691		1,119,273	3.3	△ 6,582	△ 0.6
4,013		4,013		4,098	0.0	△ 85	△ 2.1
29,139		29,139		29,790	0.1	△ 651	△ 2.2
27,005		27,005		173,514	0.5	△ 146,509	△ 84.4
10,810,999		10,810,999		12,717,558	37.9	△ 343,251	△ 2.7
10,810,999		10,810,999		11,117,548	33.1	△ 306,549	△ 2.8
				1,600,010	4.8	△ 36,702	△ 2.3
4,798		4,798		5,601	0.0	△ 803	△ 14.3
18,313		18,313		16,944	0.1	1,369	8.1
17,262,202		17,262,202		19,645,505	58.6	△ 510,946	△ 2.6
256,513	255,412	1,101	25,173	251,748	0.7	31,551	12.5
447,476	420,657	26,819	0	466,288	1.4	16,145	3.5
2,041,656	2,041,656		489,245	5,784,055	17.3	△ 1,688,680	△ 29.2
1,657,676	1,657,676		140,706	2,346,626	7.0	△ 103,691	△ 4.4
66,433	0	66,433	7,272	105,023	0.3	27,034	25.7
			6,000	187,474	0.6	△ 24,304	△ 13.0
			41,091	183,560	0.5	238,334	129.8
			75,274	930,551	2.8	584,269	62.8
212,276	211,306	970	18,713	927,227	2.8	△ 65,182	△ 7.0
			1,570,891	2,693,500	8.0	△ 672,900	△ 25.0
21,944,232	4,586,707	17,357,525	2,374,365	33,521,557	100.0	△ 2,168,370	△ 6.5

② 歳 出

区分	令和4				
	決算額 (A)	構成比 %	臨時的なもの (B) 特定財源	臨時的なもの (B) 一般財源 (C)	差引経常的なもの (A) − (B) (D)
1. 人件費	5,873,880	19.2	54,526	113,962	5,705,392
2. 物件費	3,904,078	12.8	448,037	576,629	2,879,412
3. 維持補修費	267,982	0.9	12,800	2,483	252,699
4. 扶助費	4,669,626	15.3	608,957	7,474	4,053,195
5. 補助費等	4,404,879	14.4	536,096	1,593,605	2,275,178
6. 普通建設事業費	2,724,099	9.0	2,101,422	622,677	
補助事業	882,495	2.9	781,603	100,892	
単独事業	1,663,360	5.5	1,171,612	491,748	
県工事負担金	178,244	0.6	148,207	30,037	
受託事業	0	0.0	0	0	
補助事業	0	0.0	0	0	
単独事業	0	0.0	0	0	
7. 災害復旧事業費	298,271	0.9	272,943	25,328	
補助事業	255,066	0.8	242,441	12,625	
単独事業	43,205	0.1	30,502	12,703	
8. 公債費	3,227,931	10.6	0	0	3,227,931
9. 積立金	1,300,975	4.3	116,164	1,184,811	
10. 投資及び出資金	555,056	1.8	0	225,773	329,283
11. 貸付金	349,005	1.1	349,005	0	0
12. 繰出金	2,971,416	9.7	0	407,276	2,564,140
13. 前年度繰上充用金	0	0.0		0	
歳出合計	30,547,198	100.0	4,499,950	4,760,018	21,287,230
投資的経費計 (6+7)	3,022,370	9.9	2,374,365	648,005	
経常的経費計 (1+2+3+4+5+8)	22,348,376	73.2	1,660,416	2,294,153	18,393,807
義務的経費計 (1+4+8)	13,771,437	45.1	663,483	121,436	12,986,518

（単位：千円）

年度				令和３年度		比較	
(D) の内訳		一般財源充当率	経常一般財源充当率	決算額	構成比	増減額	増減率
特定財源	一般財源 (E)	(C＋E)／(A) %	(E)／(A) %	(F)	%	(A)－(F)	%
376,146	5,329,246	92.7	90.7	5,713,598	17.9	160,282	2.8
571,484	2,307,928	73.9	59.1	4,292,718	13.4	△ 388,640	△ 9.1
42,783	209,916	79.3	78.3	196,479	0.6	71,503	36.4
2,809,952	1,243,243	26.8	26.6	5,200,903	16.2	△ 531,277	△ 10.2
465,493	1,809,685	77.3	41.1	4,334,963	13.5	69,916	1.6
		22.9		4,158,349	13.0	△ 1,434,250	△ 34.5
		11.4		1,921,583	6.0	△ 1,039,088	△ 54.1
		29.6		2,056,855	6.4	△ 393,495	△ 19.1
		16.9		179,911	0.6	△ 1,667	△ 0.9
		－		0	0.0	0	－
		－		0	0.0	0	－
		－		0	0.0	0	－
		8.5		83,854	0.2	214,417	255.7
		4.9		54,830	0.1	200,236	365.2
		29.4		29,024	0.1	14,181	48.9
143,846	3,084,085	95.5	95.5	3,319,847	10.4	△ 91,916	△ 2.8
		91.1		702,190	2.2	598,785	85.3
0	329,283	100.0	59.3	565,181	1.8	△ 10,125	△ 1.8
0	0	0.0	0.0	432,656	1.4	△ 83,651	△ 19.3
498,181	2,065,959	83.2	69.5	3,005,999	9.4	△ 34,583	△ 1.2
		－		0	0.0	0	－
4,907,885	16,379,345	69.2	53.6	32,006,737	100.0	△ 1,459,539	△ 4.6
		21.4		4,242,203	13.2	△ 1,219,833	△ 28.8
4,409,704	13,984,103	72.8	62.6	23,058,508	72.0	△ 710,132	△ 3.1
3,329,944	9,656,574	71.0	70.1	14,234,348	44.5	△ 462,911	△ 3.3

（５）債務費の状況

区分	令和４年度	
	総額	一般財源
公債費	3,227,931	3,084,085
1. 地方債元利償還金	3,227,931	3,084,085
(1) 繰上償還	0	0
(2) その他	3,227,931	3,084,085
2. 一時借入金	0	0

区分	令和４年度(A)	令和３年度(B)	増減(A)－(B)
1. 実質公債費比率	5.8	5.6	0.2
2. 将来負担比率	－	－	－

（単位：千円）

令　和　3　年　度		備　考
総　額	一　般　財　源	
3,319,847	3,170,375	
3,319,843	3,170,371	
0	0	
3,319,843	3,170,371	
4	4	全額基金繰替運用によるもの。

解　説
借入金（地方債）の返済額（公債費）の大きさを、財政規模に対する割合で表したもの。
借入金（地方債）など現在抱えている負債の大きさを、財政規模に対する割合で表したもの。 （比率がマイナスとなる場合は、「－」と表記）

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
29・30	（総務費） 総務管理費	職員研修事業	10,024			1,105	8,919
		福利厚生事業	14,434			1,310	13,124
		須佐地域マイクロバス整備事業	8,012		6,200		1,812
30・31		広報事業	34,253			7	34,246
31		財政調整基金管理事業	650,060			1,360	648,700
32・33		地方創生推進事業	710				710
		シティプロモーション事業	609				609

事　　業　　内　　容
職員の能力開発と意欲の向上を図り時代の変化に対応できる人材を積極的に育成することを目的に、計画的かつ体系的な職員研修を実施した。 観光庁、山口県、自治体国際化協会への長期派遣や自治大学校、市町村アカデミー、山口県ひとづくり財団等研修機関への派遣を実施した。 【歳入内訳】 ○雑入（宿舎借上料個人負担金）６４８千円 ○雑入（全国市町村振興協会研修受講助成金）３３０千円 ○雑入（自治大学校研修生派遣助成金）１２７千円
労働安全衛生法に基づく、職員健康診断及びストレスチェック等による職員の健康管理を行った。またＥＡＰ（従業員支援プログラム）を導入することで、カウンセリングの強化を図るとともに、職場環境改善の支援を受けることにより、職員のメンタルヘルスケアの充実を図った。 【歳入内訳】 ○雑入（定期健康診断助成金）１，２０２千円 ○雑入（県収入証紙販売負担金）１０８千円
須佐総合事務所所管のマイクロバスが故障により走行不能となったため、新たにマイクロバスを購入した。 【歳入内訳】 ○市債（須佐地域マイクロバス整備事業債）６，２００千円　※合併特例債
広報紙やインターネット・ＳＮＳ（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）など多様な広報媒体を活用し、行政情報を的確に提供した。また、市の施策やイベント・行事などの行政情報を市民の皆様に確実かつ迅速に届けるため、広報紙の発行回数を令和４年１０月以降の偶数月については２回に変更した。 広報「はぎ」の発行　奇数月　１回　１０月以降の偶数月　２回（１日号・１５日号） 年１５回発行　２２，８００部発行 萩市公式ＬＩＮＥ「はぎなび」の運営　登録者数　３，９５８名（令和４年度末現在） 【歳入内訳】 ○雑入（広報掲載収入）７千円
財政調整基金は、年度間の財源の不均衡を調整するための基金で、経済事情の変動等で財源が不足する場合の財源として活用している。この基金を管理するに当たり、生じた利子について、財政調整基金への積み立てを行った。また、純繰越金については、地方財政法で２分の１を下らない額を余剰金が生じた翌々年度までに積み立てることと規定されていることから、財政調整基金に積み立てを行った。 利子積立金　　１，３６０千円 純繰越金積立金　６４８，７００千円 令和３年度純繰越金　１，２９７，３９９，１８９円×１／２≒６４８，７００，０００円 【歳入内訳】 ○財産運用収入（財政調整基金利子）１，３６０千円
明るく元気な萩市の実現に向け、萩市基本ビジョンに基づいた効果的な政策を形成・展開するため、萩市が進める各種施策に対する満足度や市民ニーズ等の調査を行った。 事業内容　総合戦略検証に必要な市民満足度調査、子育て世帯意識調査及び中高生意識調査の実施 総合戦略検証等に係る委員会の開催
萩市の魅力ある地域資源などを広く発信するため、萩・魅力ＰＲ大使等を活用したプロモーション活動を行った。また、コロナ禍により地方移住への関心が高まる中、将来的な移住定住につながるよう、「萩フレンド保険」に取り組み、関係人口の創出・拡大に向けて、県外居住者とのつながりを構築した。

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
32・33							
		給付型の奨学金制度による人材育成及び確保事業	21,873			21,873	
		地域・大学連携推進事業	502				502

事　　業　　内　　容
事業内容　シティプロモーション活動 萩・魅力ＰＲ大使等を活用した情報発信 萩フレンド保険の運営 加入者が被災した際の一時避難先としての市内宿泊施設等の提供（令和４年度　１件） 萩産品の送付や市内での宿泊助成等加入者特典の実施 令和４年度加入者数　５９名 内訳　１人コース　１６組　１６名 ２人コース　１１組　２２名 ３人コース　　７組　２１名 事業主体　萩シティプロモーション事業実行委員会
寄附により設置した基金を活用し、経済的な理由で進学や資格取得をあきらめることのないよう、高校・大学等に通う生徒・学生に対して奨学金の給付を行った。なお、進学にかかる経済負担を考慮し、新規奨学生のうち進学予定者については、入学前の３月に給付した。 令和４年度給付実績　９４件　２１，７５０千円 内訳　守永洋子・石川幸子大学等奨学金　対象者 経済的な理由により修学が困難な大学生、山口県立萩看護学生、萩准看護学院生、介護福祉学生、山口県立農業大学校生 ４５件（うち新規　１５件、継続　３０件） 至誠館大学進学奨学金　対象者 経済的な理由により修学が困難な至誠館大学生 １１件（うち新規　１件、継続　１０件） 大谷重友大学進学奨学金　対象者 経済的な理由により修学が困難な大学生 ２件（うち新規　２件） 三輪休和・壽雪芸術文化奨学金　対象者 芸術文化を専攻する大学生 １件（うち新規　１件） 高等学校進学奨学金　対象者 経済的な理由により修学が困難な高等学校生 ３５件（うち新規　１４件、継続　２１件） 【歳入内訳】 ○財産運用収入（人材育成関係基金利子ほか）３３千円 ○基金繰入金（至誠館大学進学奨学金事業費）３，３００千円　※至誠館大学進学奨学基金 ○基金繰入金（人材確保奨学金事業費）５，１００千円　※守永・石川基金 ○基金繰入金（大学進学奨学金事業費）８，４００千円　※守永・石川基金 ○基金繰入金（大学進学奨学金事業費）６００千円　※大谷重友大学進学奨学基金 ○基金繰入金（高等学校進学奨学金事業費）３，０００千円　※高等学校進学奨励基金 ○基金繰入金（高等学校進学奨学金事業費）１，２００千円　※大田義晴進学奨学基金 ○基金繰入金（大学進学奨学金事業費）１５０千円　※芸術文化育英基金 ○雑入（奨学金返還金）９０千円
大学との包括連携協定を契機として大学が有する人材や研究機能を活用し、市の諸課題の解決に向けて、地域と大学が連携したまちづくりに取り組んだ。 地域課題解決プロジェクト「大学連携地域づくり推進事業」 包括連携協定の内容に合致し、大学生が持つ活力と柔軟な発想をいかし、地域の魅力向上や課題解決に資する事業に対して補助金を交付した。 交付実績　３件　　交付額　４５２千円

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
32・33		出逢いの場づくり応援事業	200				200
		ＧＯ－ＥＮプロジェクト推進事業	2,186	1,388			798
		都市・国際交流事業	4,908			456	4,452

事　　業　　内　　容
「はぎ縁結び応援団」に登録された市内の民間団体が主体となり、出逢う機会が少ない独身者に対して、出逢いのきっかけとなる婚活イベントや婚活セミナー等を実施する団体に補助金を交付した。 補助対象　「はぎ縁結び応援団」に登録された団体等が、参加者を募集し、おおむね１０人程度で実施する婚活イベント・セミナー等の開催経費 補助額　１企画あたり１５０千円以内　（２企画までを対象とする。） 交付実績　２企画（一般参加者公募型） 参加者数　４３名（男性　２５名、女性　１８名） ※はぎ縁結び応援団登録団体　３６団体（令和４年度末現在）
結婚を希望する独身男女が、一人でも多く出逢いの場に恵まれるよう、長門市・美祢市と共同で実行委員会を設置し、結婚を希望する方の結婚活動を支援する取組を実施した。 事業主体　ＧＯ－ＥＮプロジェクト実行委員会 総事業費　６，５５９千円（うち萩市負担額　２，１８６千円） 事業内容　婚活イベントの開催 実施回数　９回　　参加者数　１５９名（男性　９５名、女性　６４名） スキルアップセミナーの開催 実施回数　１２回　　参加者数　８６名（男性　４８名、女性　３８名） 出逢いサポートセンターの設置（萩センター・長門センター・美祢センター） 登録者数　７７名（男性　６１名、女性　１６名）（令和４年度末現在） 実績　マッチング件数　２５件　　カップリング件数　９件 相談件数　３９８件（萩　１８０件、長門　１０２件、美祢　１１６件） 【歳入内訳】 ○国庫補助金（ＧＯ－ＥＮプロジェクト推進事業費）１，３８８千円 ２，０８２千円×２／３
国内外の姉妹都市や友好都市等との交流にかかる事業を実施するとともに、国際交流員の配置をはじめ、幅広い交流事業を実施した。 群馬県前橋市との交流 友好都市提携２０周年記念交流事業の実施 広報「はぎ」で前橋市を紹介、前橋市の紹介パネルを展示、萩・明倫学舎開館５周年記念姉妹都市・友好都市ご当地フェアでの特産品販売、楫取素彦ゆかりの地を巡るガイドウォークの開催 姉妹都市・友好都市に居住する市民を対象とした萩城下町マラソンへの招待 参加者数　６名（鹿児島市　２名、輪島市　２名、下田市　２名） 開催日　令和４年１２月１１日（日） 国際交流員（ＣＩＲ）の活用 ＪＥＴプログラム（語学指導等を行う外国青年招致事業）を活用し、歴史的つながりの深い英国から、日本語能力を有する外国青年を招致して、インバウンド観光の推進や地域住民等との異文化理解のための交流活動を行った。 小学生以下を対象とした英語で読み聞かせ 実施回数　１１回　　参加者数　１１５名 大人向け文化講座、オンライン講座 実施回数　１２回　　参加者数　９４名 言語交換カフェ

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
32・33							
		ふるさと寄附推進事業	140,710			140,710	
33		コミュニティ推進事業	41,047			1,600	39,447
		コミュニティ助成事業	4,800			4,800	
33・34		男女共同参画社会推進事業	83				83
		女性相談事業	2,132	1,066			1,066
34		芸術文化振興事業	4,086			1,106	2,980

事　　業　　内　　容
実施回数　９回　　参加者数　１０３名 【歳入内訳】 ○雑入（宿舎借上料個人負担金）４５６千円
萩市を応援してくださる市外在住の方々から寄附を広く募り、人材育成や特色あるまちづくりなど、萩市の発展に資する事業に活用した。返礼品として萩市の地場産品等を贈り、市内ブランドの知名度アップや消費の拡大につなげた。 令和３年度実績　８，５０３件　　１７２，４５５，５００円 令和４年度実績　６，８０４件　　１４８，８３９，７００円 （うち１５，３７６，７４２円は学校給食基金へ積立） 事業内容　あなたのふるさと萩応援基金積立額　５８，９９０，８２１円 ふるさと寄附に係るお礼の品等経費　８１，７１８，７５９円 【歳入内訳】 ○財産運用収入（あなたのふるさと萩応援基金利子）１６８千円 ○寄附金（ふるさと寄附推進事業費）１３３，４６３千円 ○寄附金（あなたのふるさと萩応援事業費）７，０７９千円
市民が主体となって行うまちづくりを推進するため、町内会や自治会等のコミュニティ組織の活動を支援した。 防犯外灯については、二酸化炭素排出量の削減を図り、低炭素社会を実現するため、消費電力が少なく長寿命であるＬＥＤ照明の普及促進のため、新設、補修及び改善に要する費用の一部を補助した。 地区集会所については、町内会や自治会等が地域的な共同活動を行うため、自ら維持、管理及び運営する地区集会所の新設、補修及び改修に要する費用の一部を補助した。 事業内容　町内会等運営への補助（萩地域のみ）、町内会等活動保険の加入、広報等配布事務費の交付、掲示板設置への補助、防犯外灯設置への補助、地区集会所建設への補助 【歳入内訳】 ○雑入（防犯外灯設置費補助事業費）１，６００千円
地域の活性化を図るため、自治宝くじの助成金を活用してコミュニティ活動に必要な集会所の設備や備品等の整備を行った。 川上地域コミュニティ協議会（テント、音響設備一式）２，５００千円 中津江１区町内会（エアコン設置）１，０００千円 後小畑町内会（掲示板設置）１，３００千円 【歳入内訳】 ○雑入（自治宝くじ助成金　コミュニティ助成事業費）４，８００千円
萩市男女共同参画推進審議会を設置し、男女共同参画の推進に取り組むとともに、各種啓発事業の実施により市民の意識醸成を図った。
女性相談窓口に女性相談員を配置し、ＤＶ（配偶者等からの暴力）やＬＧＢＴｓを含めた様々な悩みに関する相談を受け、解決に向けた支援を行うとともに、暴力の予防を目的とした出前講座などの啓発活動や情報提供を行った。 【歳入内訳】 ○国庫補助金（女性相談員活動強化対策事業費）１，０６６千円 ２，１３２千円×１／２
芸術文化に関する各種事業の開催や、文化団体等への活動支援、全国大会出場者等や各種文化事業に対して補助を行った。 萩市美術展開催事業

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
34							
34		自治体ＤＸ推進事業	32,560			3,586	28,974
		がんばろう萩！光ファイバー整備事業	211,178		211,100		78
		見島地区光ファイバー整備事業	48,290		31,000		17,290
35		総合情報施設管理運営事業	83,487			83,487	

事　　業　　内　　容
市民から募集した美術作品を展示し、芸術の振興と普及を図った。（高校一般の部・小中学生の部） 開催期間　令和４年１０月９日（日）～１０月１６日（日） 全国大会等出場者助成金交付事業 全国大会等に出場する個人又は団体に対して助成した。 文化活動支援事業 市内で開催される文化イベントに助成することで市民が芸術文化に触れる機会を提供するとともに、文化活動の支援により芸術文化の振興を図った。 第５３回山口県母のコーラスフェスティバル 開催日　令和４年１０月２３日（日） 第３０回萩市民音楽祭 開催日　令和４年１１月３日（木・祝） 第１０回萩市伝統芸能フェスティバル 開催日　令和４年１１月１３日（日） 宝くじふるさとワクワク劇場（お笑いオンステージ、ほのぼのコメディ劇場） 開催日　令和４年１１月２７日（日） 劇団四季ファミリーミュージカル「人間になりたがった猫」 開催日　令和５年１月２２日（日） 【歳入内訳】 ○雑入（チケット売払収入）１，１０６千円
デジタル社会の実現に向けて国が策定した「自治体ＤＸ推進計画」を踏まえ、デジタル技術の活用による行政サービスの利便性向上や市の業務効率化などの推進を図った。 事業内容　ＲＰＡ（定型業務の自動化）の拡充、オンライン申請システム・電子決裁システム等の導入 【歳入内訳】 ○雑入（自治体ＤＸ推進事業費）３，５８６千円
新型コロナウイルス感染症の感染拡大などにより、在宅勤務やオンライン授業等の新たな生活様式への対応が必要となっているため、光ファイバー未整備地域において、高速・大容量の情報通信を可能とする光回線の整備を行った。なお、事業費の一部については、令和５年度に繰り越した。 事業期間　令和２～５年度 総事業費　１，２６０，７７５千円 整備エリア　木間・三見・大井地区、田万川・須佐地域 【歳入内訳】 ○市債（光ファイバー整備事業債）２１１，１００千円　※過疎債
情報通信基盤の地域格差の解消を図るため、見島地区において西日本電信電話株式会社が実施する光ファイバー及び関連設備の整備等に対して補助を行った。 事業主体　西日本電信電話株式会社 総事業費　７９，３７９千円（うち萩市補助金　４８，２９０千円） 【歳入内訳】 ○市債（見島地区光ファイバー整備事業債）３１，０００千円　※辺地債
川上、むつみ、旭及び福栄地域を対象に、有線テレビ放送サービス、インターネット接続サービス（相島を含む）を提供した。 【歳入内訳】

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
35							
		ケーブルテレビ放送光ファイバー整備事業	219,120	109,560	109,500		60
35・36		地域おこし協力隊設置事業	53,973			111	53,862
		移住促進対策事業	21,773			237	21,536

事　　業　　内　　容
○負担金（総合情報施設加入者負担金）８６９千円 ○負担金（総合情報施設引込工事負担金）１，１７６千円 ○使用料（総合情報施設使用料）８０，０８９千円 ○手数料（督促手数料）５７千円 ○手数料（総合情報施設維持手数料）５９千円 ○手数料（総合情報施設再開始手数料）３１千円 ○財産運用収入（行政財産）３０６千円 ○雑入（旭総合情報センター光熱水費等負担金）４３千円 ○雑入（建物総合災害共済災害共済金）３３千円 ○雑入（総合情報施設伝送路移設補償金）８２４千円
萩市総合情報施設が提供するケーブルテレビ放送について、地域間格差の解消及び災害に強い情報通信基盤を構築するため、福栄地域の光化を行った。 事業期間　令和３～５年度 総事業費　４５６，９７３千円 整備エリア　川上・福栄地域 令和４年度事業　福栄地域 設備設計監理業務、光ファイバー敷設工事、放送機器整備工事、宅内引込工事等 【歳入内訳】 ○国庫補助金（ケーブルテレビ放送光ファイバー整備事業費）１０９，５６０千円 ２１９，１２０千円×１／２ ○市債（ケーブルテレビ放送光ファイバー整備事業債）１０９，５００千円　※過疎債
地域おこし協力隊制度の活用により、萩市の特色をいかした「地域協力活動」を希望する都市住民が交流イベントの企画・運営や農林漁業の応援などに取り組むことを通じて、萩市への定住・定着を図った。 令和４年度からは、地域おこし協力隊員の活動や生活面の支援を行う支援団体を募り、支援団体が提案するミッションを遂行する協力隊員の募集を行った。 また、地域おこし協力隊を希望する都市住民が隊員としての実際の活動や生活を具体的にイメージできるよう、短期間、地域協力活動に従事し、受入地域とのマッチングを図る「地域おこし協力隊インターン」を実施した。 さらに、任期終了後の隊員が市内に定住するための空き家の改修費の一部を支援した。 対象　３大都市圏をはじめとする都市地域等に住所を有し、着任後に住民票を市内に移すことができる方 令和元年度着任　３人（継続） 令和２年度着任　５人（継続） 令和３年度着任　６人（継続） 令和４年度　　新規採用なし 委嘱期間　着任日～最長３年間 勤務日数　週４日 【歳入内訳】 ○雑入（宿舎借上料個人負担金）５千円 ○雑入（自動車損害共済災害共済金）１０６千円
移住希望者の相談にきめ細かく対応し、移住者の増加を図るため、「空き家情報バンク」に登録している物件を購入又は賃貸したＵＪＩターン世帯に対して、空き家の改修費又は家賃の一部を補助した。 また、萩暮らし応援サイトの充実や都市部の移住相談会を活用して萩暮らしの魅力を広く周知するなど、移住者の

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
35・36							
		三見駅舎活用事業	24,743	8,920	14,500		1,323

事　　業　　内　　容
増加に向けた取組を積極的に展開した。 さらに、令和４年４月に萩・明倫学舎４号館に、はぎポルトー暮らしの案内所ーを開設し、これまでの移住・定住を希望する方の総合的な相談に加え、萩と関わりたい人と地域をつなぐ拠点として運営した。萩と多様に関わる方などとの関係人口を増やしていくことで、地域活動の活性化を図り、まちを元気に面白くする取組を促進した。 相談件数　令和２年度　１，２４１件 令和３年度　１，３５６件 令和４年度　１，０６３件 市窓口経由の移住件数　令和２年度　４９世帯　７６人 令和３年度　５９世帯　１０３人 令和４年度　５１世帯　７９人 各種移住支援制度 萩暮らし応援事業（改修費補助） 対象者　世帯主の年齢が５５歳以下又は１８歳以下の子どもを有するＵＪＩターン者 補助額　改修費用の１／２～２／３以内 （１８歳以下の子ども１人につき５００千円を加算、上限２，０００千円） 萩暮らし応援事業（家賃補助）　最長２年間 対象者　世帯主の年齢が５５歳以下又は１８歳以下の子どもを有するＵＪＩターン者 補助額　家賃の１／２以内（１８歳以下の子ども１人につき５千円を加算） がんばるリノベ応援事業 対象者　世帯主の年齢が５５歳以下又は１８歳以下の子どもを有するＵＪＩターン者 補助額　自ら行う改修工事に係る費用（材料費）の１／２以内（賃貸物件も対象） （上限３００千円、ただし、地域産木材使用の場合は１００千円を加算し最大４００千円） 空き家家財道具等処分費補助事業 空き家の家財道具処分費用を補助した。 補助額　処分費用の１／２以内（上限１００千円） ※萩暮らし応援事業（改修費・家賃）、がんばるリノベ応援事業、空き家家財道具等処分費補助事業ともに、「空き家情報バンク」登録物件が対象 萩ＬＯＶＥ女子応援事業 定住総合相談窓口を通じてＪＩターンした独身女性の家賃及び引越し費用を補助した。 対象者　ＪＩターンした１８歳以上４４歳以下の独身女性 補助額　民間賃貸住宅の家賃の１／２以内（上限２０千円）　最長１年間 引越し費用の２／３以内（上限５０千円、対象者のうち市内事業所に就職した者に限る。） 田舎暮らし体験ツアー 萩で暮らし活躍する人に出会い、その地域での暮らし方や生き方に触れながら、様々な体験をしてもらう機会を提供した。 対象者　県外在住の方 事業内容　萩ならではの体験プログラム、先輩移住者との交流会等 【歳入内訳】 ○使用料（お試し暮らし住宅使用料）２１３千円 ○雑入（イベント参加者負担金）２４千円
移住・定住の促進を図るため、ＪＲ三見駅舎を移住希望者やテレワーカー等が萩暮らしを体験するためのお試し暮

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
35・36							
		佐々並地区交流促進施設整備事業	34,450	15,583	16,900		1,967
		地域事業懇話会運営事業	524				524
		地域彩り交流促進事業	18,108	12,764		1,321	4,023
		地域住民活動チャレンジ支援事業	3,320				3,320
		離島振興事業	9,242	4,028		48	5,166

事　　業　　内　　容
らし住宅として改修した。 事業期間　令和３～４年度（令和５年４月供用開始） 総事業費　３１，３７６千円 事業内容　令和３年度　設備設計業務委託、三見駅構内保安対策工事等 令和４年度　設備監理業務委託、住宅整備工事、備品購入等 【歳入内訳】 ○県補助金（三見駅舎活用事業費）８，９２０千円 １７，８４０千円×１／２ ○市債（三見駅舎活用事業債）１４，５００千円　※合併特例債
旭地域佐々並地区の定住促進と関係人口の創出を図るため、佐々並地区にある市所有の伝統的建造物を改修し、住民と地域外の人が活動を通じて交流できる施設として整備した。 事業内容　設計監理業務委託、建物改修工事、備品購入 施工場所　佐々並地区（旧阿武萩森林組合佐々並出張所） 建物面積　約８６㎡ 【歳入内訳】 ○国庫補助金（佐々並地区交流促進施設整備事業費）１５，５８３千円 ３３，７６８千円×１／３～６．５／１０ ○市債（佐々並地区交流促進施設整備事業債）１６，９００千円　※合併特例債
各総合事務所管内における地域の課題や地域振興施策について、住民の意見を聴くため、各地域に「地域事業懇話会」を設置し、意見交換を行った。
各地域の道の駅などの拠点施設周辺等に花を植栽し、交流人口の拡大による地域活性化を図った。 川上地域　萩阿武川温泉公園周辺にシバザクラを植栽 田万川地域　道の駅ゆとりパークたまがわ周辺にツツジを植栽 むつみ地域　伏馬山山麓にひまわり等を植栽 須佐地域　畳ヶ淵周辺にそばの花を植栽 旭地域　道の駅あさひ周辺にヒガンバナを植栽 福栄地域　道の駅ハピネスふくえにベルギーマム等のプランターを設置 【歳入内訳】 ○県補助金（地域彩り交流促進事業費）＜電源立地地域対策交付金＞８，８０１千円 ○県補助金（地域彩り交流促進事業費）３，９６３千円 ７，９２６千円×１／２ ○雑入（地域彩り交流促進事業費）１，３２１千円
明るく元気な地域を創出するため、総合事務所管内の地域振興に資する新たな住民活動を行う団体に対して、補助金を交付した。 補助額　補助対象経費の１０／１０（上限額３００千円） 対象者　総合事務所管内の自治会、協議会、グループ等 実績　１４団体　３，３２０千円
離島に住む高校生の保護者に対して、本土への通学費や居住費などの修学に係る経費を支援した。離島の特性をいかした産業の振興を図るため、国の離島活性化交付金及び特定有人国境離島地域社会維持推進交付金を活用し戦略産品を本土へ移出する団体に対して、戦略産品の移出及び原材料等の移入に係る輸送費の一部を支援した。 離島高校生修学支援事業

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
35・36							
		阿武川ダム湖活用地域活性化事業	4,746		4,500		246
36		萩まちじゅう博物館推進事業	1,009				1,009
38		萩・明倫学舎管理運営事業	103,123	278		34,204	68,641

事　　業　　内　　容
対象者　２０人　　支給額４，８００千円　　年額２４０千円／人 補助率　萩市１／４　国１／２　県１／４ 萩諸島産業振興事業 事業費　５，４２１千円（うち萩市補助金１，３６３千円） 大島・相島　萩市１／３　　国１／３　　実施主体１／３ 見島　　萩市２／１０　　国６／１０　　実施主体２／１０ 【歳入内訳】 ○国庫補助金（離島高校生修学支援事業費）８９５千円 １，７９０千円×１／２ ○国庫補助金（萩諸島産業振興事業費）２，６８６千円 ４，０４９千円×１／２～３／４ ○県補助金（離島高校生修学支援事業費）４４７千円 １，７９０千円×１／４ ○財産運用収入（行政財産）４８千円
川上地域の地域資源である阿武川ダム湖を、釣りやカヌーなどのアクアレジャーフィールドとして開放し、交流人口の増加による地域の活性化を図るため、阿武川ダム湖進入路を整備した。 事業期間　令和３～４年度 総事業費　２２，２０６千円 内　　容　Ｌ＝７４ｍ　　Ｗ＝３ｍ 【歳入内訳】 ○市債（阿武川ダム湖活用地域活性化事業債）４，５００千円　※合併特例債
「萩まちじゅう博物館構想」を実現するため、まち全体に広く存在する歴史や自然などの“おたから”をより一層いかしたまちづくり・観光地づくりを市民、事業者と協働で推進した。 まちじゅう博物館推進委員会を開催 地区部会　年２回、全体会　年１回 萩ものしり博士の会補助金 事業主体　萩ものしり博士の会 事業費　１３３千円（うち萩市補助金９４千円） 萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業補助事業 “おたから”を活用した交流イベントを実施した他、“おたから”を活用したまち歩きや体験プログラムの情報を提供する仕組の試行のために検討会を定期的に開催した。また当初目標に対する統括評価を行い、成果をまとめ、今後の方針を定めた。 事業主体　萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業実行委員会 事業費　４８６千円（うち萩市補助金４４９千円）
萩・明倫学舎開館５周年を迎え、記念事業「学舎維新祭」を関係団体及びＮＰＯ等と連携して実施し、開館５周年のＰＲを行うことで誘客に努めた。また、９月に３号館が開館し、本館から４号館までのそれぞれのコンセプトに応じた館の活用を促進するとともに、市とＮＰＯの協働により全館を一体管理することで円滑な管理運営に努めた。 令和４年度入館者数 全体　１４２，４９４人（うち２号館　５１，７３４人、３号館　８，５６５人、４号館　７，１１３人） 令和３年度入館者数 全体　９１，８４５人（うち２号館　４３，３０５人、４号館　１，４２５人）

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
38							
38・39		ジオパーク推進事業	10,505	1,160	900	216	8,229
		畳ヶ淵公衆トイレ整備事業	23,332		23,300		32
39		旧明倫小学校３・４号棟整備事業	144,674		84,800	54,868	5,006

事　　業　　内　　容
萩・明倫学舎開館５周年記念事業「学舎維新祭」 　期間　令和４年３月４日（金）～１２月３１日（土） 　　井上勝ゆかりの地を巡る探訪ツアー、来館者１００万人達成記念セレモニー、竹あかりａｔ萩・明倫学舎 　　姉妹都市・友好都市ご当地フェア、学舎維新祭ファイナルクリスマスイベント　など 萩・明倫学舎の文化祭２０２３ 　開催日　令和５年３月４日（土）・５日（日）・１１日（土） 　　在りし日の小川忠文氏写真展、小川コレクション講演、学舎ぐるっとスタンプラリー、４号館入居事業者連携 　　イベント「ｍｅｉｒｉｎ　Ｌａｂ．」、高校生企画イベント「お化け屋敷」など 【歳入内訳】 ○国庫補助金（コワーキングスペース情報発信事業費）２７８千円 　５５５千円×１／２ ○使用料（萩・明倫学舎使用料）１２，２３５千円 ○使用料（駐車場使用料）８，１２４千円 ○財産運用収入（行政財産）１０，０８５千円 ○雑入（萩・明倫学舎光熱水費等負担金）３，６２４千円 ○雑入（自動販売機電気代負担金）１３６千円
萩ジオパーク推進協議会を中心に、引き続き、市民への理解増進、学校教育及び地域経済への貢献と情報発信の強化に努め、地球の視点で「萩らしさ」が“見える”・“伝わる”まちを目指したジオパーク活動を展開した。 また、日本ジオパーク認定から４年が経過し、日本ジオパーク委員会による再審査を受ける年であったことから、萩ジオパーク活動の取組について説明等を行い、再認定された。 　ジオパーク活動の支援 　　萩ジオパーク推進協議会が実施する講座や人材養成、イベント等の諸事業や市民団体等が行うジオパーク活動に対して支援を行った。 　ジオサイトの環境保全及び拠点施設の運営 　　龍鱗郷、畳ヶ淵等の環境整備、笠山山頂展望台の運営 　弥富診療センター法面の溶岩露頭関連用地の購入及び解説板の設置 　日本ジオパーク再認定審査の対応 　　現地調査　令和４年１０月１２日（水）～１４日（金） 　　再認定　令和４年１２月１６日（金） 【歳入内訳】 ○国庫補助金（ジオパーク推進事業費）１，１６０千円 　２，３２０千円×１／２ ○市債（ジオパーク推進事業債）９００千円　※辺地債 ○財産運用収入（行政財産）２１６千円
観光客等の利便性向上を図るため、萩ジオパークのジオサイトである畳ヶ淵の駐車場内にトイレを整備した。 　事業内容　設備設計監理業務委託 　　新築工事、井戸ボーリング工事、設備工事 【歳入内訳】 ○市債（畳ヶ淵公衆トイレ整備事業債）２３，３００千円　※辺地債
旧明倫小学校３号棟の活用を図るため、萩市観光協会・萩温泉旅館協同組合・萩市観光課の事務所、文化団体等が活用するギャラリー、市民団体等が利用する交流室等を整備した。

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
39							
		萩・明倫学舎外構整備事業	53,819	26,909	25,500		1,410
40	（総務費）戸籍住民基本台帳費	戸籍管理事務事業	9,722	581		9,141	
		個人番号制度運用事業	15,541	15,541			
		各種証明書コンビニ交付事務事業	9,931				9,931
41	（総務費）選挙費	参議院議員通常選挙執行事務事業	27,349	27,349			

事　　業　　内　　容
事業期間　令和２～４年度 総事業費　４４３，４４０千円 令和４年度事業 内装整備工事、電気・機械設備工事、設備工事監理業務 【歳入内訳】 ○市債（旧明倫小学校３・４号棟整備事業債）８４，８００千円　※合併特例債 ○基金繰入金（旧明倫小学校３・４号棟整備事業費）５４，８６８千円　※あなたのふるさと萩応援基金
旧萩藩校明倫館遺構の周遊促進、来館者へのおもてなしの向上のため、排水路及び舗装等の環境整備を行った。なお、事業費の一部については、令和５年度に繰り越した。 事業内容　測量設計業務委託、外構舗装工事、排水路整備工事 整備面積　約７，６００㎡ 【歳入内訳】 ○国庫補助金（萩・明倫学舎外構整備事業費）２６，９０９千円 ５３，８１９千円×１／２ ○市債（萩・明倫学舎外構整備事業債）２５，５００千円　※合併特例債
戸籍事務へのマイナンバー制度導入に関連して、令和元年５月に公布された「戸籍法の一部を改正する法律」に基づくシステム改修を行った。 【歳入内訳】 ○国庫補助金（電算システム改修事業費）５２８千円 ５２８千円×１０／１０ ○県委託金（人口動態調査費）５３千円 ○手数料（戸籍手数料）９，１４１千円
個人番号カード（マイナンバーカード）の申請受付や交付事務を行った。また、マイナンバーの利活用を推進するため、積極的な普及・促進に取り組んだ。 個人番号カード交付件数　３３，６４８件　　交付率　７５．４９％　（令和４年度末までの累計実績） 【歳入内訳】 ○国庫補助金（個人番号制度運用事業費）１５，５４１千円 １５，５４１千円×１０／１０
個人番号カード（マイナンバーカード）を活用し、全国のコンビニエンスストア等で各種証明書の交付を行った。 各種証明書交付件数　令和４年度　合計４，５３９件 住民票の写し　１，７２１件、住民票記載事項証明書　１１１件、印鑑登録証明書　１，３６８件 所得証明書　１３３件、所得・課税証明書　１８４件、戸籍全部・個人事項証明書　９２８件 戸籍附票の写し　９４件 交付対象証明書・利用時間 住民票の写し、住民票記載事項証明書、印鑑登録証明書、所得証明書、所得・課税証明書 午前６時３０分から午後１１時（年末年始及びシステム休止日を除く。） 戸籍全部・個人事項証明書（戸籍謄抄本）、戸籍の附票の写し 午前９時から午後５時（土・日曜日、祝日、年末年始及びシステム休止日を除く。）
令和４年７月２５日の任期満了に伴う参議院議員通常選挙を執行した。 当日投票所数　３１箇所 期日前投票所数　１７箇所、巡回式期日前投票所数　１６箇所、移動期日前投票所数　１３箇所

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
41							
41・42		山口県議会議員選挙執行事務事業	7,395	7,395			
42		萩市議会議員選挙執行事務事業	48,332				48,332
43	（総務費）統計調査費	統計調査事業	1,712	1,712			
43・44		地籍調査事業	20,634	13,987		37	6,610
44・45	（民生費）社会福祉費	民生委員児童委員活動交付金事業	27,216	14,304			12,912

事　　業　　内　　容
ポスター掲示場数　２２１箇所 【歳入内訳】 ○県委託金（参議院議員選挙費）２７，２５７千円 ○県委託金（参議院議員選挙啓発推進費）９２千円
令和５年４月２９日の任期満了に伴う山口県議会議員一般選挙萩市・阿武町選挙区の準備を行った。 当日投票所数　３１箇所 期日前投票所数　１７箇所、巡回式期日前投票所数　１６箇所、移動期日前投票所数　１４箇所 ポスター掲示場数　２２１箇所 【歳入内訳】 ○県委託金（山口県議会議員選挙費）７，３９５千円
令和４年４月３０日の任期満了に伴う萩市議会議員一般選挙を執行した。 当日投票所数　３１箇所 期日前投票所数　１７箇所、巡回式期日前投票所数　１６箇所、移動期日前投票所数　１３箇所 ポスター掲示場数　２２８箇所
各種基幹統計調査を行った。 学校基本調査事業 学校教育行政上の基礎資料を得る調査を行った。（基準日　令和４年５月１日） 港湾統計調査事業 港湾の実態を明らかにするための調査を行った。 経済センサス（調査区管理）事業 経済センサスにおける調査区の管理・修正を行った。 就業構造基本調査事業 就業及び不就業の状態を明らかにし、全国及び地域別の就業構造に関する基礎資料を得る調査を行った。 （基準日　令和４年１０月１日） 住宅・土地統計調査（調査単位区設定）事業 令和５年住宅・土地統計調査の実施に向け、調査区域となる調査単位区の設定を行った。 【歳入内訳】 ○県委託金（基幹統計調査費）１，７１２千円
一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、境界の位置と面積を測量するため、現地において土地所有者等の立会のもと境界確認等の調査を行った。 事業期間　令和２～１１年度 令和４年度実施地区　大井地区（大井浦周辺）０．１８ｋ㎡ 【歳入内訳】 ○県負担金（地籍調査費）１３，９８７千円 １８，６５０千円×３／４ ○手数料（証明手数料）３７千円
民生委員児童委員・主任児童委員２１３人分の活動費を交付した。 民生委員児童委員　地域住民の生活上の問題、高齢福祉、児童福祉などのあらゆる分野の相談に応じ、助言や調査などを行い、関係機関と連携して地域住民の福祉の増進に努めた。 主任児童委員　児童福祉に関する事項を専門に担当し、児童福祉関係機関との連絡調整や民生委員児童委員と一体となって児童福祉の増進に努めた。

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
44・45							
		生活困窮者自立支援事業	10,977	8,928			2,049
		新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金事業	1,260	1,260			
		住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業	217,497	217,397		100	
		電力・ガス・食料品等価格	358,870	358,870			

事　　業　　内　　容
【歳入内訳】 ○県補助金（民生委員児童委員活動費及び主任児童委員活動費）１２，８２３千円 ６０，２００円×２１３人 ○県補助金（地区民生委員児童委員協議会会長活動費）１７９千円 １１，９２０円×１５人 ○県補助金（地区民生委員児童委員協議会活動助成事業費）１，３０２千円 １，３０２千円×１０／１０
生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者自立支援法に基づき、自立支援に関する相談に応じる業務を社会福祉法人萩市社会福祉協議会に委託した。なお、阿武町に係る自立支援事業についても、山口県から事務を受託して実施した。 新規相談受付件数　９９件（うち阿武町２件） 支援プラン作成　３件（うち阿武町０件） 住居確保給付金支給件数　４件 【歳入内訳】 ○国庫負担金（生活困窮者自立支援事業費）８，２３３千円 １０，９７７千円×３／４ ○県委託金（生活困窮者自立支援事業事務費）６９５千円
新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、緊急小口資金等の特例貸付が貸付限度額に達している等の事情により、特例貸付の利用ができない生活困窮世帯に対して、支援金を支給した。また、支援金を受給した後も離職等の状態が続き生活が困窮している世帯に対し、支援金を再支給した。 支援金額　単身世帯　６万円　　２人世帯　８万円　　３人以上世帯　１０万円 支給金の内訳　単身世帯　７件　　その他世帯　２件 【歳入内訳】 ○国庫補助金（新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金事業費）１，２６０千円 １，２６０千円×１０／１０
新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、様々な困難に直面した方々が速やかに生活・暮らしの支援が受けられるよう住民税非課税世帯及び家計急変世帯に対して、一世帯当たり１０万円を支給した。 給付対象　基準日において住民基本台帳に記録されている世帯のうち ①世帯全員が令和３年度住民税非課税である世帯（基準日　令和３年１２月１０日） ②世帯全員が令和４年度住民税非課税である世帯（基準日　令和４年６月１日） ③令和４年１月以降に収入が減少し、住民税非課税世帯相当にあると認められる世帯 支給方法　①の世帯　市から送付された確認書を提出する「プッシュ型給付」 ②の世帯　市から送付された確認書を提出する「プッシュ型給付」 ③の世帯　必要書類を添付し本人が申請 令和４年度給付実績　給付世帯数　２，１４０世帯 給付額　２１４，０００千円 【歳入内訳】 ○国庫補助金（住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業費）２１７，３９７千円 ２１７，３９７千円×１０/１０ ○雑入（臨時特別給付金返還金）１００千円
電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯等に対し、

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
44・45		高騰緊急支援給付金事業					
		社会福祉推進事業	65,845				65,845
			4,000			4,000	
			100			100	
46		人権啓発推進事業	1,135	341		197	597
46		白水会館運営事業	6,098	4,276		56	1,766

事　　業　　内　　容
一世帯当たり５万円を支給した。 給付対象　基準日において住民基本台帳に記録されている世帯のうち ①世帯全員が令和４年度住民税非課税である世帯（基準日　令和４年９月３０日） ②令和４年１月以降に収入が減少し、住民税非課税世帯相当にあると認められる世帯 支給方法　①の世帯　市から送付された確認書を提出する「プッシュ型給付」 ②の世帯　必要書類を添付し本人が申請 令和４年度給付実績　給付世帯数　７，０１８世帯 給付額　３５０，９００千円 【歳入内訳】 ○国庫補助金　（電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業費）３５８，８７０千円 ３５８，８７０千円×１０/１０
萩市社会福祉協議会運営事業費補助事業 萩市社会福祉協議会が実施する地域福祉活動推進事業（民間の社会福祉活動の育成や援助、ボランティア活動の振興、地域福祉の推進、地区社協の設置・支援、成年後見制度における法人後見、低所得の方のための資金貸付、心配ごと相談など）を安定的に運営できるよう人件費等の補助を行った。 事業主体　社会福祉法人萩市社会福祉協議会 総事業費　６９，２１８千円（うち萩市補助金　６４，１４７千円）
高額療養費つなぎ資金貸付事業 低所得の方などが、医療費が高額となり支払いが困難な場合、申請により高額療養費相当額を限度に無利子で貸付けを行い、負担の軽減を図った。 事業主体　社会福祉法人萩市社会福祉協議会 【歳入内訳】 ○貸付金元利収入（高額療養費つなぎ資金）４，０００千円　※元金分
介護保険資金貸付事業 低所得の方などが、介護サービス費が高額となり支払いが困難な場合、申請により高額介護サービス費相当額を限度に無利子で貸付を行い、負担の軽減を図った。 事業主体　社会福祉法人萩市社会福祉協議会 【歳入内訳】 ○貸付金元利収入（介護保険資金）１００千円　※元金分
人権尊重のまちづくりを推進するため、各種人権啓発事業を市民とともに総合的に推進することにより、市民の人権問題に対する正しい理解と関心を深め、人権問題の早期解決と人権意識の高揚を図った。 人権施策推進組織の運営（８組織） 【歳入内訳】 ○県補助金（住宅新築資金等償還推進助成事業費）４２千円 ５６千円×３／４ ○県委託金（人権啓発推進事業費）２９９千円 ○使用料（共同作業場使用料）１３１千円 ○貸付金元利収入（住宅新築等資金）５１千円　※元金分 ○貸付金元利収入（住宅新築等資金）１５千円　※利子分
地域における福祉の向上や人権啓発など住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、各種相談事業や教養講座を開催し、人権に関する課題の解決のための総合的な活動を推進した。

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
46							
47	（民生費）障害者福祉費	手話言語推進事業	186	106			80
		障がい者福祉施設設備改修事業	4,290		1,800		2,490
47・48		地域生活支援事業	38,417	12,993			25,424

事　　業　　内　　容
【歳入内訳】 ○県補助金（隣保館運営事業費）４，２７６千円 ５，７０２千円×３／４ ○使用料（隣保館使用料）３千円 ○財産運用収入（行政財産）５３千円
平成２８年４月に障害者差別解消法が施行され、市が主催する講演会等においては、手話通訳者や要約筆記者の配置を行った。手話による意思疎通ができる環境づくりのため、市民を対象とした研修会を開催し、手話が身近な言語であることへの理解とその普及を図った。 【歳入内訳】 ○国庫補助金（地域生活支援事業費）７１千円 １４３千円×１／２ ○県補助金（地域生活支援事業費）３５千円 １４３千円×１／４
平成１７年に開設したさんみ苑の通所・ショートステイ棟の空調設備等に不具合が生じたため、空調設備改修工事及び給湯器用オイルタンクの修繕を行った。 【歳入内訳】 ○市債（障がい者福祉施設設備改修事業債）１，８００千円　※過疎債
在宅の障がい者への情報提供体制の充実及び社会参加の促進を図るため、各種支援事業を実施した。 成年後見制度利用事業 障がい者が地域で安心して暮らせるよう、財産等を守るための成年後見の申請等を行った。 相談支援事業 専門の相談員を設置し、障がい者が社会生活を送る上で必要な相談支援を行った。（市内３事業者） 基幹相談支援センター等機能強化事業 基幹相談支援センターを設置し、専門職を配置することで、障がい者又はその家族等の相談支援を総合的に実施し、自立支援と社会参加の促進を図った。また、専門的な相談対応や人材育成により、地域の相談支援体制の充実を図った。 意思疎通支援事業 聴覚障がい者等が円滑な意思疎通を図るため、手話・要約筆記などの意思疎通支援を行う者の派遣等を行った。 意思疎通支援者養成事業 意思疎通支援者の育成とスキルアップを目的に、養成講座及びフォローアップ講座を開催した。 日常生活用具給付事業 障がい者に対して、在宅生活を円滑に営む上で必要となる用具の給付等を行った。 （入浴補助用具、紙おむつ、ストマ用装具、聴覚障がい者用屋内信号装置等） 移動支援事業 単独での移動が困難な障がい者が、社会生活上外出することが必要であって、付添者がいないため外出に支障をきたす場合に、移動支援を行う者を派遣する事業を行った。 医療的ケア児訪問看護事業 医療的ケアが必要な障がい児に対してスタッフを派遣し、総合的な支援体制の向上を図った。 地域活動支援センター事業 就労することが困難な障がい者等に対して、通所による創作的活動又は生産活動の機会の提供を行うとともに、社会との交流促進のための活動を行い、地域社会や関係機関が一体となって障がい者等の地域生活を支援し福

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
47・48							
		障がい福祉サービス事業	1,395,486	1,090,194			305,292
		自立支援医療費（更生医療）給付事業	42,811	32,019			10,792
		自立支援医療費（育成医療）給付事業	724	540			184

事　　業　　内　　容
祉の向上を図った。 その他事業（生活訓練事業、自動車運転免許取得助成事業等） 障がい者の社会参加と自立を促進する各種事業を行った。 【歳入内訳】 ○国庫補助金（地域生活支援事業費）８，７５５千円 １７，５１０千円×１／２ ○県補助金（地域生活支援事業費）４，２３８千円 １６，９５２千円×１／４
障がい者及び難病患者に対する障がい福祉サービス及び補装具の給付並びに障害支援区分認定審査会を実施した。 自立支援給付事業 介護給付費（居宅介護、療養介護、生活介護、短期入所、施設入所支援、グループホーム等） 訓練等給付費（就労移行支援、就労継続支援Ａ・Ｂ型、自立訓練等） 障がい児通所給付費支援事業 児童に対して療育支援等必要な給付を行った。 児童発達支援（未就学の障がい児）、放課後等デイサービス（就学中の障がい児）、保育所等訪問支援等 補装具費給付事業 補装具を必要とする身体障がい者に対して、補装具の交付及び修理を行った。 【歳入内訳】 ○国庫負担金（自立支援給付事業費）６３３，２３０千円 １，２６６，４６０千円×１／２ ○国庫負担金（障がい児通所給付事業費）９３，５６６千円 １８７，１３２千円×１／２ ○県負担金（自立支援給付事業費）３１６，６１５千円 １，２６６，４６０千円×１／４ ○県負担金（障がい児通所給付事業費）４６，７８３千円 １８７，１３２千円×１／４
身体障がい者の障がいの軽減とその更生を図るため、必要となる医療費を給付した。 肢体不自由（人工関節置換術、関節形成術）、心臓機能障がい（ペースメーカー植込み術等）、じん臓機能障がい（人工透析、じん移植術）、聴覚障がい（人工内耳埋込術）、その他対象障がい 【歳入内訳】 ○国庫負担金（自立支援医療費（更生医療）給付事業費）２１，３４６千円 ４２，６９２千円×１／２ ○県負担金（自立支援医療費（更生医療）給付事業費）１０，６７３千円 ４２，６９２千円×１／４
身体に障がいのある児童又は将来障がいを残すおそれのある疾患のある児童に対して、治療効果が期待される場合に医療費の給付を行った。（１８歳未満） 対象となる障がい区分　肢体不自由、視覚障がい、聴覚・平衡機能障がい、音声・言語・そしゃく機能障がい 内臓障がい等 【歳入内訳】 ○国庫負担金（自立支援医療費（育成医療）給付事業費）３６０千円 ７２０千円×１／２

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
47・48							
		自立支援医療費（療養介護）給付事業	6,895	5,167			1,728
		重度心身障がい者医療費助成事業	238,714	70,133		79,529	89,052
		特別障がい者手当等支給事業	19,198	14,398			4,800
		障がい者福祉タクシー等助成事業	6,319				6,319
48・49	（民生費）老人福祉費	高齢者移動支援助成事業	55,441		48,500		6,941
		高齢者の生きがいと健康づくり事業	9,958	1,428			8,530

事　　業　　内　　容
○県負担金（自立支援医療費（育成医療）給付事業費）１８０千円 ７２０千円×１／４
医療機関（独立行政法人国立病院機構の認定する医療機関等）に入所中の常時介護を必要とする障がい者に対して、必要な治療、訓練及び生活指導を行った場合に医療費の給付を行った。 【歳入内訳】 ○国庫負担金（自立支援医療費（療養介護）給付事業費）３，４４５千円 ６，８９０千円×１／２ ○県負担金（自立支援医療費（療養介護）給付事業費）１，７２２千円 ６，８９０千円×１／４
身体障がい者手帳の１～３級所持者及び同程度の重度障がい者に医療費自己負担額を助成した。 県では、平成２１年７月から一部自己負担金（通院　５００円、入院　２，０００円）を導入したが、その一部自己負担金についても市負担で助成を行った。 令和４年度末現在の受給者数　１，５９２人 【歳入内訳】 ○県補助金（重度心身障がい者医療費助成事業費）６８，５５５千円 １３７，１１０千円×１／２ ○県補助金（重度心身障がい者医療費助成事業事務費）１，５７８千円 ３，１５６千円×１／２ ○雑入（重度心身障がい者医療費高額療養費）７９，５２９千円
特別障がい者手当 障がいの状態が重く（原則として、重度障がいが２以上ある者）常時特別の介護を必要とする満２０歳以上の在宅障がい者に手当を支給した。（所得制限あり） 対象者　４２人　　月額　２７，３００円 障がい児福祉手当 満２０歳未満の在宅で重度の障がいのある児童に対して手当を支給した。（所得制限あり） 対象者　２９人　　月額　１４，８５０円 【歳入内訳】 ○国庫負担金（特別障がい者手当等事業費）１４，３９８千円 １９，１９８千円×３／４
市内に居住する重度障がい者の社会参加促進のため、タクシー等を利用する際の利用料金の一部を助成した。 １回あたり２枚（１枚５００円）以内の利用で年間４８枚を助成（資格要件有り） 市内に居住する透析通院者に対して透析回数による追加交付を行い、通院にかかる経費の軽減を図った。 週２回通院は年間９６枚、週３回通院は年間１４４枚を助成
７０歳以上の高齢者に対して負担の大きい路線バスの運賃を市内発着で一乗車１００円にするとともに、離島においては、それぞれの離島に住民登録のある７０歳以上の高齢者に対して、離島航路の復路運賃の全額を補助することにより、通院や買い物など日常的に公共交通機関を利用しやすい環境を整備した。 路線バス　１１４，２９６人　　離島航路　８，１１９人　　木間・山田地区乗合タクシー　４１０人 【歳入内訳】 ○市債（高齢者移動支援助成事業債）４８，５００千円　※過疎債（ソフト分）
老人クラブ助成事業 地区の老人クラブに対して活動費の補助を行った。

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
48・49							
		敬老関係事業	6,589				6,589
			6,338			33	6,305
		介護人材確保・育成事業	1,089				1,089
		老人ホーム等措置事業	151,468			41,299	110,169
49		老人福祉推進施設管理運営事業	75,911		14,500	5,314	56,097

事　　業　　内　　容
単位クラブ数　８２ 老人クラブ連合会育成事業 老人クラブ連合会に対して活動費の補助を行った。 【歳入内訳】 ○県補助金（老人クラブ助成事業費）１，４２８千円 ２，１４２千円×２／３
敬老行事等事業 町内会等が主催する敬老会等の経費に対して助成を行った。（萩地域） 補助基準　実施地区の７５歳以上高齢者数×１，０００円 対象者数　７，２５２人　　実施地区　１０９地区
敬老祝い品（金）支給事業 ９月に敬老祝い品（金）を贈呈して長寿を祝うため、祝い品（金）を贈呈した。 最高齢者（１名）　　２０千円又は、相当の祝い品 １０１歳以上（３２名）　１０千円又は、相当の祝い品 １００歳（３２名）　　２０千円又は、相当の祝い品 ８８歳（４６３名）　　１０千円又は、相当の祝い品 ８０歳（６７４名）　　１千円又は、相当の祝い品 【歳入内訳】 ○財産運用収入（福祉振興基金利子）３３千円
新たな介護人材の確保、介護人材の育成及び離職を防ぐため、資格取得に係る費用に対して支援を行った。 事業内容　研修費用助成（介護職員初任者研修６人、介護福祉士実務者研修９人、介護福祉士国家試験８人） 助成額　上限９５千円
生活環境上の理由及び経済的理由により、居宅での生活が困難な方を養護老人ホーム等に措置した。 対象者　８１人 【歳入内訳】 ○負担金（養護老人ホーム入所者等負担金）４０，６０４千円 ○負担金（特別養護老人ホーム入所者等負担金）５５９千円 ○雑入（特別養護老人ホーム入所者高額介護サービス費）１３６千円
健康づくり・介護予防・生きがい活動・世代間交流のための拠点施設の管理運営（直営、指定管理）及び修繕等を行った。 萩地域　　生きがいと健康の村（萩焼の館、工芸の館、芸能・芸術の館） 介護予防センター（鶴江、越ヶ浜、浜崎、大島） 田万川地域　江崎老人作業所 須佐地域　　須佐高齢者障がい者支援センター、弥富老人憩いの家、須佐老人作業所 須佐福祉複合施設やまびこ 旭地域　　旭老人憩の家、旭世代間交流施設 福栄地域　　福栄老人福祉センター 施設改修等　令和３年度繰越事業 福祉複合施設かがやき　給湯配管改修工事 令和４年度事業 福祉複合施設かがやき　非常用発電装置充電器取替、自動火災報知設備修理

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
49							
49		後期高齢者医療事業	886,073				886,073
			5,016			1,122	3,894
			8,854			2,357	6,497
49・50	（民生費）児童福祉費	母子・父子自立支援員設置事業	2,065	18			2,047
		家庭児童相談室運営事業	2,268				2,268
		放課後児童クラブ運営事業	109,986	53,484	600	29,471	26,431

事　　業　　内　　容
福祉複合施設やまびこ　２階空調設備改修工事 備品購入　　福祉複合施設かがやき　電気スープケトル等の更新 【歳入内訳】 ○市債（老人福祉施設設備改修事業債）１４，５００千円　※過疎債・辺地債 ○使用料（行政財産目的外使用料）１１３千円 ○使用料（老人福祉施設使用料）７千円 ○財産運用収入（行政財産）１１９千円 ○基金繰入金（旭世代間交流施設設備整備事業費）７０千円　※あなたのふるさと萩応援基金 ○雑入（老人福祉施設改修事業負担金）４，８５０千円 ○雑入（大島複合施設光熱水費等負担金）６０千円 ○雑入（資源物売払収入）９５千円
療養給付費負担金事業 山口県後期高齢者医療広域連合に対して、市負担分（後期高齢者医療療養給付費の１／１２）を負担した。 医療給付費の財源 公費（国・県・市町）　約５割 後期高齢者支援金（０～７４歳の方の保険料）　約４割 被保険者の保険料　約１割
後期高齢者医療各種検診事業 後期高齢者医療制度の被保険者の健康保持・増進を図るため、独自の事業として日帰り人間ドックを始めとする肺がん検査、前立腺がん検査、胃がん検査などの各種検診（山口県後期高齢者医療広域連合実施の健康診査を除く。）費用を助成した。 日帰り人間ドック　１１８件、肺がん検査　３８件、前立腺がん検査　１９１件、胃がん検査　２１１件 【歳入内訳】 ○雑入（後期高齢者医療制度事業交付金）１，１２２千円
後期高齢者医療はり灸助成事業 後期高齢者医療制度の被保険者の健康保持・増進を図るため、独自の事業としてはり灸施設施術料金を助成した。 １術　１，５８２件　　２術　７，４３０件 【歳入内訳】 ○雑入（後期高齢者医療特別調整交付金）２，３５７千円
ひとり親家庭等の自立のため、母子・父子自立支援員を配置し、職業能力の向上及び求職活動に関する情報提供など総合的な支援を行った。 相談件数　延べ　８０６件 【歳入内訳】 ○県委託金（母子・父子・寡婦福祉資金貸付事務費）１８千円
家庭児童相談員を配置し、虐待・いじめ・不登校など、児童や家庭の環境により生じた児童の健全育成上の問題解決のため、関係機関と連携を取りながら助言・指導を行った。 相談件数　新規　２５件（うち児童虐待　１２件）　　継続　２５件（うち児童虐待　６件）
子どもにとって放課後児童クラブが安心して過ごせる生活の場となり、また、基本的な生活や学習習慣が習得できるよう、保護者、学校及び地域住民との交流や連携を図りながら児童の健全育成を推進した。 児童クラブ数　１７ 明倫児童クラブ（明倫小学校、児童館の２箇所で実施）、椿東児童クラブ、椿西児童クラブ

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
49・50							
		子育て世帯応援誕生祝金事業	15,200				15,200
		母子家庭等自立支援給付金事業	7,051	5,287			1,764
		子どもの居場所づくり支援事業	320				320

事　　業　　内　　容
越ヶ浜児童クラブ、白水児童クラブ、三見児童クラブ、大井児童クラブ、萩総合支援学校児童クラブ 川上児童クラブ、 小川児童クラブ、多磨児童クラブ、むつみ児童クラブ、育英児童クラブ 明木児童クラブ、佐々並児童クラブ、福栄児童クラブ 事業内容　夏休み期間中の給食サービスの提供 放課後子ども教室と一体となった育成支援 【歳入内訳】 ○国庫補助金（放課後児童クラブ運営事業費）２６，７４２千円 ８０，２２６千円×１／３ ○県補助金（放課後児童クラブ運営事業費）２６，７４２千円 ８０，２２６千円×１／３ ○市債（児童クラブ空調設備整備事業債）６００千円　※合併特例債 ○負担金（放課後児童クラブ運営事業保護者負担金）２６，３２６千円 ○負担金（放課後児童クラブ給食サービス事業保護者負担金）１，６５１千円 ○手数料（督促手数料）２６千円 ○財産運用収入（行政財産）１９千円 ○雑入（インフルエンザ予防接種個人負担金）８３千円 ○雑入（児童クラブ支援員・給食調理員給食費）２４６千円 ○雑入（児童クラブ管外保育受託費）１，１２０千円
次世代を担う子どもの誕生を祝福し、経済的支援を図り、子育てに優しい魅力あるまちづくりを推進するため、新たに出生した子育て世帯に対して、１０万円相当の市内共通商品券を給付した。 対象者　１５２人
母子家庭の母又は父子家庭の父が資格取得のために養成機関で修業した場合、修業期間中及び修業期間修了後に一時金を支給した。また、専門実践教育訓練校に指定されている萩看護学校を修了した場合、その教育訓練経費の一部を支給した。 訓練促進給付金（対象者　５人） 市民税非課税世帯　１００，０００円／月、市民税課税世帯　７０，５００円／月 修了支援給付金（対象者　３人） 市民税非課税世帯　５０，０００円、市民税課税世帯　２５，０００円 訓練給付金（対象者　２人） ５４，０００円（授業料）×３年分×６０％ 【歳入内訳】 ○国庫補助金（母子家庭等対策総合支援事業費）５，２８７千円 ７，０５０千円×３／４
食事提供（子ども食堂）、学習支援及び相談事業を行うことで、孤立や孤食を防止し、団らんを通して子どもも大人も安心して過ごすことができるよう、子どもの居場所づくりに取り組む民間団体に対して、安定的・継続的に事業を実施できるよう支援した。 整備費支援（申請団体　１団体） 補助金額　１箇所につき２００千円（上限額） 補助率　　１０／１０ 対象経費　工事請負費、備品購入費など 活動費支援（申請団体　１団体）

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
49・50							
50・51		子どものための教育・保育給付事業	628,624	433,463		25,471	169,690
		次世代育成支援対策保育事業	14,106	9,400			4,706
		延長保育促進事業	5,559	3,706			1,853

事　　業　　内　　容
補助金額　１箇所につき年間１２０千円（最長３年間） 補助率　　１０／１０ 対象経費　報償費、消耗品費、食材料費など
市内の児童が入所している民間保育所等に対して、国の定める基準により運営に要する経費を支援した。また、令和４年９月までは、国庫補助金を財源に処遇改善を実施した。 施設数　７園 入所定員　６５３人 日の丸保育園　１７０人　　住の江保育園　１１５人　　大島保育園　２０人　　春日保育園　７０人 萩幼稚園　１４５人　　萩光塩学院幼稚園　１１５人　　くすのき保育園　１８人 【歳入内訳】 ○国庫負担金（子どものための教育・保育給付事業費）２９３，０３３千円 ５３７，９３９千円×１／２～５．８１６／１０ ○国庫補助金（保育士等処遇改善臨時特例事業費）１０，１３４千円 １０，１３４千円×１０／１０ ○県負担金（子どものための教育・保育給付事業費）１３０，２９６千円 ５６３，９４５千円×２．０９２／１０～１／２ ○負担金（民間保育所運営費保護者負担金）２５，４７１千円
一時預かり事業 家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児を保育所等で一時的に預かり保育を実施した。 一般型 保護者が疾病等の理由により、家庭で保育ができない場合に、一時的に未就園児を預かり保育した。 実施園　日の丸保育園 幼稚園型 幼稚園の在園児を一時的に預かり保育した。 実施園　萩幼稚園、萩光塩学院幼稚園 地域子育て支援センター事業 専任の子育て指導者２人を配置し、育児相談、子育てサークル等の育成・支援、子育て行事の開催などの子育て支援を行った。 実施園　日の丸保育園 【歳入内訳】 ○国庫補助金（一時預かり事業費）１，９０１千円 ５，７０３千円×１／３ ○国庫補助金（地域子育て支援拠点事業費）２，７９９千円 ８，３９８千円×１／３ ○県補助金（一時預かり事業費）１，９０１千円 ５，７０３千円×１／３ ○県補助金（地域子育て支援拠点事業費）２，７９９千円 ８，３９８千円×１／３
就労形態の多様化等に伴う延長保育の需要に対応するため、開所時間を超える１時間から２時間の延長保育を実施した。また、保育短時間認定の子どもに対して、開所時間内における延長保育を実施した。 実施園　日の丸保育園、住の江保育園、春日保育園

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
50・51							
		２４時間保育事業	4,125				4,125
		民間保育所等給食費物価高騰緊急対策支援事業	84	84			
		児童手当支給事業	419,837	354,574			65,263
		児童扶養手当支給事業	170,666	56,879			113,787
		乳幼児医療費助成事業	42,508	12,441	26,300	367	3,400

事　　業　　内　　容
【歳入内訳】 ○国庫補助金（延長保育促進事業費）１，８５３千円 ５，５５９千円×１／３ ○県補助金（延長保育促進事業費）１，８５３千円 ５，５５９千円×１／３
夜間勤務を伴う保護者の子育てと仕事の両立を支援するため、保育所において２４時間保育を実施した。 実施園　日の丸保育園　　登録児童数　２人　　利用児童数（延べ）　０人 保育日時　午後６時～午後１０時まで（月曜日～金曜日） 午後６時～翌朝の午前９時３０分まで（月曜日～金曜日のうち週３日）
新型コロナウイルス感染症の長期化等による食材価格高騰の影響により、これまでと同様の給食の提供が困難となってきたことから、保護者に負担を求めることなく給食の提供を行うため、材料費の高騰分を負担した。 施設数　１園（春日保育園） 【歳入内訳】 ○県補助金（民間保育所等給食費物価高騰緊急対策支援事業費）８４千円 ８４千円×１０／１０
次代の社会を担う子どもの健やかな成長を支援するため、児童手当を支給した。 ３歳未満及び３歳以上小学校修了前（第３子以降）　月額１５千円／人 ３歳以上小学校修了前（第１・２子）・中学生　　月額１０千円／人 特例給付（所得制限世帯）　　月額　５千円／人 延べ児童数 ３歳未満　　１５千円×　４，８３６人 ３歳以上小学校修了前 第１・２子　１０千円×１８，８０６人 第３子以降　１５千円×　４，０３０人 中学生　　１０千円×　９，４８６人 特例給付　　５千円×　　７８２人 計　　３７，９４０人 【歳入内訳】 ○国庫負担金（児童手当交付金）２８９，３２８千円 ○県負担金（児童手当交付金）６５，２４６千円
ひとり親家庭等の生活の安定と自立を促進し、児童の福祉の増進を図るため、児童扶養手当を支給した。 第１子 全部支給月額　４３，０７０円（一部支給は所得に応じて１０，１６０円～４３，０６０円） 第２子加算額 全部支給月額　１０，１７０円（一部支給は所得に応じて５，０９０円～１０，１６０円） 第３子以降加算額 全部支給月額　　６，１００円（一部支給は所得に応じて３，０５０円～６，０９０円） 【歳入内訳】 ○国庫負担金（児童扶養手当交付金）５６，８７９千円 １７０，６３７千円×１／３
子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、医療費（保険適用分）の自己負担額を助成した。

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
50・51							
		子ども医療費助成事業	64,043		55,800	1,576	6,667
		ひとり親家庭医療費助成事業	24,754	9,295		1,512	13,947
		多子世帯子育て支援金支給事業	6,043	3,010			3,033

事　　業　　内　　容
受給者数　県補助　７９７人 市単独　３３０人（令和４年４月から令和５年３月までの月平均人数） 【歳入内訳】 ○県補助金（乳幼児医療費助成事業費）１１，８３６千円 ２３，６７２千円×１／２ ○県補助金（乳幼児医療費助成事業事務費）６０５千円 １，２１０千円×１／２ ○市債（乳幼児・子ども医療費助成事業債）２６，３００千円　※過疎債（ソフト分） ○雑入（乳幼児医療費高額療養費）３６７千円
子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、医療費（保険適用分）の一部負担金を除いた自己負担額を助成した。 対象世帯　小学生、中学生がいる全ての世帯 父母合算の市民税所得割額が１３６，７００円以下の高校生等（※）がいる世帯 対象者数　２，８５９人（令和４年４月から令和５年３月までの月平均人数） （小学生　１，４８０人、中学生　８７３人、高校生等（※）　５０６人） 一部負担金額　通院１医療機関あたり月１千円、入院１医療機関あたり月２千円 保険薬局については負担なし ※高校生等　１８歳に達した日以後の最初の３月３１日までの者 【歳入内訳】 ○市債（乳幼児・子ども医療費助成事業債）５５，８００千円　※過疎債（ソフト分） ○雑入（子ども医療費高額療養費）１，５７６千円
市民税所得割額が非課税である、ひとり親家庭等に属する対象者に係る医療費の自己負担額を助成した。また、県の制度で、平成２１年８月から、一部負担金（通院　１機関あたり月１千円、入院　１機関あたり月２千円）が導入されたが、その自己負担金についても、市負担で助成を行った。 対象者 １８歳に達した日以後の最初の３月３１日までの児童を養育するひとり親家庭等の父又は母及び当該児童 １８歳に達した日以後の最初の３月３１日までの父母のいない児童 対象者数　５５３人（令和４年４月から令和５年３月までの月平均人数） 【歳入内訳】 ○県補助金（ひとり親家庭医療費助成事業費）８，９４３千円 １７，８８５千円×１／２ ○県補助金（ひとり親家庭医療費助成事業事務費）３５２千円 ７０４千円×１／２ ○雑入（ひとり親家庭医療費高額療養費）１，５１２千円
多子世帯における経済的負担の軽減を図るため、第３子以降の児童を保育所等に入所させた場合、その保育料等の全額又は半額を助成した。 対象者　第３子以降のすべての保育所等の入所児童 対象施設　保育所、認定こども園、事業所内保育所 軽減内容　市民税所得割額が９７千円未満の世帯　保育料・副食費の全額補助 市民税所得割額が９７千円以上の世帯　保育料の１／２補助 【歳入内訳】 ○県補助金（多子世帯子育て支援金支給事業費）３，０１０千円

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
50・51							
		子育てのための施設等利用給付事業	1,101	826			275
		病児保育事業	13,078	8,710			4,368
		保育所施設整備費補助事業	3,465	2,310			1,155
		子育て世帯生活支援特別給付金事業	43,450	43,400			50

事　　業　　内　　容
５，６２０千円×１／２～１０／１０
幼児教育・保育の無償化に伴い、幼稚園での預かり保育や保育園での一時預かりなどの無償化対象者に、利用料の一部給付を行った。 対象事業　幼稚園預かり保育事業 実施園　萩幼稚園、萩光塩学院幼稚園 保育園一時預かり事業 実施園　日の丸保育園、椿東保育園、山田保育園、川上保育園、田万川保育園 田万川保育園小川分園、むつみ保育園、須佐保育園、あさひ保育園 福川保育園、紫福保育園 ファミリー・サポート・センター事業 給付内容　月額上限額の範囲内において、利用料のうち食事の提供にかかる費用等を除く部分を給付 【歳入内訳】 ○国庫負担金（子育てのための施設等利用給付事業費）５５１千円 １，１０１千円×１／２ ○県負担金（子育てのための施設等利用給付事業費）２７５千円 １，１０１千円×１／４
保育所等に通所中の児童が、病気又は病気の回復期で集団保育が困難な期間中、一時的にその児童を預かり、保護者の子育てと仕事の両立を支援した。 実施施設　いわたにこどもクリニック病児保育室“いるかのママ” 【歳入内訳】 ○国庫補助金（病児保育事業費）４，３５５千円 １３，０６５千円×１／３ ○県補助金（病児保育事業費）４，３５５千円 １３，０６５千円×１／３
新型コロナウイルス感染症の予防及び園児の安心安全な保育環境を整えるため、施設整備を行う保育園に対して、費用の一部を支援した。 実施主体　春日保育園 整備内容　厨房の乾式化等 総事業費　４，６２０千円 負担割合　萩市１／４　県１／２　事業主体１／４ 【歳入内訳】 ○県補助金（保育所施設整備費補助事業費）２，３１０千円 ３，４６５千円×２／３
新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯の生活を支援するため、児童扶養手当を受給している世帯等に対して、対象児童一人あたり５万円の特別給付金を支給した。 ひとり親世帯（国）　３６７世帯　５５７子分 ひとり親世帯（市単独）　８世帯　１３子分 その他世帯（国）　１１９世帯　２３６子分 【歳入内訳】 ○国庫補助金（子育て世帯生活支援特別給付金事業費）４２，８００千円 ４２，８００千円×１０／１０

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
50・51							
		子育て世帯への臨時特別給付金給付事業	1,302	1,302			
51		児童館運営事業	30,021	694	10,400	98	18,829
		プレーパーク運営事業	1,867				1,867
		萩市ファミリー・サポート・センター運営事業	5,068	1,866			3,202
		公立保育所運営事業	602,957	1,027	900	40,021	561,009

事　　業　　内　　容
○国庫補助金（子育て世帯への臨時特別給付金事業費）６００千円　※コロナ臨時交付金
新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、子育て世帯を支援するため、高校生までの子どもがいる世帯に対して、対象児童１人につき５万円を支給した。 【歳入内訳】 ○国庫補助金（子育て世帯への臨時特別給付金事業費）１，３０２千円 １，３０２千円×１０／１０
子どもたちの居場所並びに児童健全育成及び子育てを行う保護者の交流の場として、児童館の管理運営を行った。また、照明器具をＬＥＤ照明へ交換することにより、環境の改善を図り、省エネルギー化・長寿命化による費用の削減を図った。 運営委託先　ＮＰＯ法人萩子どもセンター 開館時間　午前９時３０分～午後９時 休館日　毎週火曜日（夏季休業中は除く）、盆・年末年始 利用者数（延べ）　４３，１８５人 【歳入内訳】 ○国庫補助金（地域子育て支援拠点事業費）３４７千円 １，０４２千円×１／３ ○県補助金（地域子育て支援拠点事業費）３４７千円 １，０４２千円×１／３ ○市債（児童館ＬＥＤ照明設置事業債）１０，４００千円　※合併特例債 ○使用料（児童館使用料）２６千円 ○雑入（児童館光熱水費等負担金）７２千円
子どもたちの健全育成を目指し、自己責任のもとに自由な遊びを実現する場であるプレーパークの管理運営を行った。 運営委託先　ＮＰＯ法人萩子どもセンター 開園日　毎週水・土・日曜日（盆・年末年始を除く） 開園時間　４～９月　午前１０時～午後５時、１０～３月　午前１０時～午後４時 利用者数（延べ）　１２，６２１人
仕事と育児の両立ができる環境整備として、子育ての相互援助組織による地域の子育て支援を推進し、児童福祉及び勤労者福祉の増進を図った。 運営委託先　社会福祉法人萩市社会福祉協議会 【歳入内訳】 ○国庫補助金（ファミリー・サポート・センター運営事業費）９３３千円 ２，８００千円×１／３ ○県補助金（ファミリー・サポート・センター運営事業費）９３３千円 ２，８００千円×１／３
施設数　１２園　　入所定員　７１５人 越ヶ浜保育園　６０人　椿保育園　８０人　三見保育園　３０人　椿東保育園　１３０人 山田保育園　９０人　川上保育園　３０人　田万川保育園　９０人　むつみ保育園　４５人 須佐保育園　４０人　あさひ保育園　６０人　福川保育園　３０人　紫福保育園　３０人 次世代育成支援対策保育事業 実施園　椿東保育園、山田保育園、川上保育園、田万川保育園、むつみ保育園、須佐保育園

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
51							
		越ヶ浜保育園大井分園運営事業	18,290			885	17,405
		見島へき地保育所運営事業	16,181	6,481		918	8,782

事　　業　　内　　容
あさひ保育園、福川保育園、紫福保育園 延長保育促進事業 就労形態の多様化に伴う延長保育の需要に対応するため、１時間の延長保育を行った。 実施園　椿東保育園 障がい児保育事業 障がいがあると認められる児童を預かり保育した。 実施園　越ヶ浜保育園、椿保育園、三見保育園、椿東保育園、山田保育園 保育園設備改修事業 保育環境改善のため市内の保育園施設の改修工事等を行った。 改修内容　椿保育園下水道設備設計業務、三見保育園空調設備改修設計監理業務等 【歳入内訳】 ○国庫補助金（一時預かり事業費）２４４千円 ７３２千円×１／３ ○国庫補助金（保育の質の向上のための研修事業費）６４千円 １２８千円×１／２ ○県補助金（一時預かり事業費）２４４千円 ７３２千円×１／３ ○県補助金（多子世帯応援保育料等軽減事業費）４７５千円 ９２４千円×１／２～１０／１０ ○市債（保育園設備改修事業債）９００千円　※合併特例債 ○負担金（公立保育所運営費保護者負担金）２２，１６７千円 ○負担金（公立保育所一時預かり事業保護者負担金）４３７千円 ○負担金（公立保育所延長保育事業保護者負担金）３３千円 ○財産運用収入（行政財産）１４千円 ○雑入（インフルエンザ予防接種個人負担金）１６３千円 ○雑入（保育所職員給食費）６，９６９千円 ○雑入（保育所管外保育受託費）２，９４７千円 ○雑入（資源物売払収入）４６千円 ○雑入（山口県保育協会個人負担金）１１６千円 ○雑入（公立保育所入所児童副食費）７，０３６千円 ○雑入（インフルエンザ予防接種助成金）９３千円
大井地区において、公設民営による保育所を運営した。 入所定員　２０人 運営委託先　社会福祉法人萩市社会福祉協議会 【歳入内訳】 ○負担金（公立保育所運営費保護者負担金）５４３千円 ○雑入（保育所職員給食費）２４５千円 ○雑入（公立保育所入所児童副食費）９７千円
見島において、交通条件等に恵まれない地域で保育所を運営した。 入所定員　３０人 運営委託先　社会福祉法人萩市社会福祉協議会

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
51							
		保育所保育改善事業	17,832		13,600		4,232
		保育所等送迎バス安全装置整備事業	174	174			
		親子の遊び場「あそぼー舎」運営事業	11,317			720	10,597
51・52	（民生費）生活保護費	生活保護受給者就労支援事業	2,270	1,703			567
52		生活保護者扶助事業	608,121	491,831		3,384	112,906

事　　業　　内　　容
【歳入内訳】 ○国庫負担金（子どものための教育・保育給付事業費）４，４１５千円 ８，１２９千円×１／２～５．８１６／１０ ○国庫補助金（保育士等処遇改善臨時特例事業費）２０９千円 ２０９千円×１０／１０ ○県負担金（子どものための教育・保育給付事業費）１，８５７千円 ８，１２９千円×２．０９２／１０～１／４ ○負担金（へき地保育所運営費保護者負担金）５６２千円 ○雑入（へき地保育所職員給食費）１４４千円 ○雑入（へき地保育所入所児童副食費）２１２千円
安心安全な保育環境を整えるため、老朽化した園舎の改修や修繕等を行った。 三見保育園保育室等空調設備設置工事、ＬＥＤ化器具取替設計業務委託（１２園）、各保育園施設維持補修等 【歳入内訳】 ○市債（保育園設備改修事業債）１３，６００千円　※合併特例債
保育所等の送迎バスにおいて、バス利用時における園児の置き去りを防止するため、安全装置の整備を行った。 須佐保育園送迎バス　１台 【歳入内訳】 ○国庫補助金（保育所等送迎バス安全装置整備事業費）１７４千円 １７４千円×１０／１０
親子のふれあいの創出を促すとともに、新たな発想を生み出すことができる豊かな感性と創造力を持つ子どもの育成を図るため、体全体を使ってアクティブに遊ぶことができる施設、萩市親子の遊び場「あそぼー舎」の運営を行った。 運営委託先　ＮＰＯ法人萩子どもセンター 開館時間　　平　日　午後１時～午後６時（金曜日のみ午後９時まで） 土曜日　午前１０時～午後９時 日祝日　午前１０時～午後６時 ※小・中学生のみの利用は午後６時まで 休 館 日　　毎週火曜日（夏季休業中は除く）、盆・年末年始 利用者数（延べ）　２７，８２５人 【歳入内訳】 ○使用料（親子の遊び場「あそぼー舎」使用料）３３９千円 ○財産運用収入（行政財産）３１７千円 ○雑入（自動販売機電気代負担金）６４千円
就労支援員を設置し、ハローワークへの同行訪問や面接支援等、特別なサポートを必要とする生活保護受給者の就労支援を行った。 支援対象者　３８名　　うち就労開始者　１９人 【歳入内訳】 ○国庫負担金（被保護者就労支援事業費）１，７０３千円 ２，２７０千円×３／４
困窮のため最低限度の生活を維持することのできない者に対して、生活保護費を支給した。 生活扶助　２６２世帯／月　　住宅扶助　２０９世帯／月　　教育扶助　４人／月

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
52							
		阿武町生活保護者扶助事業	14,158	14,158			
52	（民生費）災害救助費	災害救助事業	180				180
53	（衛生費）保健衛生費	火葬場・霊園管理運営事業	39,181			5,466	33,715
53・54		子育て世代包括支援センター運営事業	8,037	6,574			1,463

事　　業　　内　　容
介護扶助　６０人／月　　医療扶助　３２１人／月　　出産扶助　０件／年 生業扶助　３人／月　　葬祭扶助　７件／年 就労自立給付金　７件／年　　進学準備給付金　０件／年 保護施設入所事業 救護施設つばき　２５人　　聖和苑（山口市）　３人　　愛和苑（周防大島町）　３人 【歳入内訳】 ○国庫負担金（生活保護費）４２３，０１３千円 ５６４，０１７千円×３／４ ○国庫負担金（生活保護事務費）５０，９２９千円 ６７，９０５千円×３／４ ○県負担金（生活保護費）１７，８８９千円 ７１，５５７千円×１／４ ○雑入（生活保護費返還金）２，８７１千円 ○雑入（生活保護費徴収金）５１３千円
困窮のため最低限度の生活を維持することのできない阿武町民に対して、生活保護費を支給した。 （山口県からの受託事務） 生活扶助　１１世帯／月　　住宅扶助　３世帯／月　　医療扶助　１０人／月　　介護扶助　２人／月 保護施設入所事業 救護施設つばき　１人 【歳入内訳】 ○国庫負担金（生活保護費）９，０２７千円 １２，０３７千円×３／４ ○国庫負担金（生活保護施設事務費）１，５９１千円 ２，１２１千円×３／４ ○県負担金（生活保護費）３，５４０千円 １４，１５８千円×１／４
災害見舞金 住家全焼　５０千円×１件　　住家半焼　３０千円×１件　　死亡　５０千円×２件
萩やすらぎ苑斎場、田万川火葬場、須佐火葬場の管理運営を行った。 萩やすらぎ苑斎場　火葬炉設備修繕他 市有霊園の管理運営事業 市有霊園の管理を行った。 【歳入内訳】 ○負担金（萩やすらぎ苑斎場管理運営費負担金）２，７７１千円　※阿武町分 ○使用料（行政財産目的外使用料）４５千円 ○使用料（火葬場使用料）４千円 ○使用料（霊園使用料）１，４２０千円 ○手数料（証明手数料）１千円 ○手数料（霊園管理手数料）１，２２５千円
妊娠期から子育て期にわたる様々なニーズに対して、総合的相談や支援を行うワンストップ拠点として、子育て世代包括支援センターＨＡＧＵ（はぐ）を運営した。また、出産・子育てに関する不安の解消につながるよう、母子

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
53・54							
		母子保健事業	33,334	2,012		168	31,154

事　　業　　内　　容
保健コーディネーターの訪問による支援等の充実を図った。 【歳入内訳】 ○国庫補助金（子育て世代包括支援センター運営事業費）５，２９６千円 ８，０３７千円×１／２～２／３ ○県補助金（子育て世代包括支援センター運営事業費）１，２７８千円 ７，６７３千円×１／６
妊婦健康診査費用助成事業 妊婦の健康管理の充実及び妊娠出産に係る経済的負担を軽減し、安心して妊娠出産ができる体制を確保するため、妊婦の健康診査（１４回分）に対して助成を行った。 事業費　１５，９０１千円 離島に居住する妊婦の健診等に係る交通費等支援事業 離島に居住する妊婦の定期的な健診機会等を確保をするため、交通費等の助成を行った。 事業費　２２千円 産婦健康診査事業 母体の身体的機能の回復や精神状態等の把握を行い、心身の不調や産後うつ等を予防するため、出産後間もない時期（産後２週目と１か月目の２回）の産婦に対して、健康診査を行った。 事業費　１，４６１千円 各種健康診査事業等 乳児健康診査（１・３・７か月）、１歳６か月児健康診査、３歳児健康診査を実施した。また、スポットビジョンスクリーナー（弱視発見のための屈折検査機器）の購入等を行った。 事業費　８，３７１千円 不妊症・不育症治療費等助成事業 不妊治療（一般不妊治療、特定不妊治療、男性不妊治療）及び不育症治療を受けている夫婦に対して、経済的な負担を軽減するため、治療に係る費用の助成を行った。 事業費　７８２千円 各種相談事業等 乳児健康相談（５・１０か月）、母子相談等健康相談事業、乳幼児発達支援事業、妊産婦訪問、新生児訪問（こんにちは赤ちゃん訪問）、乳幼児訪問等指導事業、健康教育事業、母子健康手帳交付、５歳児相談会を行った。 事業費　６，７９７千円 【歳入内訳】 ○国庫補助金（母子保健事業費）２８４千円 ８５２千円×１／３ ○国庫補助金（産婦健康診査事業費）７３０千円 １，４６１千円×１／２ ○国庫補助金（母子保健対策強化事業費）６１９千円 １，２３９千円×１／２ ○県補助金（一般不妊治療費助成事業費）９４千円 １８９千円×１／２ ○県補助金（母子保健事業費）２８４千円 ８５２千円×１／３ ○県委託金（特定不妊治療費助成事業事務費）１千円

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
53・54							
		不妊治療サポート事業	637				637
		予防歯科推進事業	391				391
		予防接種事業	65,580	216			65,364

事　　業　　内　　容
○雑入（看護学生等実習謝礼）１６８千円
不妊治療の保険適用拡大にょり、県及び市の助成制度の一部が廃止となったため、自己負担額の増加が見込まれることから、経済的な負担を軽減するため、治療に係る費用の助成を行った。
健康寿命の延伸に向けて、生涯を通じた切れ目のない歯科保健の推進を行った。 健康教室等 乳幼児予防歯科教室・育児学級等の健康教室を通じて、ブラッシング指導等を徹底し、予防歯科を推進した。 妊婦歯科健康診査 早産や低体重児を出産する確率を高めるといわれている歯肉炎や虫歯を予防するため、妊婦に対して歯科健康診査を行った。 フッ化物配合歯磨剤塗布 フッ化物配合歯磨剤を日々のメンテナンスに正しく取り入れてもらい、歯の質の強化と虫歯を予防することを目的に、１歳６か月児健診の際に、歯科衛生士によりフッ化物配合歯磨剤の塗布とブラッシング指導を行い、その必要性を周知した。
各種予防接種を実施した。 ４種混合、３種混合、２種混合、麻しん、風しん、麻しん・風しん混合（ＭＲ１期・２期）、不活化ポリオ、日本脳炎、ＢＣＧ、子宮頸がん予防（ＨＰＶ）、ヒブ（Ｈｉｂ）、小児用肺炎球菌、水痘、Ｂ型肝炎、ロタウイルスの各ワクチン 対象　２０歳未満の方 自己負担金　なし 子宮頸がん予防ワクチンの積極的勧奨が差し控えられたことにより接種機会を逃した方に対して、公平な接種機会を確保するためのキャッチアップ接種を実施した。 対象　平成９～１７年度生まれの女子 実施期間　令和６年度末まで 風しん対策事業 抗体保有率が他の世代に比べて低い世代の男性に対して、抗体検査及び予防接種を行った。また、妊娠を希望する女性及び配偶者、妊婦の配偶者、十分な免疫のない妊婦の同居者のうち、抗体検査で陰性と判定された方に対して、予防接種費用の助成を行った。 抗体検査及び予防接種の対象　昭和３７年４月２日～昭和５４年４月１日生まれの男性 実施内容　抗体検査、ワクチン予防接種を無料で実施 実施期間　令和６年度末まで 小児予防接種費用助成事業 乳幼児の疾病予防及び保護者への経済的支援として、おたふくかぜワクチン予防接種費用の一部助成を行った。 助成額　接種費用の１／２以内（上限７千円） 子宮頸がん予防ワクチン接種費用助成事業 子宮頸がん予防ワクチンの積極的勧奨が差し控えられたことにより、定期接種の年齢を過ぎて任意接種を自費で受けた方へ助成を行った。 助成額　１７，９５２円／回（上限額） 新型コロナウイルス予防接種健康被害給付事業 新型コロナウイルスワクチンの予防接種により健康被害が生じた方への医療費等の給付を行った。 【歳入内訳】 ○国庫負担金（新型コロナウイルス予防接種健康被害給付事業費）１３６千円

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
53・54							
		新型コロナウイルスワクチン接種事業	230,473	227,378		130	2,965
		高齢者予防接種事業	46,480				46,480
		成人保健事業	24,102	307		1,423	22,372
		がん検診総合支援事業	724	73			651

事　　業　　内　　容
１３６千円×１０／１０ ○国庫補助金（風しん抗体検査事業費）８０千円 １６１千円×１／２
国の方針により、新型コロナウイルスワクチンの接種を実施した。なお、事業費の一部については、令和５年度に繰り越した。 【歳入内訳】 ○国庫負担金（新型コロナウイルスワクチン接種事業費）１７９，２８１千円 １７９，２８１千円×１０／１０ ○国庫補助金（新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費）４８，０９７千円 ４８，０９７千円×１０／１０ ○雑入（新型コロナウイルスワクチン接種事業費）１３０千円
高齢者インフルエンザ予防接種を実施した。 事業費　４２，８５５千円 対象　６５歳以上の方 ６０歳から６４歳までの方で心臓・腎臓・呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がいがある方 自己負担金　１，４９０円 高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種を実施した。 事業費　３，６２５千円 対象　６５歳になる方 自己負担金　２，８５０円
各種検診事業等 特定健康診査（生活保護受給者）、肝炎ウイルス検診、歯周疾患検診、骨粗しょう症検診、胃がん検診、子宮がん検診、乳がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、寝たきり高齢者等訪問歯科検診を行った。 各種相談事業等 健康教育（糖尿病予防教室等）、健康相談を行った。 【歳入内訳】 ○県補助金（健康増進事業費）３０７千円 ４６１千円×２／３ ○雑入（がん検診個人負担金）１，３９７千円 ○雑入（成人健康教室参加者負担金）２６千円
特定の年齢に達した方に対して健康長寿のまちづくりを目指した取組として、従来の子宮頸がん、乳がん、大腸がん、肺がん、胃がんを対象として、がん検診の検診料が無料となる受診勧奨ハガキを交付し、受診促進を図った。 対象　子宮頸がん　１８６人（２１歳になる女性の方）平成１３年４月２日～平成１４年４月１日生まれ 乳がん　１７７人（４１歳になる女性の方）昭和５６年４月２日～昭和５７年４月１日生まれ 大腸がん　３８８人（４１歳になる方）昭和５６年４月２日～昭和５７年４月１日生まれ 肺がん　３８８人（４１歳になる方）昭和５６年４月２日～昭和５７年４月１日生まれ 胃がん　３８８人（４１歳になる方）昭和５６年４月２日～昭和５７年４月１日生まれ 【歳入内訳】 ○国庫補助金（がん検診総合支援事業費）７３千円 １４６千円×１／２

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
53・54		地域自殺対策強化事業	470	250			220
		未熟児養育事業	1,893	1,038		415	440
54		飲料水供給施設運営及び飲料水確保事業	2,369			6	2,363
		がんばろう萩！省エネ家電製品購入支援事業	33,628	22,600			11,028
54・55		環境保全対策事業	2,571				2,571
55		救急医療対策事業	66,816	2	58,400	67	8,347

事　　業　　内　　容
「萩市自殺対策計画」に基づき、だれもが生きいきと暮らせるまちづくりを目指して、地域共生に向けた住民の心の健康づくりを推進をした。 事業内容　働く世代を対象としたゲートキーパー養成講座の実施 こころの相談室の定期開設や１歳６か月児の親を対象とした対面相談 ハイリスク児童生徒を見守る支援者養成講座の実施 啓発用リーフレットの作成・周知 【歳入内訳】 ○県補助金（地域自殺対策強化事業費）２５０千円 ４７０千円×１／２～２／３
低体重又は身体の機能が未熟なままで生まれた新生児の養育に必要な医療費の給付を行った。 【歳入内訳】 ○国庫負担金（未熟児養育医療費給付事業費）６９２千円 １，３８４千円×１／２ ○県負担金（未熟児養育医療費給付事業費）３４６千円 １，３８４千円×１／４ ○負担金（未熟児養育医療費給付事業保護者負担金）４１５千円
飲料水供給施設の管理運営事業（指定管理） 飲料水供給施設　５箇所（三見床並、三見手水川、大井羽賀、川上白上団地、川上佐古団地） 飲用水確保事業 水道給水区域外の地域における飲用水確保のため、個人又は共同で実施するボーリング工事の掘削経費に対して補助を行った。 補助額　掘削に要する経費の１／２（上限２５０千円） 飲料水水質検査事業 水道給水区域外の地域において、個人が行う飲料水の水質検査料に対して補助を行った。 補助額　検査料の１／２（上限１０千円） 【歳入内訳】 ○分担金（飲料水供給施設修理事業分担金）６千円
物価高騰による家計の負担の軽減と温室効果ガスの削減を図ることを目的に、市内の店舗、事業所からの新品の省エネルギー性能に優れた家電製品への買い換えについて補助した。（１世帯当たり１回限り） 対象家電　エアコン、冷蔵庫、テレビ、温水機器、ＬＥＤ照明器具 補助金額　購入額×１／３（千円未満切り捨て） 上限額　５０千円　　下限額　３千円 【歳入内訳】 ○国庫補助金（省エネ家電製品購入支援事業費）２２，６００千円　※コロナ臨時交付金
環境学習　親と子の水辺の教室　３箇所（萩地域、川上・旭・福栄地域、田万川・むつみ・須佐地域） 水質調査　阿武川、藍場川、三見川、大屋川、田万川
救急医療在宅当番医業務委託事業（一次分） 実績　内科、外科、小児科、眼科、耳鼻咽喉科　平日　５８８日　　休日　８日 萩地域救急医療対策運営事業（二次分） 実績　４病院　平日夜間　３６５日　　休日　７１日 萩地域救急医療体制維持対策事業（二次分）

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
55							
		へき地医療対策事業	608				608
		地域医療推進事業	9,904			2,262	7,642
		看護師確保対策事業	28				28
		中核病院形成推進事業	16,707				16,707
		がんばろう萩！新型コロナ	4,278				4,278

事　　業　　内　　容
実績　３病院　平日夜間　２２３日　　休日　４３日 益田地域救急医療対策運営事業（二次分） ※一次分　在宅当番制による軽症の救急患者に対する初期救急 ※二次分　輪番制による重症救急患者を治療する二次救急 救急患者輸送費補助事業 離島において発生した救急患者を市の指定船舶等で搬送した場合の費用を助成した。 実績　大島　１０件、相島　２件、見島　２件 【歳入内訳】 ○県補助金（医療提供体制推進事業費）２千円 ３千円×２／３ ○市債（救急医療対策事業債）５８，４００千円　※過疎債（ソフト分） ○雑入（救急医療事務調整費負担金）６７千円　※阿武町分
相島巡回診療事業 無医地区である相島の住民に対して医療を提供するため、山口県立総合医療センター医師による巡回診療を実施するとともに、オンライン診療のサポートを行った。 診療日　毎週火曜日（年４７回診療）　受診者数（延べ）　３２３人
地域における医療課題の解決を図るため、次の事業に取り組んだ。 住民啓発事業 萩・阿武健康ダイヤル２４による電話健康医療相談を実施した。 相談件数　４，６１５件 地域医療連携支援センター運営事業 圏域の地域医療の拠点となる地域医療連携支援センターを運営した。 使用団体　萩市医師会、萩市歯科医師会、萩薬剤師会、山口県看護協会萩支部、（株）キューリン等 医療従事者研修宿泊施設運営事業 圏域に不足している医師等医療従事者の確保対策の一環として、研修医や医学生等の研修宿泊施設を運営した。 利用実績　４２名　　利用日数（延べ）　５３６日 【歳入内訳】 ○負担金（医療健康相談コールセンター事業負担金）３１６千円　※阿武町分 ○使用料（医療従事者研修宿泊施設使用料）２０４千円 ○財産運用収入（行政財産）２２９千円 ○雑入（自動販売機電気代負担金）１３千円 ○雑入（地域医療連携支援センター光熱水費等負担金）１，５００千円
市内医療機関の看護師確保を目的に、勤務されていない有資格者（潜在看護師）で働く意思のある方に対して、相談から技術指導、研修、再就職まで包括的な支援に取り組んだ。 再就職相談窓口の設置
将来にわたり市民が安心して医療を受けられる体制の構築に向け、萩市民病院と都志見病院の統合による地域の医療連携の核となる中核病院づくりに向けた検討を行った。なお、事業費の一部については、令和５年度に繰り越した。 事業内容　中核病院形成に係る民間病院事業譲渡資産等調査業務委託 医療法人医誠会との基本合意に向けての各種調整
新型コロナウイルス感染症の予防対策としてアルコール消毒液や体温計等を購入した。

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
55		ウイルス感染症予防事業					
55・56		出産・子育て応援事業	18,446	15,424			3,022
56	（衛生費）清掃費	萩・長門清掃一部事務組合負担金事業	117,388			13,814	103,574
		浄化槽設置整備事業	13,043	5,157			7,886
56・57		塵芥収集事業	247,726			60,530	187,196
		離島ごみ処理事業	44,204			1,000	43,204
		不燃物埋立処分事業	49,853			4,623	45,230

事　　業　　内　　容
全ての妊婦・子育て家庭が孤立感や不安感を抱くことなく、安心して出産・子育てができるよう、妊娠期から出産・子育てまで、伴走型支援と経済的支援を一体として実施した。 【歳入内訳】 ○国庫補助金（出産・子育て応援事業費）１２，４０６千円 １８，４４６千円×２／３～１０／１０ ○県補助金（出産・子育て応援事業費）３，０１８千円 １８，１１３千円×１／６
萩・長門清掃工場「はなもゆ」の運営等に係る経費を負担した。 事業主体　萩・長門清掃一部事務組合 事業期間　平成２７～令和１６年度（２０年間） 令和４年度分担金・事務委託金総額　２３７，７６０千円（うち萩市負担額　１１７，３８８千円） 負担割合　一部事務組合８９．７％（４月～１０月　萩市５５．０％、長門市４５．０％） （１１月～３月　萩市５５．１％、長門市４４．９％） 阿武町１０．３％ 均等割、人口割及びごみ量割によって算出 【歳入内訳】 ○雑入（萩・長門清掃一部事務組合給与費負担金）１３，８１４千円
公共用水域の水質保全と汚水処理施設の早期整備のため、浄化槽の設置費用の一部を補助した。なお、公共下水道等の整備区域の見直しに伴い、整備区域から除いた区域の専用住宅には補助金の加算を行った。 対象　下水道及び集落排水の事業計画区域を除く区域 公共下水道等の整備区域から除いた区域 事業内容　５人槽　２４基　　７人槽　３基 【歳入内訳】 ○国庫補助金（浄化槽設置整備事業費）５，１５７千円 １５，４７２千円×１／３
燃やせるごみ、燃やせないごみ、資源ごみ、大型ごみ等の収集・運搬を行った（離島を除く。）。 【歳入内訳】 ○手数料（塵芥処理手数料）６０，０００千円 ○財産運用収入（行政財産）５３０千円
離島（見島、大島、相島）のごみ収集運搬業務、ごみ焼却場及び不燃物埋立処分場の管理運営を行った。また、見島においては、排出されるごみ量の減少と、ごみ焼却場の設備の老朽化のため、令和４年１１月から燃やせるごみを搬送し、萩・長門清掃工場「はなもゆ」で焼却処理を行った。 【歳入内訳】 ○寄附金（企業版ふるさと寄附推進事業費）１，０００千円
大井不燃物埋立処分場で処理する燃やせないごみのうち、再利用可能な金属類を再選別・売却した。また、陶器ガラス類のコンテナ回収や使用済小型家電製品のリサイクルを進め、埋立地の延命化とリサイクル率の向上を図った。 【歳入内訳】 ○手数料（塵芥処理手数料）４，０００千円 ○雑入（自動販売機電気代負担金）３７千円 ○雑入（資源物売払収入）５８６千円

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
57		し尿処理事業	105,555			1,034	104,521
57・58		減量推進事業	21,276			3,255	18,021
		リサイクルセンター等管理運営事業	49,063			31,312	17,751
		漂流・漂着ごみ一掃事業	16,798	12,299			4,499

事　　業　　内　　容
萩第二浄化センター及び見島し尿処理場の管理運営を行った。また、汚水処理事業を効率的に行うことを目的に、令和３年１０月に開始した、第二浄化センター（し尿処理場）から浄化センター（公共下水道処理施設）への、し尿の投入を引き続き行った。 【歳入内訳】 ○負担金（し尿処理事業負担金）１，０３１千円　※阿武町分 ○財産運用収入（行政財産）３千円
指定ごみ袋・収集券の製作及び無料配布を行った。 資源ごみの分別収集事業 　容器包装リサイクル法に対応した缶、びん、ペットボトル、白色トレイ、プラスチック製容器包装、紙製容器包装、ダンボールの再利用を推進した。 資源ごみ再利用推進事業 　補助対象　町内会・子供会等の登録団体 　奨励金　民間業者への搬入量　２円／ｋｇ 　対象品目　古紙類、古布類、空びん類 ごみ集積所等設置整備事業 　補助対象　町内会等が設置するごみの集積施設及びリサイクル用倉庫 　補助率　１／２（設置費が４００千円以下の場合） 生ごみ自家用処理容器購入費補助事業 　補助対象者　市内に住所を有する者（事業者は除く。） 　補助対象物　屋外用コンポスト、屋内用ＥＭコンポスト、電気式生ごみ処理機 　補助率　１／２（それぞれ限度額あり） 【歳入内訳】 ○雑入（容器包装リサイクル協会拠出金）３，２５５千円
萩リサイクルセンター、萩第二リサイクルセンター及び田万川リサイクルセンターの管理運営を行った。 　休日ごみ集積所の設置　萩第二リサイクルセンター、田万川リサイクルセンター 【歳入内訳】 ○使用料（行政財産目的外使用料）１千円 ○財産運用収入（行政財産）２９千円 ○雑入（自動販売機電気代負担金）２６千円 ○雑入（資源物売払収入）２８，０００千円 ○雑入（容器包装リサイクル協会拠出金）３，２５６千円
萩市の海岸線は約８０ｋｍにも及び、漂着する海岸ごみは広範囲にわたるとともに膨大な量であり、ボランティアだけでは全てを回収できない状況であることから、海岸の環境保全と景観美化を図るため、海岸漂着ごみを回収し処理を行った。 　事業内容　海岸漂着ごみの回収・運搬及び処理（萩地域／週５回程度、須佐・田万川地域／月１回程度） 　実施場所　萩地域（三見飯井海岸～大井佐々古浜海岸、見島海岸） 　　須佐・田万川地域（まてかた海岸～湊海岸） 　処理量　８７．９ｔ 【歳入内訳】 ○県補助金（漂流・漂着ごみ一掃事業費）１２，２９９千円 　１５，３７４千円×８／１０

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
58	（労働費） 労働諸費	勤労者福祉対策事業	20,153			1,278	18,875
			10			10	
			726	326			400
		産業人材育成塾開催事業	2,672	1,336			1,336
59・60	（農林水産業費） 農業費	農業振興対策事業	16,546	15,516			1,030

事　　業　　内　　容
シルバー人材センター関連事業 萩広域シルバー人材センターが行う高年齢者就業機会確保事業に対して補助を行った。 シルバー人材センター事務所移転事業 萩広域シルバー人材センター事務所の移転に伴い、旧椿東保育園跡地を活用するため、施設の解体等を行った。なお、事業費の一部については、令和５年度に繰り越した。 総事業費　４１，５５８千円 アスベスト含有分析調査業務　３４１千円（令和４年度） 旧椿東保育園解体工事　４１，２１７千円（令和４～５年度） 敷地面積　３，１３７．４８㎡　　延床面積　７１０．１１㎡ 【歳入内訳】 ○負担金（広域シルバー人材センター運営費負担金）１，２７８千円　※阿武町分
中小企業勤労者融資事業 中小企業に勤務する勤労者の生活の安定を図り、福祉を増進するための支援を行った。 【歳入内訳】 ○貸付金元利収入（市内金融機関）１０千円　※元金分
就業促進支援事業 市内の高等学校卒業予定者等を対象とした合同企業説明会を開催し、地元就業の機運向上及び卒業者の市内定住を図った。また、市内企業等へ就職した社会人を対象に、研修会を開催した。 【歳入内訳】 ○国庫補助金（就業促進支援事業費）３２６千円 ６５２千円×１／２
地域や産業に貢献する人材力を強化する観点から、市内外の学生や社会人などを対象に、産業人材育成塾を開講した。 事業期間　令和元～５年度 総事業費　１１，３２７千円 事業内容　年間を２期に分け、１期５回程度のカリキュラムで構成 【歳入内訳】 ○国庫補助金（産業人材育成事業費）１，３３６千円 ２，６７２千円×１／２
新規就農総合支援事業 持続可能な力強い農業を実現するためには、次世代を担う新規就農者を大幅に増加させる必要がある。そこで、若者の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、就農前の研修期間（２年間）と経営が不安定な就農初期段階（５年以内）の所得を確保するための支援を行った。また、新規就農者の就農後の経営発展のために必要な機械・施設の導入を支援するとともに、法人就業者の定着率を高めるため、新規就業者を雇用した農業法人への支援を行った。 ＜就農前＞ 就農前準備研修事業（指導農家支援）　最長２年間 研修生を受け入れた農家、法人等に対する支援 補助額　６０千円／月（萩市１／２　県１／２） 対象者　１人（指導農家） 実績　３６０千円

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
59・60							
			4,360				4,360

事　　業　　内　　容
＜就農後＞ 農業次世代人材投資事業（経営開始型）　最長５年間 補助額　個人　１２５千円／月（国１０／１０） 夫婦型　１８７．５千円／月（国１０／１０） 対象者　１０人（うち夫婦型２組） 実績　１２，１８８千円 新規就農者育成総合対策事業（経営開始資金）　最長３年間 補助額　個人　１２５千円／月（国１０／１０） 夫婦型　１８７．５千円／月（国１０／１０） 対象者　１人 実績　１，５００千円 新規就農者育成総合対策事業（経営発展支援事業） 就農後の経営発展に必要な機械・施設の導入経費の一部を支援 事業内容　トマト養液土耕システム 補助額　事業費の３／４以内 対象者　認定新規就農者　１人 実績　７９８千円 新規就農・就業者フォローアップ事業（定着支援給付金）　最長５年間 新規就業者を雇用又は構成員として受け入れた法人への支援 交付単価　２５千円～７５千円／月（萩市１／２　県１／２） 対象者　２法人、新規就業者４人 実績　１，７００千円 【歳入内訳】 ○県補助金（新規就農総合支援事業費）１５，５１６千円 １６，５４６千円×１／２～１０／１０
農業スタートアップ応援事業 新規就農者の農業経営初期における経済的な負担の軽減及び安定した農業経営と生活基盤の確立を支援するため、就農準備金の交付や家賃の一部を補助するとともに、１８歳以下の子ども（扶養者）を有するＵＪＩターン就農者への支援を行った。また、研修期間及び経営の不安定な就農初期の段階において、国や県の支援制度の対象とならない新規就農者（親元就農研修生や就農時５０歳以上の独立・自営就農者等）への支援を行った。 就業準備支援 対象者　新規就業者 補助額　５０千円 実績　１５０千円（農業研修生３人） 賃貸住宅家賃支援　最長３年間 対象者　新規就業者で新たに賃貸住宅を借りた者（研修生を含む。） 補助額　家賃の１／２以内（上限２０千円） 実績　２８０千円（法人就業者１人、認定新規就農者１人） ＵＪＩターン家族就業支援　最長３年間 対象者　１８歳以下の子ども（扶養者）を有する市外からの移住就農者（研修生を含む。） 補助額　扶養者１人　　５千円／月　　１人

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
59・60							
			300				300
			241,612	181,293			60,319
			2,518	2,518			
			7,528				7,528

事　　業　　内　　容
扶養者２人　　１０千円／月 扶養者３人以上　１５千円／月 実績　３０千円（農業研修生１人） ふるさと再生萩回帰応援　最長３年間 対象者　国や県の支援制度の対象とならない新規就農者（研修生を含む。） 補助額　申請時　３９歳以下の者　　１００千円／月　３人 ４０歳以上５５歳以下の者　５０千円／月　３人 研修指導農家　　１０千円／月 実績　３，９００千円（農業研修生５人、新規就農者１人）
農山漁村交流プロジェクト推進事業 観光事業と連携し、市内の第一次産業の資源を活用した都市と農山漁村の交流を図る「萩市ふるさとツーリズム」を推進し、民家での宿泊体験学習や修学旅行、インバウンドの受入、体験プログラムの実施に伴い、受入に必要となる整備に対する支援を行った。 事業主体　萩市ふるさとツーリズム推進協議会 補助額　３００千円 実績　受入件数１６件（５１１人）
中山間地域等直接支払事業 中山間地域や離島では高齢化の進行や生産条件が不利なことから、耕作放棄地の増加や農村機能の低下が懸念されている。このため、耕作放棄を防止し、農地機能を維持するため、農地を守り農業生産活動を行う集落等の面積規模に応じて交付金を交付した。 協定取組数　１１２協定 協定面積　１，８２０ｈａ 【歳入内訳】 ○県補助金（中山間地域等直接支払事業費）１８１，２９３千円 ２４１，６１２千円×１／４～１０／１０
機構集積協力金交付事業 人・農地プランを作成した地域において、担い手への農地集積・集約化を加速させるため、制度を活用して、農地中間管理機構へ農地を貸し付けた地域及び個人に対して、協力金を交付した。 地域集積協力金　１千円～３４千円／１０ａ 地域（集落等）内の農地を機構へ貸し付けた場合に、その貸付割合に応じた単価で地域に協力金を交付 対象者　１名（貸付面積１１．４６ｈａ） 経営転換協力金　１０千円／１０ａ 機構へ農地を貸し付けることにより、経営転換又は離農する個々の出し手農家に対して、協力金を交付 対象者　６名（貸付面積０．４７ｈａ） 【歳入内訳】 ○県補助金（機構集積協力金交付事業費）２，５１８千円 ２，５１８千円×１０／１０
儲かる農業経営体モデル確立支援事業 生産性や付加価値の向上など、意欲ある経営体の新たな取組を支援することにより、収益性の高い経営モデルの確立を支援した。また、取組成果を他の経営体に波及させることにより「儲かる農業」の実現を支援した。 農業用機械・施設等整備支援（ハード整備支援）

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
59・60							
			2,000				2,000
			800				800
			300	100		33	167

事　　業　　内　　容
対象者　認定農業者１０人、認定新規就農者１人、人・農地プラン中心経営体１人 事業内容　農業用機械・施設、農産物の加工機械・施設等の導入経費の一部を助成 補助額　認定農業者等　　事業費の１／３以内（上限１，０００千円） 認定新規就農者　事業費の１／２以内（上限１，５００千円） 実績　６，４１８千円 販売促進等チャレンジ支援（ソフト事業支援） 対象者　認定農業者５人 事業内容　商品開発経費、販路拡大経費、新品種・栽培技術導入経費等の一部を助成 補助額　事業費の１／２以内（上限５００千円） 実績　１，１１０千円
空きハウス等農業資源フル活用事業 担い手を確保するため、離農希望者等が所有する空きハウス等の経営資源を就農希望者に円滑に継承できるよう支援を行った。また、新規就農者の初期投資の軽減を図ることにより、経営の早期安定と就農者の定着化を図った。 対象者　新規就農者１名 事業内容　空き樹園地及び付帯施設整備に係る経費の一部を助成 補助額　事業費の１／２以内（上限２，０００千円） 実績　２，０００千円
セカンドキャリア就農支援事業 定年等を機に新たに農業経営を始めようとする「セカンドキャリア就農者」等を地域農業の新たな担い手へと誘導するため、就農に必要な経費等の支援を行った。 セカンドキャリア就農準備事業 対象者　市内に居住し、市内で農業経営を開始、または市内の農業法人に就業する農業従事者（５６歳以上６４歳以下） 事業内容　就農・就業に必要な経費（研修費、農機具費、資材費、機械等修繕料等）の一部を助成 補助額　事業費の１／２以内（上限１５０千円） 実績　１５０千円（独立・自営就農者１名） セカンドキャリア就農人材育成事業 対象者　市内に居住し、市内で農業経営を開始する農業従事者（５６歳以上６４歳以下） 補助額　就農研修生　　５０千円／月（最長２年間）　１人 独立・自営就農者　５０千円／月（最長３年間）　１人 半農半Ｘ等準主業農家（新たに市外から転入した独立・自営就農者に限る。） ２５千円／月（最長３年間） 研修指導者　　１０千円／月（最長２年間） 実績　６５０千円（独立・自営就農者２名）
はぎマルシェ支援事業 農産物等の販売イベント「はぎマルシェ」の開催を支援し、生産者と消費者の交流の場を作ることで、生産者の販路拡大・所得向上を図った。また、はぎマルシェでの販売をきっかけに生産者の応援者を作り、道の駅や直売所での購入につなげ、地域農業の活性化と地産地消の促進を図った。 実績　開催回数１３回 【歳入内訳】

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
59・60							
			8,923	3,111			5,812
			4,579				4,579
			4,557				4,557
			552	552			
		地域経済活性化支援対策事業	4,062				4,062

事　　業　　内　　容
○県補助金（はぎマルシェ推進事業費）１００千円 ３００千円×１／３ ○雑入（はぎマルシェ推進事業助成金）３３千円
特定地域づくり事業協同組合支援事業 担い手や後継者不足により、繁忙期の労働力を確保したい農林水産業や製造業等の事業者に対して、労働者を派遣することを目的とした、「はぎ地域づくり協同組合」の設立及び運営に必要な経費を支援した。 【歳入内訳】 ○国庫補助金（特定地域づくり事業協同組合支援事業費）３，１１１千円 ６，２２３千円×１／２
農業経営を支える収入保険加入支援事業 災害や異常気象、病害虫等による農業経営のリスクに対応する収入保険への加入を促進し、農業経営の安定を図るため、保険加入者に対して支援を行った。 対象者　保険加入者（新規加入、継続加入のどちらも対象。１回限り。） 補助額　掛け捨て部分の保険料の１／２ 実績　１２４件
次世代農業経営拡大支援事業 地域の担い手となる個人経営体等が離農農家等の受け皿となり、農地を集積しながら面積規模の拡大及び経営発展を目指す取組に利用する、農産物の栽培工程に必要となる農業機械・施設の整備費用の一部を補助した。 事業内容　３，０００千円以上の農業機械・施設に係る経費 補助額　事業費の１／３以内（補助限度額３，３３３千円） 実績　４，５５７千円（２件）
葉たばこ作付転換円滑化緊急対策事業 葉たばこ廃作農地の園芸作物転換に係る検討会の開催及び土づくりの実施、作付け転換による野菜栽培に必要な野菜移植機のリース費用の一部を補助した。 補助額　地区推進費　定額補助（１０／１０） 農業用機械等リース支援事業　対象経費の１／２以内 実績　５５２千円（１件） 【歳入内訳】 ○県補助金（葉たばこ作付転換円滑化緊急対策事業費）５５２千円 ５５２千円×１０／１０
コロナ禍における原油価格・物価高騰や、電力・ガス等のエネルギー価格の高騰等の影響により、厳しい経営環境にある農業者の負担軽減を図るため支援を行った。 がんばろう萩！農業用肥料価格高騰対策事業 営農を目的として購入し、支払を完了した化学肥料の価格高騰相当分を補助した。 補助額　補助対象経費の１０／１１０の１／２ 実績　２，８３３千円（８１件） がんばろう萩！農業省エネ対策事業 省エネ目的で実施する、農業用機械に係る点検・修理等に要する経費の一部を補助した。なお、事業費の一部については、令和５年度に繰り越した。 補助額　補助対象経費の１／２（補助限度額１５０千円） 実績　１，２２９千円（１３件）

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
59・60		有害鳥獣被害対策事業	1,356				1,356
			23,846			3	23,843
60・61		地域経済活性化支援対策事業	33,108	22,400			10,708

事　　業　　内　　容
鳥獣被害防止総合対策事業 萩阿武地域鳥獣被害防止対策協議会が実施する鳥獣被害防止対策に係る費用の一部を補助することにより、鳥獣による農業被害の軽減と所得の安定及び生産意欲の向上を図った。 有害鳥獣侵入防止柵設置事業 事業内容　イノシシ用ワイヤーメッシュ柵 負担割合　萩市１／１０以内　国　定額　受益者０．５／１０ 実績　２２，３３５千円（うち萩市補助金１５４千円）　２４，４２８ｍ サル用大型囲いわな設置事業 事業内容　サル用大型囲いわな 負担割合　萩市１／２　国１／３　受益者１／６ 実績　１，５６２千円（うち萩市補助金７６３千円）　１基 アユ被害防止対策事業 事業内容　阿武川等で放流したアユの食害を防止するため、カワウ・サギの追払いを実施した。 負担割合　萩市１／２　国１／２ 実績　５９９千円（うち萩市補助金３００千円）
有害鳥獣捕獲・野生鳥獣保護事業 野生鳥獣から農作物等を守るため、有害鳥獣の捕獲や、生態系に悪影響を及ぼす特定外来生物の対策を実施した。 有害鳥獣対策総合サポート事業 有害鳥獣侵入防止柵設置事業　３１５千円 国庫補助に該当しないイノシシ・サル用フェンス等の設置に対して、その費用の一部を補助した。 狩猟免許取得奨励事業　３５千円 捕獲従事者の担い手を確保するため、新規の狩猟免許取得者及び狩猟免許更新者に対して、手数料相当額を補助した。 対象者　４人 猟友会による有害鳥獣捕獲事業　２３，３１９千円 捕獲実績（個体数）に応じて補助を行った。 補助単価　イノシシ（４，５００円／頭）、シカ（９，０００円／頭）、サル（２６，０００円／頭） タヌキ（１，５００円／頭）、アライグマ他外来種（２，０００円／頭） ウサギ（１，５００円／羽）、キツネ（１，５００円／頭）、アナグマ（１，５００円／頭） カラス（１，０００円／羽）、トビ・ハト・サギ類（８００円／羽） その他鳥類（４００円／羽） 【歳入内訳】 ○手数料（飼養登録手数料）３千円
コロナ禍における原油価格・物価高騰や、電力・ガス・食料品等の価格高騰等の影響により、厳しい経営環境にある畜産農家の負担軽減を図るため、粗飼料等の価格高騰相当分に対して支援を行った。なお、事業費の一部については、令和５年度に繰り越した。 がんばろう萩！畜産用粗飼料等価格高騰対策事業 補助額　令和４年４月～８月末までの購入分　対象経費（税抜）に２０/１２０を乗じた額 令和４年９月～１２月末までの購入分　対象経費（税抜）に３２/１３２を乗じた額 実績　５２件 【歳入内訳】

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
60・61							
61		土地改良事業	68,185		55,200	7,607	5,378

事　　業　　内　　容
○国庫補助金（畜産用粗飼料等価格高騰対策事業費）２２，４００千円　※コロナ臨時交付金
農業振興県工事負担金事業 広域営農団地農道整備事業 農業活動の基盤となる農道を整備することにより、農業生産活動の活性化及び農産物の安定輸送を支援した。 須佐地域（阿武北２期地区） 事業期間　平成１５～令和７年度 総事業費　７，９５４，６４８千円 令和４年度事業費　３５０，０００千円（うち萩市負担額　１７，５００千円） ふるさと農道緊急整備事業 広域を繋ぐ農道を整備することにより、県内最大規模の畜産団地へのルート確保、農畜産物の安定輸送及び地域住民の利便性を確保した。 須佐・田万川地域（山口北部地区） 事業期間　平成２５～令和９年度 総事業費　１，０３３，２６７千円 令和４年度事業費　１００，０００千円（うち萩市負担額　１５，０００千円） 農村地域防災減災事業 老朽ため池を改修することにより、農業用水の確保及び下流域住民の安全を確保した。 田床第１ため池 事業期間　令和２～６年度 総事業費　１７０，０００千円 令和４年度事業費　４０，０００千円（うち萩市負担額　４，０００千円、地元分担金　４００千円） 千人塚２号ため池 事業期間　令和４～６年度 総事業費　１１３，９００千円 令和４年度事業費　２０，０００千円（うち萩市負担額　２，０００千円、地元分担金　４００千円） 農業競争力強化基盤整備事業 区画整理、暗渠排水等の整備により、営農の効率化と安定化及び担い手への農地集積の促進を図った。 田万川地区 事業期間　平成２８～令和７年度 総事業費　９５２，６００千円 令和４年度事業費　６２，０００千円（うち萩市負担額　４，６５０千円） 堀越地区 事業期間　平成２８～令和６年度 総事業費　２４０，４９２千円 令和４年度事業費　６４，０００千円（うち萩市負担額　４，８００千円） 上小川地区 事業期間　令和４～１２年度 総事業費　９２０，０００千円 令和４年度事業費　１１，９９２千円（うち萩市負担額　４，３６０千円） 農地耕作条件改善事業 区画整理、暗渠排水等の整備により、営農の効率化と安定化及び担い手への農地集積の促進を図った。

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
61							
			17,860	17,860			
			151,295	113,721			37,574

事　　業　　内　　容
田万川湊地区 事業期間　令和元～６年度 総事業費　２６１，０００千円 令和４年度事業費　１４，０００千円（うち萩市負担額　１，０５０千円） 上ノ原地区 事業計画　令和２～５年度 総事業費　４６，０００千円 令和４年度事業費　１８，０００千円（うち萩市負担額　１，３５０千円） 農業水路等長寿命化・防災減災事業 パイプライン施設を更新することにより、安定的なかんがい用水の確保を図った。 山のロダム地区 事業期間　令和２～４年度 総事業費　１７１，０００千円 令和４年度事業費　７７，０００千円（うち萩市負担額　６，７３８千円、地元分担金　６，７３７千円） 【歳入内訳】 ○市債（農業事業県工事負担金事業債）５５，２００千円　※過疎債・合併特例債 ○分担金（農村地域防災減災事業分担金）８００千円 ○分担金（農業水路等長寿命化・防災減災事業分担金）６，８０７千円
ため池防災減災対策事業 農業用ため池として使われなくなった、ため池の堤体決壊による被害を未然に防ぐため、機能廃止するための実施設計及び切開工事を行った。 令和３年度繰越事業 実施設計業務委託　須佐地域　１箇所 ため池切開工事　萩地域　１箇所 令和４年度事業 実施設計業務委託　萩地域　１箇所 【歳入内訳】 ○県補助金（ため池防災減災対策事業費）１７，８６０千円 １７，８６０千円×１０／１０
多面的機能支払事業 農業・農村が担ってきた地域に対する多面的機能（土地や水等の保全と農村環境の形成）の維持・発揮のため、農業者と地域住民が一体となって行う共同活動を支援した。 農地維持支払　農地・農業用施設の維持・清掃や活動体制づくりに対する活動への支援 資源向上支払　共同活動　農業用施設の軽微な補修、農村環境保全に対する活動への支援 長寿命化　農業用施設の長寿命化に対する活動への支援 交付単価　田　３，０００円～９，２００円／１０ａ 畑　２，０００円～５，０８０円／１０ａ 交付対象　市が認定した活動組織 取組数　４９組織　１５０，２９５千円 【歳入内訳】 ○県補助金（多面的機能支払事業費）１１３，７２１千円

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
61							
62	（農林水産業費）林業費	間伐促進対策事業	4,884	2,442			2,442
		森林育成支援事業	371				371
		萩市産木材需用拡大支援事業	20,000			20,000	
		森・職・人づくり事業	19,957				19,957
		地域が育む豊かな森林づくり推進事業	423	423			

事　　業　　内　　容
１５１，２９５千円×３／４～１０／１０
間伐材の有効利用による林業所得向上と森林整備の促進、加えて沿岸漁業の所得向上を目指すため、間伐材魚礁の作製・沈設を行った。 魚礁作製　２５基　　沈設箇所　須佐地域 【歳入内訳】 ○県補助金（環境にやさしい魚のログハウスづくり事業費）２，４４２千円 ４，８８４千円×１／２
利用期を迎えた人工林の増加を背景に、間伐等の着実な実施や、効率的・効果的な施業が期待できるコンテナ苗の活用を支援することにより、適正な森林経営管理の推進を図った。 民有林造林事業 間伐経費の補助　補助率　１．２～５．４／１０（上限　国県補助金との合計９／１０） 作業路開設経費の補助　３００円／ｍ又は１，０００円／ｍ 実績　２件 地域産苗木生産促進事業 コンテナ苗の生産に係る資材費の補助　補助率１／２ 実績　１件 【歳入内訳】 ○一般財源（森林環境譲与税）１３４千円
市内の伐期を迎えた豊富な森林資源を有効に活用するため、地域産木材の流通を担う事業者に対して資金の無利子貸付を行い、木材供給の安定化・円滑化を図った。 貸付対象　合同会社阿武萩ウッドクルー 【歳入内訳】 ○貸付金元利収入（地元産木材流通円滑化資金）２０，０００千円　※元金分
適切な森林経営管理を進めるため、森林の団地化と森林整備の推進（森づくり）、林業の労働環境の改善（職づくり）、林業従事者の雇用促進や育成（人づくり）を総合的に支援した。 森林所有者意向調査業務 森林団地形成に向けた森林所有者への意向調査 対象地域　田万川、須佐　９５５筆 森・職・人づくり支援事業 森林団地内の森林整備、作業道設置費の補助 再造林４．２０ｈａ、下刈９．０６ｈａ、保育間伐３．６８ｈａ、基幹作業道整備２３０ｍ 林業用機械等の導入費の補助　ＧＮＳＳ測量機器 経営改善経費の補助　経営改善委託業務費 雇用促進費の補助　林業技術研修 【歳入内訳】 ○一般財源（森林環境譲与税）１９，９５７千円
やまぐち森林づくり県民税を活用し、地域課題を解決するための森林整備を行った。 地域が抱える森林整備等の課題解決（植栽、保育、修景伐採、枝払い、竹林伐採等）に係る経費の補助 （補助率１０／１０） 対象地域　萩地域　１団体　松くい虫被害木の伐倒駆除２８．４㎥ 【歳入内訳】

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
62							
		樹木維持管理業務事業	9,758				9,758
		林業スタートアップ応援事業	3,918				3,918
		森と暮らしのつながり創造事業	4,644				4,644

事　　業　　内　　容
○県補助金（豊かな森林づくり推進事業費）４２３千円 ４２３千円×１０／１０
市有林の適切な維持管理に必要な病害虫対策等を行った。 松くい虫予防業務（地上散布）　松くい虫防除のための動力噴霧器やスプリンクラーを用いた地上散布 対象　松陰神社前広場、萩・明倫学舎、市役所前庭、指月公園、指月小浜等 松林保全対策業務（樹幹注入）　松くい虫防除のための樹幹注入 対象　指月公園、晋作広場　１１６本 松くい虫駆除業務（伐倒駆除）　松くい虫被害を受けた枯松等の伐採・処分 対象　西の浜他　１４箇所 経営計画策定業務　市有林の経営計画の策定・変更
適切な森林経営管理に必要な林業の担い手の確保・育成・定着を図るため、新規就業者の支援を行った。 就業準備支援 対象者　林業への新規就業者　２人 補助額　５０千円 実績　１００千円 賃貸住宅家賃支援　最長３年間 対象者　林業への新規就業者で住宅を借りている者　５人 補助額　家賃の１／２以内（上限２０千円） 実績　６１３千円 ふるさと再生萩回帰応援　最長３年間 対象者　市内で新たに林業を行う者（自営型・雇用型）　８人 補助額　自営型　３９歳以下　１００千円以内／月　　４０歳以上　５０千円以内／月 研修指導者　１０千円以内／月 雇用型　作業員　３０千円以内／月　　事務員　１５千円以内／月 実績　２，９２５千円 家族就業支援　最長３年間 対象者　林業への新規就業者で、扶養者（１８歳以下の子ども）がいる者　４人 補助額　５千円／月・扶養１人（上限１５千円／月） 実績　２８０千円 【歳入内訳】 ○一般財源（森林環境譲与税）３，９１８千円
森林や木材と暮らしの関わり、またそのあり方に関する普及啓発等を行い、地域の森林・林業の現状を踏まえ地域産木材の利用促進を図った。 森と暮らしのつながり創造業務 森林を起点とした地域の成り立ちについて学ぶ体験プログラムの企画・運営　１２回 福栄小中学校中学部　２５時間 市内の林業６次産業化を推進するための講座・意見交換会の企画・運営　５回 延べ参加者数　現地　７７人、オンライン　１３０人 地域産木材活用促進事業補助金 住宅等の建築における地域産木材の使用量等に応じた補助 施主　３５千円／㎥（上限７００千円／棟）　６件

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
62							
		木育支援事業	2,841				2,841
62		森林公園等維持管理事業	9,200			15	9,185
62		市有林野管理事業	61,851	30,165		25,305	6,381
62・63		林道維持管理事業	33,487			217	33,270

事　　業　　内　　容
【歳入内訳】 ○一般財源（森林環境譲与税）４，６４４千円
園児や小学生が、木を使うことの意義や楽しさを体感し、身近な森林・林業・木材への興味関心を育むため、木育体験を行った。 保育園、幼稚園児等を対象とした木育体験の実施 延べ実施回数　３０回 小学生を対象とした木育体験イベントをモデル的に開催 実施日　令和４年８月１１日（木・祝） 【歳入内訳】 ○一般財源（森林環境譲与税）２，８４１千円
森林公園等を快適に利用できるよう、必要な維持管理を行った。 萩地域 田床山市民の森の草刈業務 植栽地下刈　６．４２ha、管理道草刈　１，４６０ｍ、遊歩道草刈・側溝掘上　４，７８０ｍ 田床山いこいの広場（センターハウス、ローラースケート場、スーパースライダー）の管理業務委託 田万川地域 生活環境保全林（宇生の森）　草刈　７，１００㎡ 桜植栽地周辺　草刈（年３回）、毛虫防除（年１回） 旭地域 旭水の森公園　草刈　６，５５０㎡ 【歳入内訳】 ○使用料（行政財産目的外使用料）１３千円 ○財産運用収入（行政財産）２千円
市有林において適正な経営管理と公益的機能の高度発揮を図るため、森林経営計画に基づく森林整備や主伐・再造林等の森林施業を行った。 再造林　６．６０ｈａ、下刈　２８．２２ｈａ、保育間伐　６６．５１ｈａ、搬出間伐　７．００ｈａ 作業道開設　１，８５９ｍ、主伐・再造林一貫作業　４．５０ｈａ 【歳入内訳】 ○県補助金（市有林整備事業費）３０，１６５千円 ４４，０９０千円×６．８／１０～１０／１０ ○財産運用収入（普通財産）５７７千円 ○財産売払収入（立木売払収入）２４，４９５千円 ○雑入（立木伐採補償料）２３３千円
森林施業や林業振興に不可欠な林道の開設・改良・維持管理を行った。 令和３年度繰越事業 林道維持補修工事　福栄地域（１路線） 令和４年度事業 林道草刈業務委託　６７路線 林道維持補修工事　　４路線 【歳入内訳】 ○使用料（林道使用料）２１７千円

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
62・63		作業道開設・改良・維持管理事業	2,402				2,402
		林道鹿野・豊田線開設事業	6,895		6,600		295
		林道橋長寿命化対策事業	7,558	4,534	3,000		24
63		小規模治山事業	15,091	6,769	5,000	3,218	104
63・64	（農林水産業費）水産業費	水産業振興事業	579				579

事　　業　　内　　容
森林施業や林業振興に不可欠な作業道の開設・改良・維持管理を行った。 作業道草刈業務委託　１３路線
森林施業や林業振興に不可欠な路網の整備を図るため、林道鹿野・豊田線の開設を行った。 川上・旭地域　鹿野・豊田線（Ｌ＝５，９３１ｍ、Ｗ＝４．０ｍ） 事業期間　平成２１～令和９年度 令和４年度事業内容　県工事負担金 事業主体　山口県 事業費　１３３，６００千円（うち萩市負担額６，６８０千円） 立木伐採業務委託 【歳入内訳】 ○市債（林道鹿野・豊田線開設事業債）６，６００千円　※過疎債
林道橋の長寿命化を図るため、予防保全に向けた補修のための実施設計を行った。 林道福萩線　小鶴橋 事業期間　令和４～６年度 総事業費　３７，３３４千円 令和４年度事業内容　実施設計業務委託 【歳入内訳】 ○県補助金（林道橋長寿命化対策事業費）４，５３４千円 ７，５５８千円×６／１０ ○市債（林道橋長寿命化対策事業債）３，０００千円　※過疎債
大雨等により被災した、または被災のおそれがある山林で、人家等への被害の防止・軽減・復旧を図るための事業を実施した。 令和３年度繰越事業 事業箇所　萩地域（１箇所）、田万川地域（１箇所） 令和４年度事業 事業箇所　田万川地域（１箇所） 負担割合　萩市３／１０　県５／１０　地元２／１０ 【歳入内訳】 ○県補助金（小規模治山事業費）６，７６９千円 １３，５３９千円×１／２ ○市債（小規模治山事業債）５，０００千円　※緊急自然災害防止対策債 ○分担金（小規模治山事業分担金）３，２１８千円
水産振興県工事負担金事業 近年、漁業者の高齢化や担い手不足等の理由により生産量が減少傾向にある。この対策として整備した藻場造成域（大型魚礁やキジハタ保護育成礁）におけるモニタリングを実施し、その結果をふまえて実効性のある藻場の保全・創造対策を進めた。 事業主体　山口県 事業期間　平成３０～令和７年度 総事業費　２１１，０００千円（うち萩市負担額　１２，８５６千円） 令和４年度事業費　１０，０００千円（うち萩市負担額　５７９千円） 令和４年度実施内容　生物調査モニタリング

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
63・64			2,040				2,040
			5,381				5,381
			111				111
			1,800			1,199	601
			2,839				2,839

事　　業　　内　　容
阿武・萩地域栽培漁業推進協議会負担金事業 山口県日本海側（阿武・萩海域）での栽培・放流を行った。 萩市・阿武町・山口県漁業協同組合で負担
単独漁場改良造成等事業 白魚産卵漁場改良造成事業費補助金 事業主体　萩白魚組合 補助率　１／２以内（上限１，０００千円） 実績　８７６千円 稚あゆ等放流事業費補助金 事業主体　阿武川漁業協同組合、大井川漁業協同組合、田万川漁業協同組合 補助率　１／２以内（上限　阿武川　６７０千円、大井川　４００千円、田万川　５００千円） 実績　１，５７０千円 アワビ等種苗購入事業費補助金 事業主体　山口県漁業協同組合 補助率　購入費の１／２以内 実績　２，９３５千円
萩の魚販売促進等支援事業 萩産の水産物を活用した魅力ある商品開発や販路拡大等に意欲的に取り組む漁業者等に対して支援を行った。 補助率　補助対象経費×１／２以内（上限１５０千円） 実績　１件　１１１千円
水産物魚価向上対策支援事業 モデル地区の漁業者に対して外部専門家を派遣し、活魚の取り扱い方法の確立や販売戦略の策定などの取組に対する支援を行い、魚価の向上・高値安定及び販路拡大に取り組んだ。 実施内容　外部専門家による活魚出荷技術の指導、活魚出荷の取組支援 外部専門家によるブランディング・マーケティング戦略の指導・助言 【歳入内訳】 ○雑入（地域再生マネージャー事業助成金）１，１９９千円
新規漁業就業者定着促進事業 担い手不足や高齢化が進むなか、漁業の存続、漁村の維持・発展には担い手の確保が急務であるため、県や山口県漁業協同組合等の関係機関と連携し、新規漁業就業者の確保・育成に取り組んだ。 新規漁業就業者生活・生産基盤整備事業 漁船等リース事業 山口県漁業協同組合が実施する漁船等のリース事業の費用を支援した。 事業費　４，０００千円（上限額）（萩市１／４　漁業協同組合３／４） 実績　５６４千円（１人） 漁船乗組員定着促進事業 新規漁船乗組員を雇用した漁業会社等に対して、研修費用を支援した。 支給額　１００千円／月（１年）（萩市１／４　県１／２　雇用した漁業会社等１／４） 実績　６２５千円（３人） 経営自立化支援事業 ２年以上の研修を終了した新規就業者の独立後の経営安定・地域定着に向け、３年間支援金を支給した。

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
63・64							
			350				350
			3,353	1,766			1,587
			500				500
			150				150
			1,000				1,000
			790				790

事　　業　　内　　容
支給額　１年目　１２５千円／月（萩市１／２　県１／２） ２年目　１００千円／月（萩市１／２　県１／２） ３年目　　７５千円／月（萩市１／２　県１／２） 実績　１，６５０千円（４人）
漁業スタートアップ応援事業 漁業就業希望者の経済的な負担の軽減及び安定した生活基盤の確立を支援するため、就業準備金の交付や家賃の一部を補助した。 就業準備支援 新たに漁業に就業するとき（研修開始を含む。）、準備金として山口県漁業協同組合を通じて支援した。 補助額　５０千円 実績　３００千円（６人） 賃貸住宅家賃支援　最長３年間 新たに漁業に就業するとき（研修開始を含む。）、民間賃貸住宅の家賃の一部を補助した。 補助額　家賃の１／２（上限２０千円） 実績　５０千円（１人）
水産多面的機能発揮対策事業 水産業及び漁村の有する多面的機能が、将来にわたって十分に発揮されるために漁業者等が行う藻場の保全等の地域活動を支援し、水産業の再生・漁村の活性化を図った。 事業主体　市内５活動組織 事業期間　令和３～７年度（第３期） 【歳入内訳】 ○県補助金（水産多面的機能発揮対策事業費）１，７６６千円 ３，３５３千円×１／２～１０／１０
萩の魚ブランド化推進協議会補助金 萩の魚のＰＲ活動等を実施し、魚のブランド化を推進することにより付加価値を高め、魚価の安定と消費の拡大を図るとともに、観光振興に寄与した。 事業主体　萩の魚ブランド化推進協議会 事業費　２，０６０千円（うち萩市補助金　５００千円）
須佐男命いかブランド化推進委員会補助金 須佐男命いかのＰＲ活動等を実施し、ブランド化を推進することにより、魚の付加価値を高め、魚価の安定や消費の拡大を図った。 事業主体　須佐男命いかブランド化推進委員会 事業費　４００千円（うち萩市補助金　１５０千円）
萩・魚まつり補助金 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、「萩・魚まつり」は中止したが、萩の地魚を味わっていただくためのキャンペーンや、たまがわ夢まつり会場内での「寄り合い鍋」の振る舞いなどの代替イベントを補助した。 事業主体　萩・魚まつり実行委員会 事業費　２，０００千円（うち萩市補助金　１，０００千円）
萩の和船大競漕補助金 萩地域の伝統的な和船競漕のイベントを通して、漁業集落における伝統文化の継承と観光振興に取り組んだ。 事業主体　萩の和船大競漕実行委員会

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
63・64							
			26,361	18,970			7,391
		地域経済活性化支援対策事業	41,947	40,000			1,947
64		水産業振興施設維持管理事業	1,140				1,140
64		漁港管理事業	18,531			834	17,697
64・65		漁港建設事業	17,000		6,400		10,600
			58,399	29,199	19,200		10,000

事　　業　　内　　容
事業費　１，０４９千円（うち萩市補助金　７９０千円） 実施日　令和４年６月５日（日）
離島漁業再生支援交付金事業 本土に比べ販売面等で不利な条件にある離島漁業の再生を図るため、稚魚の放流や藻場の造成等による漁業の再生に取り組む離島の漁業集落に対して、交付金を交付した。 事業期間　令和２～６年度（第４期） 対象地区　見島（本村）、見島（宇津）、大島、相島 【歳入内訳】 ○県補助金（離島漁業再生支援交付金事業費）１８，９７０千円 ２６，３６１千円×２／３～１０／１０
コロナ禍における原油価格・物価高騰や、電力・ガス・食料品等の価格高騰等の影響により、燃油の価格が高騰していることから、漁業者の負担軽減を図り、出漁を促進するため、燃油価格の高騰相当分を支援した。なお、事業費の一部については、令和５年度に繰り越した。 がんばろう萩！漁船用燃油価格高騰対策事業 申請件数　１回目（４月～８月分）　２６４件　　２回目（９月～１２月分）　２５６件 【歳入内訳】 ○国庫補助金（漁船用燃油価格高騰対策事業費）４０，０００千円　※コロナ臨時交付金
水産業振興施設の維持管理等を行った。 対象施設　萩市須佐郷土文化伝習施設ほか 須佐釣り桟橋管理業務 須佐湾の観光や体験、交流の場として利用促進を図り、交流人口の増加及び漁村地域の活性化に資するため、釣り桟橋及び管理棟の維持管理を行った。
市管理漁港及び県漁港施設の維持管理等を行った。 漁港管理業務委託、管理漁港維持工事等 市管理漁港　三見漁港、玉江漁港、大井漁港、大島漁港、相島漁港、須佐漁港 県漁港施設　萩漁港、見島漁港、江崎漁港 【歳入内訳】 ○使用料（行政財産目的外使用料）７１９千円 ○雑入（自動販売機電気代負担金）５９千円 ○雑入（自動販売機販売手数料）５６千円
相島漁港整備事業 新定期船発着のため、特定目的岸壁を整備した。なお、事業費の一部については、令和５年度に繰り越した。 事業期間　平成３０～令和５年度 総事業費　４１５，４９５千円 令和４年度事業　特定目的岸壁整備 【歳入内訳】 ○市債（相島漁港整備事業債）６，４００千円　※合併特例債
水産基盤ストックマネジメント事業 施設の長寿命化を図るとともに、更新コストを平準化するため、漁港施設の機能保全・対策を行った。なお、事業費の一部については、令和５年度に繰り越した。 対象施設　玉江漁港、大島漁港、三見漁港

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
64・65							
			54,914		54,900		14
			15,000	5,000	7,800		2,200
65・66	（商工費） 商工費	離島航路事業	423,005	297,938		40,092	84,975

事　　業　　内　　容
実施内容　漁港機能保全工事、計画策定 令和３年度繰越事業（玉江漁港、大井漁港） 令和４年度事業（玉江漁港、三見漁港） 【歳入内訳】 ○県補助金（水産基盤ストックマネジメント事業費）２９，１９９千円 ５８，３９９千円×１／２ ○市債（水産基盤ストックマネジメント事業債）１９，２００千円　※過疎債
漁港建設県工事負担金事業 海岸保全施設整備事業（老朽化） 対象漁港　萩漁港（後小畑地区） 事業費　１６，０００千円（うち萩市負担額　１，６００千円） 海岸保全施設整備事業（高潮） 対象漁港　江崎漁港 事業費　８９，３０４千円（うち萩市負担額　８，９３０千円） 水産基盤ストックマネジメント事業 対象漁港　萩漁港、江崎漁港 事業費　２０２，０００千円（うち萩市負担額　４０，４００千円） 単独漁港建設改良事業 対象漁港　萩漁港、見島漁港、江崎漁港 事業費　４，９５９千円（うち萩市負担額　１，９８４千円） 漁港機能増進事業 対象漁港　江崎漁港 事業費　１０，０００千円（うち萩市負担額　２，０００千円） 【歳入内訳】 ○市債（水産業事業県工事負担金事業債）５４，９００千円　※過疎債
漁港機能増進事業 漁港の既存施設を最大限活用するため、施設の安全性を確保することを通じて漁港機能の増進を図った。 令和３年度繰越事業 機能増進工事 対象施設　須佐漁港 実施内容　水路補修、照明施設更新、航路浚渫 漁港改修事業補助　１件 事業主体　山口県漁業協同組合 事業内容　大井漁港船揚場改修事業 事業費　５０，０００千円（うち萩市補助額　５，０００千円） 【歳入内訳】 ○県補助金（漁港機能増進事業費）５，０００千円 １０，０００千円×１／２ ○市債（漁港機能増進事業債）７，８００千円　※過疎債
離島航路補助・貸付事業 萩海運有限会社

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
65・66							
		地場産業振興事業	9,561			160	9,401

事　　業　　内　　容
離島航路補助金　３６５，１５９千円 貸付金　４０，０００千円 萩ー櫃島海上交通組合 萩ー櫃島海上交通組合補助金　１，０００千円 見島航路運賃低廉化事業 見島が特定有人国境離島地域に指定されたことに伴い、見島の住民等について、航路運賃がＪＲ運賃並みとなるよう、運賃に対する補助を行った。 補助基本額　１６，７７６千円 補助率　萩市２．２５／１０　国５．５／１０　県２．２５／１０ 【歳入内訳】 ○国庫補助金（見島航路運賃低廉化事業費）９，２２７千円 １６，７７６千円×５．５／１０ ○県補助金（離島航路事業費）２８４，９６１千円 ○県補助金（見島航路運賃低廉化事業費）３，７５０千円 １６，７７６千円×２．２５／１０ ○貸付金元利収入（萩海運有限会社）４０，０００千円　※元金分 ○貸付金元利収入（萩海運有限会社）９２千円　※利子分
物産展への参加支援 萩焼、地酒、海産物等の地場産業振興に資するため、友好都市世田谷区や姉妹都市鎌倉市等の物産展に参加する関係団体を支援した。 鎌倉姉妹都市物産展 実施主体　鎌倉市 実施日　令和４年１０月７日（金）～８日(土) せたがやふるさと区民まつり 実施主体　せたがやふるさと区民まつり実行委員会 実施日　令和４年８月６日（土）～７日(日) 地場産業振興イベント開催事業 実施主体　萩ふるさとまつり実行委員会 実施日　令和４年１１月１２日（土）～１３日(日) ふるさとまつり開催事業補助金　３，０００千円 伝統的工芸品萩焼産業振興事業 萩焼の振興を担う中心的団体として位置付けられている萩陶芸家協会が実施する事業の運営等に係る経費の一部を補助した。また、陶芸の村公園に設置した登り窯の活用を図り、萩焼の振興に寄与した。 実施主体　萩陶芸家協会 伝統的工芸品萩焼産業振興事業補助金　２３０千円 陶芸の村公園登り窯活用事業委託料　２００千円 首都圏販路拡大プロモーション事業 首都圏において萩市産品を取り扱う情報発信およびプロモーションを行うことにより、イメージアップと新たな販路の開拓による萩市のブランドや産業の活性化を図った。 事業費　５，３９０千円 【歳入内訳】

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
65・66							
		商工業振興事業	301,210			286,025	15,185
		創業・就業・移住チャレンジ支援事業	1,437	830			607
		起業化支援事業	8,091	1,358		136	6,597

事　　業　　内　　容
○雑入（姉妹都市物産展出店者負担金）１３０千円 ○雑入（せたがやふるさと区民まつりプログラム作成出店者負担金）３０千円
中小企業融資事業 地場の産業が収益を上げ、雇用の場が十分確保されるよう、中小企業等への支援を行った。 中小企業長期経営安定資金 中小企業者の長期資金の融資を円滑にし、事業の経営安定を図った。 使途　運転資金、設備資金、運転・設備資金（限度額１０，０００千円） 貸付金利　１．５％ 貸付期間　運転資金　５年 設備資金、運転・設備資金　７年 起業化支援対策資金 新たに事業を開始する中小企業者、事業開始１年未満の中小企業者の事業安定を図った。 使途　運転資金、設備資金、運転・設備資金 貸付金利　１．０％ 貸付期間　運転資金　５年 設備資金、運転・設備資金　１０年 限度額　運転資金　４，０００千円 設備資金、運転・設備資金　１０，０００千円 中小企業融資、起業化支援融資に係る保証料補助 中小企業融資、起業化支援融資、中小企業経営安定資金（新型コロナウイルス感染症対策）に係る預託金 中小企業経営安定資金（新型コロナウイルス感染症対策）に係る利子補給補助 【歳入内訳】 ○貸付金元利収入（市内金融機関）２５９，８９５千円　※元金分 ○貸付金元利収入（商工組合中央金庫）２５，０００千円　※元金分 ○雑入（中小企業等融資保証料返戻金）１，１３０千円
東京圏への人口一極集中を解消するため、地方へ移住・就業する者に対して、移住に要する費用の一部を補助し、経済的な負担の軽減を図った。 移住就業・創業支援事業補助金 国の制度の拡充に併せて、子育て世帯への加算を行うとともに、国の支援の対象外となる東京圏以外から移住就業をする方についても加算を行った。 【歳入内訳】 ○国庫補助金（移住就業・創業支援事業費）３７１千円 ７４２千円×１/２ ○県補助金（移住就業・創業支援事業費）４５９千円 ６００千円×０．１５／１０～３／４
見島起業化支援事業 特定有人国境離島地域に指定されている見島での雇用機会の拡充につながる創業または事業拡大を図る民間事業者を支援した。 事業費　１，４８５千円 実績　継続分　１件、新規分　０件 萩市インキュベーションセンター運営事業

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
65・66							
		バス交通振興事業	30,843		1,600		29,243
			24,403				24,403
			165,373	26,121			139,252

事　　業　　内　　容
地域の活性化と人材育成のために運営し、起業・創業を目指す方のフィールドワークの拠点として活用した。 事業費　４，２８７千円 実績　入居者　２件 萩ビジネスプランコンテスト実施事業 起業や事業拡大による新たなビジネスプランを募集し、産業振興、地域の活性化、移住定住の促進及び雇用の創出を図った。 事業費　１，３７６千円 実績　応募数　９件（一般部門　７件、アイデア部門　２件） 【歳入内訳】 ○国庫補助金（見島起業化支援事業費）９９０千円 １，４８５千円×２/３ ○国庫補助金（起業化支援事業費）３６８千円 ７３６千円×１／２ ○雑入（インキュベーションセンター利用負担金）１３６千円
地域巡回バス運行事業 中山間地域の交通手段のない集落を対象に、各地域の実情に合わせ、総合事務所・支所や診療所等の拠点までの市民の交通手段を確保するため、無料の定時定路線・予約方式の巡回バスを運行した。 川上地域　　定時定路線　週５日運行 田万川地域　予約方式　週５日運行 むつみ地域　予約方式　週５日運行 須佐地域　　予約方式　週５日運行 旭地域　　定時定路線・予約方式　週５日運行 福栄地域　　定時定路線・予約方式　週４日運行 むつみ地域において、デマンド化に伴う狭隘道路へ対応するため、小型車への車両更新を行った。 事業費　１，９５１千円 【歳入内訳】 ○市債（地域巡回バス整備事業債）１，６００千円　※過疎債
まぁーるバス運行事業 市民病院や公共施設等を結ぶ交通手段を確保するとともに、観光施設等の交通アクセスの充実を図るため、萩地域を循環するバスを運行した。 まぁーるバス利用促進キャンペーン事業 令和４年１０月から新たなルートで運行する萩循環まぁーるバスの利用の促進及び定着化を図るために発行したプレミアム付乗車券等の経費の一部を補助した。 実績　１，７９７千円
地方バス路線補助事業 交通弱者（高齢者や子ども等）にとって重要な交通手段である地方バス路線を維持するため、乗客数の減少等に伴う赤字額に応じてバス事業者へ補助を行った。 萩市負担額（一般財源） 令和４年度　１３４，１４３千円 令和３年度　１０２，８２５千円 令和２年度　１５１，０２７千円

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
65・66							
		交通ネットワーク再構築事業	22,617	251			22,366
		まぁーるバス本格運行導入事業	4,555				4,555
		コミュニティ交通モデル形成事業	480				480
		萩・地域ブランド構築事業	4,052				4,052
		地域経済活性化支援対策事業	257,638	206,638			51,000

事　　業　　内　　容
令和元年度　１６６，４８２千円 交通系ＩＣカードシステム導入事業 バス利用者の利便性向上を図るため、キャッシュレス・ワンタッチで乗降が可能となるＩＣカードを導入するバス事業者に対して、導入経費の一部を補助した。 総事業費　７８４，７０２千円（うち萩市補助金　５，１０９千円） 事業主体　防長交通株式会社 石見交通株式会社 【歳入内訳】 ○県補助金（生活バス路線対策事業費）２６，１２１千円
木間地区及び田万川・須佐地域内、むつみ地域内の代替の公共交通手段を確保した。 生活バス運転業務委託、乗合タクシー運行補助 【歳入内訳】 ○県補助金（生活バス路線対策事業費）２５１千円
まぁーるバス運行ルートについては、市民アンケートや地域意見交換会等で様々な要望が出ていることから、令和２年度に運行ルートの見直し案を作成し、令和３年度に実証運行と検証を行った。令和４年度は、新たなルートで運行するため、各バス停留所の時刻表の変更等を行った。 事業内容　時刻表印刷製本 バス停標識時刻表等変更業務委託 車両の音声案内等業務委託
住民主体の公共交通の運行に取り組む意欲のある団体等に対して、試験的な取組を支援するため、地域内の移動ニーズの調査に係る経費等の一部を補助した。 補助額　上限５４千円／月 実績　４８０千円（１団体）
「食」のブランド産品を中心にウェブサイト、紙媒体、フードイベント等による総合的な情報発信を行い観光客をはじめ市内外におけるブランド認知度を高め、販路拡大や事業者の稼ぐ力の向上を支援した。 事業内容　食のポータルサイトの管理、ブランドパンフレットの作成、フードイベント等の開催
コロナ禍における原油価格・物価高騰や、電力・ガス・食料品等の価格高騰等の影響により、売上げが減少している中小企業者等の事業継続を支援した。 がんばろう萩！新卒高校生市内就職促進奨励金 新型コロナウイルス感染症の影響で就職活動に苦慮した、令和３年３月卒業の新卒高校生を雇用した事業者に対して奨励金を支給した。 実績　２５０千円×３件 がんばろう萩！プレミアム付商品券事業 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、市民の消費を喚起し、停滞している経済活動の回復を図るとともに、市民の生活支援にもつながるプレミアム付商品券の発行に係る経費の一部を補助した。 実績　９９，８７９千円 事業主体　萩市共通商品券協同組合 がんばろう萩！原油価格・物価高騰対策事業 コロナ禍における原油価格・物価高騰等の影響により、仕入れ価格や経費が上昇したことにより、利益が減少した市内の中小企業者等の経営支援を図るため、支援金の給付を行った。 実績　１４１，７３４千円（７３２事業者）

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
65・66							
			28,616	11,648			16,968

事　　業　　内　　容
がんばろう萩！中小企業者等省エネ対策事業 電力・ガス等のエネルギー価格の高騰等の影響を受けている中小企業者等の負担軽減及び経営の安定化を図るため、省エネルギー機器への更新又は導入に係る経費の一部を支援した。なお、事業費の一部については、令和５年度に繰り越した。 実績　５，９６４千円（３０事業者） がんばろう萩！中小企業者等事業復活特別支援金事業 新型コロナウイルス感染症により事業活動に影響を受け売上が減少した事業者のうち、国が実施する事業復活支援金の対象とならない市内の中小企業者等に対して支援金を給付した。 実績　８，６２１千円（８８事業者） 【歳入内訳】 ○国庫補助金（プレミアム付商品券事業費）９９，７８８千円　※コロナ臨時交付金 ○国庫補助金（原油価格・物価高騰対策事業費）１０６，８５０千円　※コロナ臨時交付金
中小企業等チャレンジ支援事業 新型コロナウイルス感染症の影響に負けず、がんばる市内事業者等の事業継続や成長促進を図るため、海外販路開拓に向けたマーケティング支援のほか、販路拡大、ＰＲ、デジタル化などに必要となる経費の一部を支援した。また、事業者が抱える諸課題に対する伴走型の事業者支援を行った。 海外販路開拓マーケティング支援事業 越境ＥＣ（国際的な電子商取引）を活用した海外販路開拓による新たな市場開拓と萩市の認知向上を図るためのテストマーケティングを実施した。 実績　３，６４１千円 中小企業等事業拡大支援事業 地元の経済を支える中小企業等の事業拡大等へのチャレンジを支援し、事業の持続化や成長促進を図るとともに、「ウィズコロナ・アフターコロナ」における「デジタル化の促進」に資する取組に対して支援を行った。 販路拡大、広告宣伝・ＰＲ、新商品開発、人材確保、空き店舗等への出店などに必要となる経費 生産性向上のためのＩＴツールの導入やＥＣサイトの構築等、デジタル化の促進に必要となる経費 実績　２，２９４千円（５２件） 事業承継・事業引継ぎ支援事業 承継者が不在の事業者の事業承継を支援するとともに、事業承継に係る機運の醸成を図るため、事業承継等に必要となる経費を支援した。 先代事業者向け補助 経営分析・コンサルティング、事業承継計画作成、企業価値評価などに係る委託料、Ｍ＆Ａ仲介・マッチング登録等手数料など、先代事業者が事業を譲り渡すために必要となる経費 承継者向け補助 事務所などの建物に係る内外装工事、工作機械や業務用什器代、知的財産権等の取得に要する費用やマーケティング調査費など、承継者が事業の全てまたは一部、その他事業資産などを引き継ぎ、事業を開始するために必要となる経費 実績　９１８千円（１件） 中小企業者等伴走型持続的成長発展・創業支援事業補助金 萩商工会議所に対する新たな支援体制として、持続的成長発展事業（マーケティング事業）や創業・経営革新支援事業等と一体的に実施する事業を実施し、市内中小企業者や新たな起業者等への支援体制の充実を図

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
65・66							
66		道の駅等維持管理事業	34,898		4,000	11,843	19,055
		道の駅「萩・さんさん三見」リニューアル事業	2,090		2,000		90
		道の駅「萩往還」環境整備事業	56,653		43,400	11,365	1,888
		長門大井駅トイレ整備事業	14,696		13,800		896

事　　業　　内　　容
った。 実績　２１，５７８千円 【歳入内訳】 ○国庫補助金（中小企業チャレンジ支援事業費）１１，６４８千円 ２３，２９６千円×１／２
道の駅等９施設の維持管理を行った。 萩地域　　道の駅「萩往還」、道の駅「萩・さんさん三見」、道の駅「萩しーまーと」 田万川地域　道の駅「ゆとりパークたまがわ」 むつみ地域　道の駅「うり坊の郷ｋａｔａｍａｔａ」、農産物加工販売施設「こいこいがんこ村」 旭地域　　道の駅「あさひ」、農産物加工販売所「つつじ」 福栄地域　道の駅「ハピネスふくえ」 道の駅等の修繕 道の駅等の各設備に係る修繕を行った。 道の駅「ゆとりパークたまがわ」多目的広場遊具整備事業 子どもの遊び場の確保と安全を図るため、道の駅ゆとりパークたまがわ多目的広場の遊具を更新した。 事業内容　コンビネーション遊具及びベンチの設置、既設木製遊具及び木製ベンチの撤去 事業費　４，０７０千円 【歳入内訳】 ○市債（道の駅「ゆとりパークたまがわ」多目的広場遊具整備事業債）４，０００千円　※過疎債 ○使用料（行政財産目的外使用料）１５０千円 ○使用料（駐車場使用料）３，２０９千円 ○手数料（車庫証明手数料）１千円 ○財産運用収入（行政財産）１，８４７千円 ○財産運用収入（普通財産）５，０８６千円 ○雑入（道の駅施設管理費）１，５５０千円
道の駅「萩・さんさん三見」の機能強化と施設の効果的な運営を図るために行う施設の増改築工事に係る実施設計を行った。 【歳入内訳】 ○市債（道の駅「萩・さんさん三見」整備事業債）２，０００千円　※過疎債
道の駅「萩往還」が設置から３０年近く経過しているため、既存の浄化槽設備の老朽化対策として、農業集落排水施設への接続工事を行った。 事業費　５６，６５３千円 実績　排水施設接続工事　Ｌ＝１，３００ｍ 【歳入内訳】 ○市債（道の駅「萩往還」施設整備事業債）４３，４００千円　※過疎債 ○雑入（道の駅「萩往還」環境整備事業負担金）１１，３６５千円
大井地区の下水道整備に伴い、交通拠点となる長門大井駅に公衆トイレを整備した。 事業内容　設備設計監理業務委託 トイレ整備工事 男性　小１基、大１基　　女性　大１基　　多目的　１室 【歳入内訳】

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
66							
		駐車場施設管理事業	2,752			2,752	
66		企業立地推進事業	3,969	811			3,158
		企業立地対策事業	14,539	7,269			7,270
66・67		消費者行政推進事業	4,791	692			4,099

事　　業　　内　　容
○市債（長門大井駅トイレ整備事業債）１３，８００千円　※合併特例債
各市営駐車場の維持管理を行った。 新堀駐車場、大照院前駐車場、越ヶ浜駐車場 【歳入内訳】 ○使用料（駐車場使用料）２，７５２千円
お試しサテライトオフィス事業 サテライトオフィス誘致を目指して、進出検討企業の視察に対する支援を行った。 事業費　２３千円 萩グローバルＩＴ人材確保・育成事業 ＩＴ関連企業のサテライトオフィス誘致に伴い、必要とされる人材確保を図るとともに、ＩＴ関連企業への就業を目指す高校生等に対して、就業に必要な学習カリキュラムの提供や学習環境を整備した。 また、ＩＴ関連企業や行政、教育機関、経済団体等で構成する「萩グローバルＩＴ人材育成協議会」を運営した。 事業費　１，０５８千円 サテライトオフィス誘致推進オンライン展示会出展事業 都市部企業におけるテレワーク、在宅勤務の普及によって生まれた、新たなニーズに対応するため、オンライン展示会への出展によるＰＲを行った。 事業費　５５０千円 明木中学校跡地活用事業 明木中学校跡地を事業用用地として活用するため、測量・分筆登記を行った。 事業費　１，４８１千円 【歳入内訳】 ○国庫補助金（サテライトオフィス誘致推進事業費）２７５千円 ５５０千円×１／２ ○国庫補助金（萩グローバルＩＴ人材確保・育成事業費）５２５千円 １，０５０千円×１／２ ○国庫補助金（お試しサテライトオフィス事業費）１１千円 ２３千円×１／２
萩市情報通信関連事業等立地促進補助金 市内に情報通信関連事業所等を開設した事業者に対して補助金を交付した。 対象業種　情報通信関連事業等 総事業費　２４，９７２千円（うち萩市補助金１４，５３９千円）（萩市１／３　県１／３　事業者１／３） 【歳入内訳】 ○県補助金（サテライトオフィス誘致推進事業費）７，２６９千円 １４，５３９千円×１／２
消費生活センターを中心に、深刻化する消費者被害の未然防止と救済をより一層進め、消費者の安全・安心の確保に努めた。 相談窓口の機能を強化するために、消費生活相談員を配置 消費者意識の啓発及び消費者教育の充実を図るため、出前講座を開催 悪質勧誘電話の抑止効果が高い「警告メッセージ付き電話録音装置」の利用促進 相談件数　令和３年度　４５３件 令和４年度　５１９件

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
66・67							
67	（商工費）観光費	萩版ＤＭＯ推進事業	27,095	2,753			24,342
		観光客誘致宣伝事業	43,405		20,700		22,705
			18,611			5,000	13,611

事　　業　　内　　容
【歳入内訳】 ○県補助金（地方消費者行政推進事業費）６９２千円 ６９２千円×１０／１０
萩・明倫学舎開館５周年、新橋ー横浜間鉄道開通１５０周年等各種周年事業を展開するとともに、萩ならではの多様な観光資源を活用し、地域が一体となった観光地づくりを進めた。また、地域ＤＭＯである萩市観光協会が舵取り役となり、多様な関係者と連携し、受入環境整備、戦略的・効果的な情報発信などにより、宿泊客数の増加や来訪者の満足度、リピーター率の向上を図る取組を推進した。 事業主体　萩市・萩市観光協会 事業内容　観光キャンペーン キャンペーンプロモーション、団体旅行商品造成支援、各種周年事業など 着地整備 観光コンテンツ造成支援、受入環境整備支援、着物イヤー開催、山陰線の活用など 情報発信 ＷＥＢサイトを活用した情報発信強化、広告宣伝助成など インバウンド 日本政府観光局（ＪＮＴＯ）、せとうちＤＭＯ、県等と連携した誘致など マーケティング調査 観光入込客数実態調査など 【歳入内訳】 ○国庫補助金（萩版ＤＭＯ推進事業費）２，７５３千円 ５，５０６千円×１／２
おもてなし充実事業 萩市観光協会と連携するなど、官民一体となって、観光客へのおもてなしの推進及び受入体制の強化を図り、リピーターが増える観光地づくりを行った。 【歳入内訳】 ○市債（萩市観光協会補助金事業債）２０，７００千円　※過疎債（ソフト分）
萩づくりイベント事業 萩をＰＲする各種イベントの開催に対して、補助を行った。 萩・大茶会 事業主体　萩・大茶会実行委員会 事業費　１，１１０千円（うち萩市補助金　８８３千円） 実施日　令和４年５月３日（火・祝） 萩・夏みかんまつり及び萩・椿まつり 事業主体　萩・花ごよみ実行委員会 事業費　６，２８９千円（うち萩市補助金　４，７８０千円） 実施日　萩・夏みかんまつり　令和４年５月１４日（土）～１５日（日） 実施日　萩・椿まつり　令和５年２月１１日（土・祝）～３月１９日（日） 萩ヨットレース２０２２ 事業主体　萩ヨットレース実行委員会 事業費　３０９千円（うち萩市補助金　２１８千円） 実施日　令和４年７月２４日（日）

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
67							
			11,766			1,536	10,230
			570				570
			3,009	500			2,509

事　　業　　内　　容
萩夏まつり 事業主体　萩夏まつり実行委員会 事業費　６，１８０千円（うち萩市補助金　４，４４０千円） 実施日　令和４年８月１日（月） 萩時代まつり 事業主体　萩時代まつり実行委員会 事業費　３，０９３千円（うち萩市補助金　３，０６３千円） 実施日　令和４年１１月１３日（日） 萩城下の古き雛たち 事業主体　萩城下の古き雛たち実行委員会 事業費　９２千円（うち萩市補助金　９２千円） 実施日　令和５年２月３日（金）～４月３日（月） 萩往還まつり「技・明木展」 事業主体　萩往還工芸まつり実行委員会 事業費　２１４千円（うち萩市補助金　１３５千円） 実施日　令和４年５月３日（火・祝） 観光資源活用支援 観光振興を目的とした、ふるさと納税を活用し、萩城下町においてプロジェクションマッピングを行うなど、萩特有の観光資源を活用したイベントを強化させ、宿泊者の増加や来訪者の満足度向上を図った。 事業主体　萩・竹灯路物語実行委員会 事業費　７，０００千円（うち萩市補助金　５，０００千円） 実施日　令和４年１０月８日（土）～１０日（月・祝） 【歳入内訳】 ○基金繰入金（観光資源活用事業費）５，０００千円　※あなたのふるさと萩応援基金
観光施策運営事業 東京・大阪・福岡等のキャンペーンへの出席、パンフレット・ポスターの作成、新聞・雑誌等への広告、山口宇部空港へのポスター・パンフレットの掲出、テレビ・映画等のロケーション撮影の誘致と協力等の情報発信を行った。 【歳入内訳】 ○雑入（観光パンフレット売払収入）１９２千円 ○雑入（御城印状売払収入）１，３４４千円
須佐地域観光施策運営事業 須佐地域の地域振興及び観光事業を推進するため、須佐おもてなし協会へ補助を行った。
観光客集客戦略事業 直行バス（萩～新山口間）運行補助事業 ＪＲ新山口駅から萩・明倫センター経由ＪＲ東萩駅までの区間について、中国自動車道及び小郡萩道路を経由して直行運行するバス（スーパーはぎ号）の運行経費の一部を補助した。 事業主体　防長交通株式会社 中国ジェイアールバス株式会社 新モビリティサービス実証事業 ＪＲ新山口駅や山口宇部空港から市内までの移動方法と市内周遊移動サービスを一元化した交通情報を提供す

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
67							
			19,101	796	6,200		12,105
			220				220
			448				448
		地域経済活性化支援対策事業	239,450	218,500			20,950

事　　業　　内　　容
る実証事業に係る経費を負担した。 事業主体　新モビリティサービス実証事業推進協議会 総事業費　１，０００千円（うち萩市負担金　５００千円） 山口県北西部周遊バス実証運行事業 ＪＲ新山口駅から山口県北西部（萩・長門・美祢）への誘客促進を図るとともに、観光地としての付加価値向上を図るため、ＪＲにより運行されるクルージングバスの実証運行に係る経費の一部を負担した。 事業主体　山口県北西部周遊観光促進プロジェクト実行委員会 総事業費　１，１００千円（うち萩市負担金　５００千円） 【歳入内訳】 ○国庫補助金（新モビリティサービス実証事業費）５００千円 １，０００千円×１／２
観光施策負担金・補助金事業 各種観光関連団体に負担金・補助金を支出した。 萩市負担金　１２，８８７千円 萩・津和野イメージアップ協議会、萩・石見空港利用拡大促進協議会負担金など 萩市補助金　６，２１４千円 萩観光ガイド協会運営費への補助 【歳入内訳】 ○国庫補助金（山口ゆめ回廊観光誘客事業費）６４６千円 １，２９２千円×１／２ ○国庫補助金（萩往還観光誘致事業費）１５０千円 ３００千円×１／２ ○市債（萩・石見空港利用拡大促進事業負担金事業債）６，２００千円　※過疎債（ソフト分）
インバウンド対策事業 外国人観光客の誘致拡大対策として、外国語パンフレットの印刷を行った。
世界文化遺産観光活用事業 大板山たたら製鉄遺跡付近は大型バスの通行が困難なため、道の駅ハピネスふくえを起点とした予約制による乗換バス（マイクロバス）の運行を行った。 運行期間　令和４年４月～令和５年３月 運行区間　道の駅ハピネスふくえ（乗換）⇔大板山たたら製鉄遺跡 世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の萩の資産を紹介するリーフレットを印刷した。
コロナ禍における原油価格・物価高騰や、電力・ガス・食料品等の価格高騰等の影響により、低迷する観光需要の回復を図るための事業を支援した。 がんばろう萩！安心安全観光地づくり事業 令和３年度繰越事業 市内宿泊施設に宿泊された方に対して、感染症対策に取り組む市内観光施設・飲食店・お土産物店等で利用できる２千円相当分のクーポン券（１千円×２枚）を配布した。 配布・利用期間　　令和４年３月２５日（金）～令和４年６月３０日（木） クーポン配布枚数　９９，４９６枚 クーポン利用枚数　９４，０１５枚 クーポン利用金額　９４，０１５千円

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
67							
67・68		観光施設維持管理及び施設整備事業	133,399	373	38,400	17,412	77,214

事　　業　　内　　容
総助成額　９８，９７０千円 令和４年度事業 市内宿泊施設に宿泊された方に対して、感染症対策に取り組む市内観光施設・飲食店・お土産物店等で利用できる２千円相当分のクーポン券（１千円×２枚）を配布した。なお、事業費の一部は、令和５年度に繰り越した。 ①配布・利用期間　令和４年７月１５日（金）～令和４年９月３０日（金） クーポン配布枚数　９８，４８４枚 クーポン利用枚数　９１，７８９枚 クーポン利用金額　９１，７８９千円 総助成額　１００，６２８千円 ②配布・利用期間　令和５年１月２０日（金）～令和５年４月２７日（木） クーポン配布枚数　９９，３０８枚 クーポン利用枚数　９４，２６３枚 クーポン利用金額　９４，２６３千円 総助成額　１０１，１６５千円 がんばろう萩！萩の花めぐり観光周遊バス運行支援事業 萩の花をめぐる観光周遊バス等の運行に対して、支援を行った。 萩の季節の花めぐりバスツアー ５コース（全９回）　参加者数　１６２名 【歳入内訳】 ○国庫補助金（安心安全観光づくり事業費）８２，０００千円　※コロナ臨時交付金 ○国庫補助金（萩の花めぐり観光周遊バス運行支援事業費）１，０００千円　※コロナ臨時交付金 ○国庫補助金（安心安全観光づくり事業費）１３５，５００千円　※コロナ臨時交付金
観光地の美化及び各種観光施設の維持管理等を行った。 萩地域 萩市観光「自然と歴史」情報センター、萩市自然と歴史の展示館、はぎ温泉揚配湯施設、菊ヶ浜海水浴場、観光地各所の公衆トイレ及び観光案内看板等の維持管理を行った。 指月公園観桜灯設置工事 点灯期間　令和４年３月２５日（金）～令和４年４月１０日（日） 点灯時間　午後６時～午後１０時 菊ヶ浜海水浴場施設整備工事 監視棟、音響設備設置・解体 川上地域 萩阿武川温泉ふれあい会館、交流促進施設、食材供給施設、阿武川温泉公園及びその周辺施設の維持管理を行った。 温泉公園公衆便所多目的トイレ便器取替工事、温泉公園公衆便所天井修繕工事、温泉公園芝生補修工事 萩阿武川温泉ふれあい会館の改修工事に伴い、施設を休館することになったため、その間の減収相当分について補償を行った。 田万川地域 海水浴場、キャンプ場、公園施設及び田万川温泉センターの維持管理を行った。 田万川野営場浄化槽送風機取替修繕、田万川温泉徐鉄徐マンガンろ過装置ろ過材入替工事

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
67・68							
		観光案内所整備事業	47,474	14,954	31,700		820
		香雪園整備事業	8,356		6,000	882	1,474

事　　業　　内　　容
むつみ地域 ネムの丘キャンプ場、むつみ昆虫王国及び周辺施設の維持管理を行った。 むつみ昆虫王国トイレ洋式化工事、むつみ昆虫王国かぶと虫ドームネット他改修工事、ネムの丘キャンプ場トイレ洋式化工事 須佐地域 須佐湾エコロジーキャンプ場、須佐地域緑地等管理中央センター、海苔石休憩所、弥富ふれあい公園、ふれあいステーション須佐及び観光地各所の公衆トイレの維持管理を行った。 須佐大橋公衆トイレ解体工事、須佐駅前駐車区画等改修工事、須佐湾エコロジーキャンプ場給水ポンプ取替工事 旭地域 萩アクティビティパーク、夏木原交流施設（トイレのみ）、萩往還交流施設「乳母の茶屋」及び旭地域中国自然歩道の維持管理を行った。 萩アクティビティパーク カート場外灯修繕、カート場ピット棟排煙窓修繕、多目的トイレ整備工事 【歳入内訳】 ○県委託金（自然公園利用施設管理事業費）１５７千円 ○県委託金（中国自然歩道管理事業費）２１６千円 ○市債（むつみ昆虫王国改修事業債）２９，３００千円　※過疎債 ○市債（観光振興施設改修事業費）９，１００千円　※過疎債 ○使用料（行政財産目的外使用料）１１４千円 ○使用料（観光振興施設使用料）１０，１９２千円 ○財産運用収入（行政財産）２，１４４千円 ○財産運用収入（普通財産）６２千円 ○財産運用収入（温泉権貸付収入）１５千円 ○財産運用収入（温泉振興基金利子）９千円 ○財産売払収入（電力売払収入）２７千円 ○雑入（自動販売機電気代負担金）５６千円 ○雑入（キャンプ場等使用料）１，２５６千円 ○雑入（菊ヶ浜駐車場使用料）２，６３０千円 ○雑入（観光遊覧船発着場利用負担金）７６４千円 ○雑入（観光施設修繕利用者負担金）１２１千円 ○雑入（資源物売払収入）２２千円
観光客等の利便性向上を図るため、萩・明倫学舎バス停付近にバス待合所機能を有する観光案内所を整備した。 事業期間　令和３～４年度 令和４年度事業　整備工事（１０３．１９㎡　木造　平屋建）、設備監理業務委託、施設備品整備 【歳入内訳】 ○国庫補助金（観光案内所整備事業費）１４，９５４千円 ２９，９０９千円×１／２ ○市債（観光案内所整備事業債）３１，７００千円　※過疎債
萩市出身で明治期に大阪財界で活躍した実業家藤田伝三郎の没後１１０年の節目に、ゆかりの地である「香雪園」を整備し、観光誘客を図った。

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
67・68							
		萩阿武川温泉改修事業	14,296		11,400		2,896
68・69		笠山椿群生林再生保全事業	1,183	589		196	398
		花と緑の修景事業	7,932			121	7,811
		公園施設等の維持管理事業	141,247	139		12,466	128,642
70	（土木費）道路橋りょう費	道路維持管理事業	177,776	514		23,980	153,282

事　　業　　内　　容
緑地整備等（藤棚設置　植栽工事など） 【歳入内訳】 ○市債（香雪園整備事業債）６，０００千円　※過疎債 ○寄附金（企業版ふるさと寄附推進事業費）８８２千円
萩阿武川温泉ふれあい会館は、開業後２８年が経過しており、施設の老朽化等により近年利用客が減少傾向にある。温泉施設のリニューアルを行い、利用客の増加を図るとともに、温泉周辺の賑わいの創出を図った。なお、事業費の一部については、令和５年度に繰り越した。 阿武川温泉本体建物改修工事（５３３．２１㎡　鉄骨造　平屋建）、サウナ改修、脱衣所増設ほか 設備設計業務委託、備品購入 【歳入内訳】 ○市債（萩阿武川温泉改修事業債）１１，４００千円　※過疎債
市指定天然記念物「椿群生林」のヤブツバキに樹勢衰退などが見られることから、現地での再生試験等の状況を踏まえたうえで、検討委員会を開催し、学識経験者などの意見を聞きながら、引き続き、椿群生林の再生・保全に向けて取り組んだ。 事業期間　令和２～４年度 令和４年度事業　検討委員会の開催、報告書作成、再生試験整備 【歳入内訳】 ○県補助金（笠山椿群生林再生・保全事業費）５８９千円 １，１７７千円×１／２ ○雑入（笠山椿群生林再生・保全事業助成金）１９６千円
民有施設における花と緑の推進事業 花と緑のまちづくり推進協議会による、花と緑のふれあい広場や花いっぱい運動の開催及び草花の苗の配布等に対して補助を行った。また、保存樹木の指定拡大、指月公園の桜の樹勢回復等を図った。 【歳入内訳】 ○財産売払収入（果実売払収入）６２千円 ○財産売払収入（苗木売払収入）５９千円
公園施設等の維持管理を行った。 指月公園等１１６箇所の草刈、剪定、清掃業務及び公衆トイレ４５箇所の維持管理等を行った。 【歳入内訳】 ○県委託金（自然公園利用施設管理事業費）９４千円 ○県委託金（中国自然歩道管理事業費）４５千円 ○使用料（行政財産目的外使用料）８千円 ○使用料（駐車場使用料）８，８５６千円 ○使用料（都市公園使用料）８１６千円 ○使用料（普通公園使用料）４千円 ○寄附金（松陰神社前交通広場維持管理事業費）２４０千円 ○雑入（自動販売機電気代負担金）２２３千円 ○雑入（自動販売機販売手数料）１，１２７千円 ○雑入（松陰神社前交通広場使用料）１，１９２千円
萩地域 市道黒田両家線路肩改良工事　　Ｌ＝３０．５ｍ（路肩工）

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
70							

事　　業　　内　　容
市道中津江河岸線路肩改良工事　　Ｌ＝５４．５ｍ（路肩工）
市道大島第１幹線側溝改良工事　　Ｌ＝２８ｍ（側溝工）
市道川屋敷線側溝改良工事　　Ｌ＝２４．５ｍ（側溝工）
市道北木間線側溝改良工事　　Ｌ＝２４ｍ（側溝工）
市道門前猪ノ熊線路肩改良工事　　Ｌ＝１１．５ｍ（路肩工）
市道土原船津線側溝改良工事　　Ｌ＝１６ｍ（側溝工）
市道九郎坊線側溝改良工事　　Ｌ＝４ｍ（側溝工）
市道河添中ノ町線側溝改良工事　　Ｌ＝１２ｍ（側溝工）
市道手洗川線路肩改良工事　　Ｌ＝１０ｍ（路肩工）
市道相島奥山線路肩改良工事　　Ｌ＝８ｍ（路肩工）
市道大島西側地寺山線防護柵設置工事　Ｌ＝８１．３ｍ（防護柵設置工）
道路側溝がたつき防止工事　　Ｌ＝１０２．４ｍ（市内各所）
道路路肩改良工事、道路側溝改良工事、道路舗装補修工事、生活関連維持工事（市内各所）
川上地域
市道江舟野戸呂線路肩補修工事　　Ｌ＝２ｍ（路肩工）
道路路肩改良工事、道路側溝改良工事、道路舗装補修工事（市内各所）
田万川地域
市道弁天線防護柵補修工事　　Ｌ＝３４ｍ（防護柵補修工）
道路路肩改良工事、道路側溝改良工事、道路舗装補修工事（市内各所）
むつみ地域
市道広長線舗装補修工事　　Ｌ＝１５０ｍ（区画線工）
市道末永線水路改良工事　　１箇所（集水桝設置工）
市道北河内線路肩改良工事　　Ｌ＝５４ｍ
道路路肩改良工事、道路側溝改良工事、道路舗装補修工事（市内各所）
須佐地域
市道馬取線他道路維持工事　　Ｌ＝１５０ｍ（路面清掃工）
市道中津坂根線他道路維持工事　　Ｌ＝２００ｍ（路面清掃工）
市道下畑線側溝改良工事　　Ｌ＝５ｍ（側溝工）
道路路肩改良工事、道路側溝改良工事、道路舗装補修工事（市内各所）
旭地域
市道牛地３号線落石防止対策工事　　Ｌ＝１８ｍ（防護柵設置工）
道路路肩改良工事、道路側溝改良工事、道路舗装補修工事（市内各所）
福栄地域
市道永田沖中山線舗装補修工事　　Ａ＝６１６㎡（舗装工）
市道田代渦ケ原線路肩整正工事　　Ｌ＝１，８５０ｍ（路肩工）
道路路肩改良工事、道路側溝改良工事、道路舗装補修工事（市内各所）
【歳入内訳】
○県委託金（雪量等観測事務費）５１４千円
○使用料（道路占用料）２３，５３２千円
○使用料（法定外公共物占用料）１９０千円
○使用料（行政財産目的外使用料）１９０千円

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
70							
		トンネル補修事業	3,003	1,800	1,200		3
70・71		道路新設改良事業	136,007	46,862	87,900		1,245

事　　業　　内　　容
○財産運用収入（普通財産）４８千円 ○基金繰入金（道路維持補修事業費）２０千円　※あなたのふるさと萩応援基金
交通の安全を確保するため、トンネル長寿命化修繕計画に基づき、計画的に補修工事を行った。 高ノ須トンネル 事業期間　令和２～５年度 全体計画　Ｌ＝５２２ｍ 令和４年度事業　トンネル補修工事　Ｌ＝５２２ｍ 【歳入内訳】 ○国庫補助金（トンネル補修事業費）１，８００千円 ３，００３千円×５．９９５／１０ ○市債（トンネル補修事業債）１，２００千円　※過疎債
老萩線道路整備事業 国道１９１号平安古地区交差点改良事業に伴い、交差点部の安全確保を図るための改良を行った。なお、事業費の一部については、令和５年度に繰り越した。 事業期間　平成２９～令和４年度 全体計画　Ｌ＝１０３ｍ 令和４年度事業　道路改良工事　Ｌ＝１０３ｍ 事業費　１０，５６０千円 山陰道アクセス道路整備事業 山陰道「大井・萩道路」の萩東インターチェンジ（仮）から中心市街地や観光地への利便性の向上を図るため、アクセス道路の整備を行った。なお、事業費の一部については、令和５年度に繰り越した。 事業期間　令和３年度～ 全体計画　Ｌ＝１，２１０ｍ　Ｗ＝１５．０ｍ 令和３年度繰越事業　測量設計業務委託 事業費　３４，１５０千円 羽賀線道路整備事業 国道１９１号（越ヶ浜～大井）における越波や交通事故等による交通規制が発生した際の緊急的な迂回路として、また、地域間（大井羽賀～福栄吉田）の交流促進と利便性の向上を図るため、整備を行った。なお、事業費の一部については、令和５年度に繰り越した。 事業期間　平成１７～令和７年度 全体計画　Ｌ＝１，６００ｍ　Ｗ＝５．０～６．５ｍ 令和３年度繰越事業　道路改良工事　Ｌ＝２４０ｍ 事業費　１６，８１５千円 令和４年度事業　道路改良工事　Ｌ＝８１ｍ 事業費　１６，７５６千円 神畑線道路整備事業 見島地区住民や観光客の利便性を図るため、見島宇津地区と観光スポットの北灯台にアクセスする市道の拡幅を行った。 事業期間　平成２８年度～（第２期工区） 全体計画　Ｌ＝１，０００ｍ　Ｗ＝４ｍ 令和４年度事業　道路改良工事　Ｌ＝１００ｍ

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
70・71							
71		橋りょう補修事業	73,655	44,143	28,600		912

事　　業　　内　　容
事業費　２６，６８１千円 原山長沢線道路整備事業 広域農道阿武東の終点から主要県道田万川津和野線に至る原山長沢線は、幅員が狭いことから大型車の通行の際など、車の離合が困難な状況にあることから、交通の安全を確保するため道路の拡幅改良を行った。なお、事業費の一部については、令和５年度に繰り越した。 事業期間　令和元～５年度 全体計画　Ｌ＝１，１００ｍ　Ｗ＝５ｍ 令和３年度繰越事業　道路改良工事　Ｌ＝９０ｍ 事業費　１２，９００千円 令和４年度事業　道路改良工事　Ｌ＝２２０ｍ、分筆登記業務委託、用地購入 事業費　７，０１３千円 道路橋りょう県工事負担金 単独道路改良等（国道４９０号ほか） 【歳入内訳】 ○国庫補助金（山陰道アクセス道路整備事業費）１８，６１１千円 ３４，１５０千円×５．４５／１０ ○国庫補助金（羽賀線道路整備事業費）１８，２９５千円 ３３，５７０千円×５．４５／１０ ○国庫補助金（原山長沢線道路整備事業費）９，９５６千円 １９，９１３千円×１／２ ○市債（老萩線道路整備事業債）１０，６００千円　※過疎債 ○市債（山陰道アクセス道路整備事業債）１５，５００千円　※過疎債 ○市債（羽賀線道路整備事業債）１５，３００千円　※過疎債 ○市債（神畑線道路整備事業債）２６，６００千円　※辺地債 ○市債（原山長沢線道路整備事業債）９，４００千円　※合併特例債 ○市債（道路橋りょう事業県工事負担金事業債）１０，５００千円　※合併特例債
交通の安全を確保するため、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、計画的に補修工事を行った。なお、事業費の一部については、令和５年度に繰り越した。 浮島橋 事業期間　令和元～４年度 令和４年度事業　橋りょう補修工事　Ｌ＝１６．２ｍ 事業費　３，６４１千円 赤坂橋 事業期間　令和２～５年度 令和３年度繰越事業　調査設計業務委託 事業費　２４，６９９千円 令和４年度事業　橋りょう補修工事　Ｌ＝８．２ｍ、測量業務委託、事前調査業務委託 事業費　１４，９８３千円 松本大橋歩道橋 事業期間　令和２～６年度 令和４年度事業　橋りょう補修工事　Ｌ＝４２．９ｍ

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
71							
		橋りょう点検事業	25,958	15,548			10,410
71		交通安全対策事業	15,958				15,958
71	（土木費） 河川費	河川維持事業	39,336	2,086	30,200	451	6,599

事　　業　　内　　容
事業費　２７，６５０千円 【歳入内訳】 ○国庫補助金（橋りょう補修事業費）４４，１４３千円 ７３，６３４千円×５．９９５／１０ ○市債（橋りょう補修事業債）２８，６００千円　※過疎債
橋りょう点検業務委託（第２期） 事業期間　令和元～５年度 総点検橋りょう数　７４１橋 令和４年度事業　橋りょう点検　４８橋 事業費　１６，５８５千円 橋りょう長寿命化修繕計画更新業務 事業費　９，３５０千円 【歳入内訳】 ○国庫補助金（橋りょう点検事業費）１５，５４８千円 ２５，９３５千円×５．９９５／１０
萩地域 区画線　Ｌ＝１，２４６ｍ 防護柵設置　３箇所　Ｌ＝１９４ｍ 川上地域 区画線　Ｌ＝３，００８ｍ、カーブミラー１本 田万川地域 区画線　Ｌ＝１，０３６．４ｍ むつみ地域 区画線　Ｌ＝６，９４８．５ｍ、防護柵設置　２１ｍ、カーブミラー　１本 須佐地域 防護柵設置　Ｌ＝２４ｍ、カーブミラー　１本 旭地域 カーブミラー　１本 福栄地域 カーブミラー　１本
萩地域 大歳川護岸改修工事　　Ｌ＝２３．７ｍ 後藤川護岸改修工事　　Ｌ＝１８．０ｍ 湊川スクリーン改修工事　１基 飯井川護岸改修工事　　Ｌ＝７．０ｍ 藍場川護岸改修工事　　Ｌ＝８．８ｍ その他河川護岸改修工事 殿河内川浚渫工事　　Ｌ＝２８ｍ　　Ｖ=７０㎥ 白坂川浚渫工事　　Ｌ＝９１ｍ　　Ｖ＝８０㎥ 無田ヶ原水路他浚渫工事　Ｌ＝１，２３８．８ｍ　　Ｖ=７０．１㎥ 水無川浚渫工事　　Ｌ＝２０ｍ　　Ｖ＝１６０㎥

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
71							
72		河川改良事業	25,137		1,900		23,237
72	（土木費）港湾費	明石港補修事業	765				765
72		港湾建設事業	10,668		10,600		68
72	（土木費）都市計画費	都市計画図作成事業	15,400				15,400

事　　業　　内　　容
その他河川等浚渫工事 川上地域 寺の川護岸調査業務　　Ｌ＝１００ｍ 笹尾川護岸改修工事　　Ｌ＝１０ｍ 田万川地域 千疋川護岸改修工事　　Ｌ＝１０ｍ むつみ地域 小国川浚渫工事　　Ｌ＝３０ｍ　　Ｖ=４３㎥ 湯ノ口川浚渫工事　　Ｌ＝４０ｍ　　Ｖ=４３㎥ 須佐地域 加ヶ谷川浚渫工事　　Ｌ＝４５ｍ　　Ｖ=２８㎥ 日ノ社川他浚渫工事　　Ｌ＝９０ｍ　　Ｖ=９２㎥ 堀田川護岸改修工事　　Ｌ＝１３ｍ　　Ｖ=０．４㎥ 旭地域 見定川浚渫工事　　Ｌ＝２０ｍ　　Ｖ=４５㎥ 長瀬川護岸改修工事　　Ｌ＝２１．８ｍ 福栄地域 深谷川浚渫工事　　Ｌ＝２２ｍ　　Ｖ=８０㎥ 【歳入内訳】 ○県委託金（阿武川樋門等管理費）１，０００千円 ○県委託金（田万川樋門等管理費）１，０３３千円 ○県委託金（須佐川樋門等管理費）５３千円 ○市債（河川護岸改修事業債）１７，４００千円　※緊急自然災害防止対策債 ○市債（河川浚渫事業債）１２，８００千円　※緊急浚渫推進債 ○使用料（法定外公共物占用料）３４９千円 ○使用料（流水占用料）２２千円 ○使用料（土地占用料）２千円 ○財産運用収入（行政財産）４８千円 ○雑入（自動販売機電気代負担金）３０千円
河川改良等県工事負担金 急傾斜地崩壊対策等（手水川ほか） 【歳入内訳】 ○市債（河川事業県工事負担金事業債）１，９００千円　※緊急自然災害防止対策債
三見明石港防波堤補修工事 Ａ箇所　Ｌ＝２．４ｍ　　Ｂ箇所　Ｌ＝２．７ｍ
港湾建設県工事負担金 単独港湾改修事業等（萩港） 【歳入内訳】 ○市債（港湾事業県工事負担金事業債）１０，６００千円　※過疎債
平成２１年度に作成した都市計画図等について、その後の宅地開発や道路整備等により現況と異なることから更新を行った。

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
72		都市計画基礎調査事業	5,445	2,722			2,723
		都市計画マスタープラン等見直し事業	1,477				1,477
		宅地耐震化推進事業	4,620	2,310			2,310
72・73		景観形成対策事業	1,600	533		121	946
73		都市下水路事業	726			19	707
73		公園事業	956				956
73・74	（土木費）住宅費	市営住宅維持補修事業	39,579			39,579	
		市営住宅予防保全事業	73,337	18,307		55,030	

事　　業　　内　　容
都市計画に関する基礎調査として、人口規模、産業分類別の就業人口の規模、市街地の面積、土地利用、交通量等に関する現況についての調査を行った。 【歳入内訳】 ○県委託金（都市計画基礎調査費）２，７２２千円 ５，４４５千円×１／２
平成２２年度に策定した「都市計画マスタープラン」及び「緑の基本計画」について、萩市基本ビジョン等の上位計画や立地適正化計画との整合を図り、都市づくりと緑化推進における将来像・基本方針の見直しを行った。 事業期間　令和２～４年度 総事業費　９，３５０千円 対象区域　市全域
震災時における、大規模に盛土造成された宅地の地すべり等の危険性を調査した。 【歳入内訳】 ○国庫補助金（宅地耐震化推進事業費）２，３１０千円 ４，６２０千円×１／２
景観保全活動事業 景観計画運用業務、屋外広告物等に関する条例等に基づく許可事務等を行った。 歴史的景観保存地区保存推進事業 歴史的景観保存地区における良好な歴史的景観の保全のため、地区内の建築物や工作物等の修理修景に対して、補助を行った。 【歳入内訳】 ○国庫補助金（景観改善推進事業費）５３３千円 １，６００千円×１／３ ○手数料（屋外広告物等許可手数料）１２０千円 ○雑入（景観計画書売払収入）１千円
椿東都市下水路の維持管理を行った。 草刈業務委託　　Ｌ＝５００ｍ 排水路浚渫工事　Ｌ＝２４０ｍ　　Ｖ＝７．１４㎥ 【歳入内訳】 ○使用料（都市下水路使用料）１９千円
公園県工事負担金事業 県営事業の萩ウェルネスパークの維持補修工事等に対する負担金 令和４年度事業費　９，５５６千円（うち萩市負担額　９５６千円）
市営住宅の適正な維持管理のため、修繕や改修等を行った。 量水器取替工事（無田ヶ原口団地Ａ・Ｄ棟） 住宅用火災警報器取替工事 用水路浚渫工事（中津江団地） 下水接続設計業務（金谷団地７１・７２棟） その他各住宅の内外修繕、設備修繕、防水修繕など 【歳入内訳】 ○使用料（公営住宅使用料）３９，５７９千円
公営住宅等長寿命化計画に基づき、施設の長寿命化を図るため、改修等を計画的に行った。

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
73・74							
		民間木造住宅耐震診断・耐震改修促進事業	1,444	1,083			361
		住宅改修資金助成事業	6,841				6,841
		老朽危険空き家対策事業	9,530	4,692			4,838
		暮らしの安全助成事業	573	427			146
		民間建築物アスベスト対策事業	170	170			
		市営住宅適正化事業	17,804	5,177	1,500		11,127

事　　業　　内　　容
予防保全工事 外壁改修工事（金谷団地７８・７９棟） 排水設備改修等工事（金谷団地） 【歳入内訳】 ○国庫補助金（市営住宅予防保全事業費）１８，３０７千円 ３６，６１４千円×１／２ ○使用料（公営住宅使用料・改良住宅使用料）５５，０３０千円
昭和５６年５月以前に建設された民間木造住宅の耐震化率向上のため、診断員派遣による耐震診断費用及び耐震改修費用に対して支援した。 【歳入内訳】 ○国庫補助金（民間木造住宅耐震診断・改修事業費）７２２千円 １，４４４千円×１／２ ○県補助金（民間木造住宅耐震診断・改修事業費）３６１千円 １，４４４千円×１／４
市内の施工業者を利用して、住宅のリフォームを行う場合にその経費の一部を支援することで、住環境の向上、地場産業の活性化及び空き家の有効活用を図った。 事業内容　工事費が１０万円以上の場合、経費の１０％を補助（上限額１００千円） 空き家リフォームや子育て世帯等の場合、補助率は最大３０％まで引き上げ（上限５００千円） 実績　７１件
所有者等への適正な管理及び活用を促進するとともに、老朽化した空き家には市内の施工業者を利用した除却に対する支援を行うなど、住み良い生活環境の保全と安全安心なまちづくりを推進した。 老朽危険空き家の所有者等への助言及び指導 老朽危険空き家除却促進事業補助金 老朽化して危険な空き家の除却を推進するため、解体工事等を行う場合に、必要な経費の一部を支援した。 補助額　補助対象経費の２／３以内（上限１，０００千円） 【歳入内訳】 ○国庫補助金（老朽危険空き家除却促進事業費）４，６９２千円 ９，３９０千円×１／２
大阪北部地震により既存ブロック塀の倒壊による被害が発生したことから、同様の被害を未然に防ぐため、通学路等に面する民間所有の既存ブロック塀等の除却に要する経費の一部を支援した。 【歳入内訳】 ○国庫補助金（暮らしの安全助成事業費）２８６千円 ５７３千円×１／２ ○県補助金（暮らしの安全助成事業費）１４１千円 ５７３千円×１／４
民間建築物のアスベスト対策を促進するため、吹付けアスベストの含有調査に対して支援した。 【歳入内訳】 ○国庫補助金（民間建築物アスベスト対策事業費）１７０千円 １７０千円×１０／１０
安心安全な住環境を提供するため、耐用年数を超過し、用途廃止すべき住戸について、計画的に入居者の移転を促すとともに、老朽化した建物の解体を行った。

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
73・74							
74・75	（消防費） 消防費	消防指令センター共同整備事業	4,115		3,400	617	98
75		消防団員装備品整備事業	6,286			1,000	5,286
76		常備消防車両整備事業	91,043	19,181	47,600	10,761	13,501
		消防団車両整備事業	42,771		37,300		5,471
		防火水槽整備事業	25,512	2,743	22,600		169

事　　業　　内　　容
【歳入内訳】 ○国庫補助金（市営住宅予防保全事業費）５，１７７千円 　１０，３５４千円×１／２ ○市債（市営住宅解体事業債）１，５００千円　※過疎債（ソフト分）
専門性の高い指令業務を専従化することで、複雑多様化する災害に備えた地域防災力の強化を図るとともに、通信指令設備整備及び維持管理に係る経費の削減を図るため、本市、山口市及び防府市において通信指令システムを共同で整備する経費を負担した。 　事業期間　令和３～６年度 　総事業費　５，２８３，３８９千円（うち萩市負担額　１，５３９，３１０千円） 　事業内容　システム調達支援業務委託（令和３～４年度） 　　システム構築監理業務委託（令和５～６年度） 　　システム設置工事（令和５～６年度） 　令和４年度事業費　１３，７５０千円（うち萩市負担額　４，１１５千円） 【歳入内訳】 ○市債（消防指令センター共同整備事業負担金事業債）３，４００千円　※緊急防災・減災債 ○負担金（消防事業負担金）６１７千円　※阿武町分
消防団を中心とした地域防災力の充実強化を図るため、消防団員の装備を整備した。 　事業期間　平成３０～令和６年度 　安全帽　中央方面団 　防火服　中央方面団、川上方面団 　ヘッドライト　中央方面団 【歳入内訳】 ○雑入（消防団員安全装備品助成金）１，０００千円
消防力の充実・強化を図るため、常備消防車両更新計画に基づき車両の計画的な更新を行った。 　更新車両　化学ポンプ自動車　１台、小型動力ポンプ付積載車　１台 【歳入内訳】 ○国庫補助金（消防車両整備事業費）１９，１８１千円 　３８，３６３千円×１／２ ○市債（消防車両整備事業債）４７，６００千円　※過疎債 ○負担金（消防事業負担金）１０，７６１千円　※阿武町分
消防団車両６８台の計画的更新を行い、消防力の充実を図った。なお、事業費の一部については、令和５年度に繰り越した。 　更新車両　ＣＤ－１型消防ポンプ自動車（明木自動車分団、福栄第１分団） 【歳入内訳】 ○市債（消防車両整備事業債）３７，３００千円　※緊急防災・減債債
消防水利の乏しい地域に防火水槽を整備し、防火体制の強化を図った。なお、事業費の一部については、令和５年度に繰り越した。 　事業期間　令和３～４年度 　設置箇所　萩地域　三見床並地区（１基） 　事業期間　令和４～５年度 　設置箇所　川上地域　惣ノ瀬地区（１基）、田万川地域　小川２区（１基）

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
76							
76		水防対策事業	1,380				1,380
76・77		防災対策事業	34,392			1,983	32,409
		避難所用資機材整備事業	7,962				7,962
		新防災行政無線整備事業	99,718		99,700		18

事　　業　　内　　容
令和４年度事業費　２５，５１２千円 【歳入内訳】 ○国庫補助金（防火水槽整備事業費）２，７４３千円 ５，４８６千円×１／２ ○市債（防火水槽整備事業債）２２，６００千円　※過疎債・辺地債
近年多発する異常降雨による水害に備え、水防活動に必要な資機材の整備、河川砂州の切開等を行った。 購入資材　まさ土、土のう袋等 河川砂州切開　萩地域　橋本川西の浜（１回実施） 田万川地域　須潟の浜（２回実施）
防災情報の伝達 防災行政無線施設、防災メールの管理運用を行った。 令和４年度末現在加入者数　１０，７７６件 コミュニティＦＭでの災害時の緊急割込み放送、萩テレビでのテロップ放送を行った。（各３回） 総合防災気象情報サービス活用事業 頻発する豪雨災害等に対応するため、防災関係の気象情報を扱う民間事業者から気象に関する専門的なアドバイスや台風等の詳細な気象情報を得て、初動体制の確保、配備基準、避難情報発令などの判断として活用した。 高齢者・障がい者への防災情報総合伝達 防災メール未登録の高齢者世帯・視覚障がい者（希望者）宅の固定電話に防災情報を音声で提供した。 防災メール未登録の高齢者世帯・聴覚障がい者（希望者）宅のＦＡＸに防災情報を提供した。 全ての方（電話で防災情報を確認）に防災情報テレフォンサービス（音声ガイダンス）を提供した。 自主防災組織補助金交付事業 自主防災組織に対して、防災活動に要する費用の一部について、補助を行った。 【歳入内訳】 ○雑入（気象観測装置設置費）２０千円 ○雑入（防災メール配信事業協力金）１４２千円　※阿武町分 ○雑入（防災対策事業助成金）１，８２１千円
風水害、土砂災害、地震など各種災害発生時の避難者に対応するため、避難所運営に必要な資機材、備蓄計画に基づいた非常食や避難所用資機材等の整備を行った。 令和４年度購入物品 非常食　災害用レトルト食品、非常用ビスケット、非常用飲料水 避難所用資機材　女性対策　避難所用レディースセット 感染症対策　間仕切り、折りたたみベッド 乳幼児対策　液体ミルク、アレルギー対応粉ミルク 通信対策　携帯電話用マルチ充電器 停電対策　カセットガス式発電機、ライト オストメイト対策　専用トイレ・テント その他　折りたたみアルミマット、毛布など
大雨・地震・津波等の自然災害やテロ、国民保護等の緊急情報を配信するため、防災行政無線の整備を行った。 事業期間　平成２７～令和５年度 総事業費　１，４７５，４５３千円 令和４年度事業　新防災行政無線ネットワークシステムの整備

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
76・77							
		総合防災システム整備事業	48,518		39,700		8,818
77・78	（教育費）教育総務費	ひとづくり構想推進事業	121				121
		高校生女子寮運営事業	8,174			636	7,538
		高等学校生徒通学費支援事業	1,882				1,882
		奨学金返還支援事業	13				13

事　　業　　内　　容
田万川地域（第６期）の防災行政無線デジタル化（令和３～４年度） 旭地域（第７期）の実施設計業務 【歳入内訳】 ○市債（新防災行政無線整備事業債）９９，７００千円　※緊急防災・減災債
災害対策本部の機能強化を図るため、迅速に災害や気象情報の収集・共有を行い、対策の立案・決定・情報配信などをサポートする防災システムの整備を行った。 事業期間　令和２～４年度 総事業費　８７，４９１千円 令和２年度事業 基本構想・実施設計業務委託 令和３年度繰越事業 総合防災システム整備工事 【歳入内訳】 ○市債（総合防災システム整備事業債）３９，７００千円　※緊急防災・減災債
ひとづくり構想の着実な推進を図るため、市民と行政で構成する「萩市ひとづくり構想推進委員会」を設置し総合的な進行管理を行った。また、子ども読書活動推進計画の計画期間満了に伴い、学校教育、社会教育、スポーツ、読書の各分野が一体となった計画に改訂した。
離島や遠隔地等により通学が困難な女子高校生が地元の高等学校へ進学しやすい環境整備を図るため、寮の運営を行った。 所在地等　萩市大字山田４８１９番地１（旧池本整形外科医院）ＲＣ造２階建　１，４１１㎡ 寮の概要　常駐の管理人による寮の運営管理、食事の提供 １２部屋の居室（エアコン・ベッド等家具完備）、共用トイレ・浴室 管理人室、食堂、外来者宿泊室 寮費月額　３，０００円 食費・電気代月額　３７，０００円程度 【歳入内訳】 ○使用料（高校生女子寮使用料）４２６千円 ○雑入（高校生女子寮光熱水費等負担金）２１０千円
市内の生徒が地元の高等学校へ進学しやすい環境整備を図るため、通学費の助成を行った。 対象者　市内に居住し市内の高等学校及び萩高等学校奈古分校、大津緑洋高等学校水産キャンパスへ通学する生徒の保護者（ただし、下記に該当するもの等は除く。） 離島高校生修学支援費を受給している者 市町村民税所得割額が３０４，２００円（年収９，１００千円程度）以上の世帯 助成内容　定期代が月額１０千円未満の場合、定期代から５千円を引いた額 定期代が月額１０千円以上の場合、定期代に１／２を乗じた額（上限額１０千円／月） 年間支給上限月数は１０月とし、１月あたりの助成額が１千円未満の場合は対象外
大学等の高等専門教育への進学を支援するため、萩市に定住する若者の奨学金返還の経済的負担を軽減する「奨学金返還支援制度」の令和５年度からの開始に向け、各高等学校、大学及び２０歳の集い等で周知活動を行った。 登録対象者　萩市に定住する意思があり、日本学生支援機構等から奨学金の貸付を受けている方 対象者　登録後に大学等を卒業し、萩市に定住する方 補助率　返還した奨学金の１／２相当額（令和５年度～）（年間上限８９千円×最長５年間）

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
77・78		高校魅力化支援事業	3,574				3,574
		学校給食基金管理事業	390,116			53,620	336,496
78・79	（教育費）小学校費	小学校施設改修事業	30,461			28	30,433
		小学校ＬＥＤ照明設置事業	26,817	4,177	19,300	15	3,325
		小学校トイレ改修事業	1,573		1,400		173
79		がんばろう萩！学校給食用食材価格高騰対策事業	3,531				3,531
79・80		学力向上推進事業	3,780				3,780

事　　業　　内　　容
市内高等学校の魅力化を図るため、探究学習支援による人材育成プログラムを実施し、課題解決やコミュニケーション、表現力などの能力向上を図った。 　事業内容　高校魅力化支援業務委託
令和５年度から子育て世帯応援学校給食費助成事業を小学校に通う児童へ拡充するに当たり、その財源として、令和３年度の実質単年度収支黒字額の３分の１及び子育て支援のために寄せられた寄附金（子育ての幸せが実感できるまちづくりへの投資）を学校給食基金へ積み立てた。 　積立額　３９０，１１５，８２０円 　財源内訳　実質単年度収支黒字額の１／３　３３６，４９６，２１０円 　　ふるさと寄附（令和４年度寄附分）　１５，３７６，７４２円 　　あなたのふるさと萩応援基金（令和３年度末残高）　３８，２４２，８６８円 【歳入内訳】 ○寄附金（ふるさと寄附推進事業費）１５，３７７千円 ○基金繰入金（学校給食基金管理事業費）３８，２４３千円　※あなたのふるさと萩応援基金
教育環境改善のため、計画的に小学校施設の改修工事等を行った。 　白水小学校プールサイド改修工事、明倫小学校防球ネット改修工事等 【歳入内訳】 ○雑入（資源物売払収入）２８千円
小学校の照明器具をＬＥＤ照明へ交換することにより、教育環境の改善及び省エネルギー化・長寿命化による電力使用量の削減を図った。なお、事業の一部については、令和５年度に繰り越した。 　設置校　白水小学校、三見小学校 【歳入内訳】 ○国庫補助金（小学校ＬＥＤ照明設置事業費）４，１７７千円 　１６，５４５千円×０．１／１０～１／３ ○市債（小学校ＬＥＤ照明設置事業債）１９，３００千円　※合併特例債 ○雑入（資源物売払収入）１５千円
各家庭における洋式トイレの普及状況や災害時の避難所としての機能向上を図るなどの観点から、小学校のトイレの洋式化を進めた。 　事業内容　椿東小学校トイレ洋式化設備設計業務 【歳入内訳】 ○市債（小学校施設改修事業債）１，４００千円　※合併特例債
コロナ禍における原油価格・物価高騰等の影響により、食材価格が高騰したことから、保護者に学校給食費の増額負担を求めることなく、これまでと同様に栄養バランスや地産地消に配慮した給食の提供を行うため、市立小学校に対して食材価格の高騰分を支援した。 　７月～９月　１１円／食 　１０月～３月　１９円／食
各学校における学力向上の取組について、工夫・改善や充実を図るとともに、若手教員が効率的かつ短期間で複式指導のノウハウを習得できるようにするため、複式学習指導員を配置し、小規模校における複式授業の指導助言を行った。 また、１人１台端末環境による本格的な教育活動が展開される中、運用面での支援のみならず、指導面での支援が必要となっていることから、授業改善指導員を配置することにより、教員の指導力向上を支援するとともに、児童生徒の情報モラルを含めた情報活用能力の育成に努めた。

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
79・80		小学校アシスタント配置事業	4,207	1,050			3,157
		グローバル人材育成事業	103				103
		小学校教育用コンピュータ整備事業	53,070				53,070
		ＧＩＧＡスクール構想推進事業（小学校）	16,112	465			15,647
		萩・農下村塾事業	526				526
		萩・お宝活用プロジェクト事業	269				269
		コミュニティ・スクール推進事業	380				380
		小学校就学援助事業	17,931	864			17,067
80・81	（教育費）中学校費	中学校施設改修事業	32,117			120	31,997
		中学校ＬＥＤ照明設置事業	38,512	5,772	30,500	84	2,156

事　　業　　内　　容
新型コロナウイルス感染症の感染防止対策などに伴う教員の負担増加及び家庭数や教員の減少に伴い、校内の環境整備が実施困難となっていることから、教員業務補助員及び環境整備支援員を配置した。また、不登校など学校だけで解決することが困難な事例に対して、専門的な知見を持つスクールソーシャルワーカーを派遣した。 【歳入内訳】 ○県補助金（学校アシスタント配置事業費）１，０５０千円 ２，１００千円×１／２
生きた英会話に慣れ親しむ機会をつくり、小学生の英語への興味・関心を高め、学習意欲の向上を図った。 事業内容　イングリッシュキャンプの開催（日帰り） ＡＬＴ（外国語指導助手）を講師として、原則日本語禁止により、生きた英会話で様々な体験活動を実施した。 小学校英語教育研修会 小学校教員を対象に研修会を開催した。
教育のＩＣＴ化のために整備してきた校務用パソコンや教育系サーバシステム等関連機器の維持管理や更新を行い情報教育環境の整備を図った。
令和２年度に整備した１人１台端末の運用面の支援を行うとともに、高速通信ネットワークや端末等の維持管理を行った。また、大型提示装置などＩＣＴ教育充実のための機器の整備・更新を進め、ＩＣＴ教育の更なる環境整備を図った。 【歳入内訳】 ○国庫補助金（ＧＩＧＡスクール支援事業費）４６５千円 １，３９５千円×１／３
キャリア教育の一環として、すべての児童に米作りや野菜の栽培などの農作業を体験させることにより、豊かな人格形成を図った。
市内の人的・物的資源を有効に活用し、児童の知育・徳育の充実を図るため、文化施設（美術館・博物館）や萩・明倫学舎、ジオパーク関連施設等で体験学習を行った。
地域とともにある学校づくりを進めるとともに、地域や学校の特色をいかした教育を推進するため、全ての学校に導入されているコミュニティ・スクール（学校運営協議会）の運営に係る会議開催経費、地域住民との交流活動に要する経費等に対して補助を行った。
就学援助費 要保護児童（５人）及び準要保護児童（２７９人）に対して、学用品費、校外活動費、修学旅行費、学校給食費、医療費等を援助した。 特別支援教育就学奨励費 対象児童（６３人）に対して、学用品費、校外活動費、修学旅行費、学校給食費等を援助した。 【歳入内訳】 ○国庫補助金（特別支援教育就学奨励費）８６４千円 １，７２８千円×１／２
教育環境改善のため、計画的に中学校施設の改修工事等を行った。 萩東中学校消防設備改修工事、須佐中学校給水配管布設替工事等 【歳入内訳】 ○繰入金（中学校施設整備事業費）１２０千円　※あなたのふるさと萩応援基金
中学校の照明器具をＬＥＤ照明へ交換することにより、教育環境の改善及び省エネルギー化・長寿命化による電力使用量の削減を図った。なお、事業の一部については、令和５年度に繰り越した。

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
80・81							
		中学校施設予防保全事業	89,455	19,086	66,300		4,069
81		子育て世帯応援学校給食費助成事業	43,560				43,560
		がんばろう萩！学校給食用食材価格高騰対策事業	2,299				2,299
81・82		中学校アシスタント配置事業	1,613	700			913
		生徒支援事業	12,913	2,092			10,821
		グローバル人材育成事業	2,884				2,884

事　　業　　内　　容
設置校　三見中学校、むつみ中学校 【歳入内訳】 ○国庫補助金（中学校ＬＥＤ照明設置事業費）５，７７２千円 ２２，８６４千円×０．１／１０～１／３ ○市債（中学校ＬＥＤ照明設置事業債）３０，５００千円　※合併特例債 ○雑入（資源物売払収入）８４千円
老朽化が進む学校施設の長寿命化を図るため、予防保全を行った。 対象校　むつみ中学校、萩東中学校 事業内容　屋上及び外壁改修工事 【歳入内訳】 ○国庫補助金（中学校施設予防保全事業費）１９，０８６千円 ７５，５９４千円×０．１／１０～１／３ ○市債（中学校施設予防保全事業債）６６，３００千円　※合併特例債
子育て世帯の経済的負担を軽減し、子育て環境の充実を図るため、中学校の学校給食費を助成した。 対象者　市内に住所を有し市内中学校に通う生徒の保護者 （就学援助制度等により、給食費の負担が軽減されている生徒の保護者は対象外）
コロナ禍における原油価格・物価高騰等の影響により、食材価格が高騰したことから、保護者に学校給食費の増額負担を求めることなく、これまでと同様に栄養バランスや地産地消に配慮した給食の提供を行うため、市立中学校に対して食材価格の高騰分を支援した。 ７月～９月　１３円／食 １０月～３月　２２円／食
新型コロナウイルス感染症の感染防止対策などにより、教員の負担が増えていることから、負担を軽減するため、教員業務補助員を配置した。 【歳入内訳】 ○県補助金（学校アシスタント配置事業費）７００千円 １，４００千円×１／２
子ども相談・支援室の運営 児童生徒の不登校・いじめ等困難な問題に対応するため、ケース会議、関係機関との連絡調整及び個々の問題に対処する子ども相談・支援員を子ども相談・支援室に配置した。また、児童生徒のカウンセリングを行うスクールカウンセラー等を学校に派遣した。 萩輝きスクールの運営 いじめ、不登校等、生徒指導に係る諸問題に対応する体制を充実させるため、萩輝きスクールに教育相談員を配置し、支援が必要な家庭及び生徒を支援した。 【歳入内訳】 ○国庫補助金（子ども相談・支援員設置事業費）１，０５５千円 ２，１１０千円×１／２ ○県補助金（生徒支援事業費）１，０３７千円 １，７２９千円×３／５
グローバル化の進展により、国際共通語である英語力が求められていることから、英検の検定料補助や夏休み英語教室の開催、英語学習指導員の配置など英語教育の強化を推進し、英語力の向上を図った。 事業内容　英語学習指導員の配置

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
81・82							
		中学校教育用コンピュータ整備事業	35,790				35,790
		ＧＩＧＡスクール構想推進事業	9,866	960			8,906
		萩・農下村塾事業	413				413
		コミュニティ・スクール推進事業	480				480
		中学校就学援助事業	17,320	744			16,576
82・83	（教育費）社会教育費	未来を切り拓くひとづくり事業	5,724				5,724
		放課後子ども教室推進事業	3,542	2,360			1,182

事　　業　　内　　容
少人数指導の実施、放課後補充学習の実施 英語検定料の補助 英検３級以上を受検する生徒の検定料を１人につき１回全額補助 夏休み英語教室 夏休みにＡＬＴ及び英語学習指導員等を講師として開催
教育のＩＣＴ化のために整備してきた校務用パソコンや教育系サーバシステム等関連機器の維持管理や更新を行い情報教育環境の整備を図った。
令和２年度に整備した１人１台端末の運用面の支援を行うとともに、高速通信ネットワークや端末等の維持管理を行った。また、大型提示装置などＩＣＴ教育充実のための機器の整備・更新を進め、ＩＣＴ教育の更なる環境整備を図った。 【歳入内訳】 ○国庫補助金（ＧＩＧＡスクール支援事業費）４６５千円 １，３９５千円×１／３ ○国庫補助金（ＧＩＧＡスクール設備整備事業費）４９５千円 ９９０千円×１／２
キャリア教育の一環として、農業についての職業講話や職場体験をはじめ農作業や野菜栽培などの活動を体験させることにより、豊かな人格形成を図った。
地域とともにある学校づくりを進めるとともに、地域や学校の特色をいかした教育を推進するため、全ての学校に導入されているコミュニティ・スクール（学校運営協議会）の運営に係る会議開催経費、地域住民との交流活動に要する経費等に対して、補助を行った。
就学援助費 要保護生徒（３人）及び準要保護生徒（１５６人）に対して、学用品費、校外活動費、修学旅行費、学校給食費、医療費等を援助した。 特別支援教育就学奨励費 対象生徒（３４人）に対して、学用品費、校外活動費、修学旅行費、学校給食費等を援助した。 【歳入内訳】 ○国庫補助金（特別支援教育就学奨励費）７４４千円 １，４８８千円×１／２
萩市ひとづくり構想に基づき、新しい時代を切り拓くひとづくりの取組を推進した。 事業内容　未来を切り拓くひとづくりセミナー 各分野で活躍している一流の人から学ぶ機会を創出（１回開催） 子どもたちが外遊びや自然体験を通じて、心身ともに大きく成長するためのイベントへの補助 有志が創り上げる「萩市二十歳のつどい」実行委員会への補助 山口県教育委員会から社会教育主事（１名）の派遣受け入れ
子どもたちが放課後を安全・安心に過ごせるように、また、学習や文化芸術活動を通じて地域住民との交流を図る場所となるよう、地域住民のボランティア講師による放課後子ども教室を開催した。 開催場所　学校施設など 対象者　小学生（１～６年生） 事業内容　地域住民のボランティア講師により各種教室を開催 学びの教室、手話教室、絵画教室等 各教室に参加する子どもたちと地域住民の交流を促進

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
82・83							
		家庭教育支援基盤形成事業	432	288			144
		ひきこもり支援推進事業	3,174	1,673			1,501
83		文化財保護事業	10,315				10,315
			2,809	849			1,960
			34,381				34,381

事　　業　　内　　容
放課後児童クラブに登録している子どもたちも一緒に参加し、子どもの安全・安心に過ごせる居場所作りや学習支援を推進 【歳入内訳】 ○県補助金（放課後子ども教室推進事業費）２，３６０千円 ３，５４２千円×２／３
子育ての悩み解消を目的に保護者を対象として、学校・保育園・幼稚園の参観日及び就学時健診等を活用した子育て講座や公民館等を利用した「親学講座」等を行った。 【歳入内訳】 ○県補助金（家庭教育支援基盤形成事業費）２８８千円 ４３２千円×２／３
ひきこもりの問題を抱える当事者及びその家族への支援のため、ひきこもり専用の相談窓口の運営と様々なひきこもり支援に繋げていく、ひきこもりサポーターの派遣事業を開始した。また、青少年の居場所や活動支援として、萩ユースふれあいスペースの運営を行った。 事業内容　ひきこもり専用相談窓口の運営 ひきこもり支援者の連携会議の開催 人材育成のための研修会の開催 ひきこもりサポーターの派遣 萩ユースふれあいスペースの運営 【歳入内訳】 ○国庫補助金（ひきこもり支援推進事業費）１，６７３千円 ３，３４６千円×１／２
萩反射炉保存修理事業 国指定史跡萩反射炉は、前回の保存修理工事から４０年近くが経過し、煙突煉瓦部の劣化が進行している。平成２８・２９年度に策定した「世界文化遺産修復・公開活用計画」に基づき、保存修理工事計画を進めており、令和４年度は、引き続き煉瓦部の補修方法の検討、補修目地材の性能試験や強度試験等を実施した。また、萩反射炉への主要導線の一つである中央階段の補修をした。 事業期間　平成２２～令和９年度（予定）
恵美須ヶ鼻造船所跡保存整備事業 平成２８・２９年度に策定した「世界文化遺産修復・公開活用計画」に基づき、調査研究・保存整備を行った。 令和４年度は、遺構の保存及び活用を図る整備を行うための根拠を得るため、引き続き発掘調査を行った。 事業期間　平成２７～令和１１年度（予定） 令和４年度事業　埋蔵文化財発掘調査 【歳入内訳】 ○国庫補助金（恵美須ヶ鼻造船所跡保存整備事業費）８４９千円 １，６９８千円×１／２
萩城跡保存修理事業 老朽化が進み危険な状態である指月公園内の旧福原家書院（市有形文化財）を解体し、倉庫への部材格納を実施した。また、指月公園東側の台所門跡においては、石垣崩落防止用ネットの設置を行った。さらに外堀においては、令和３年８月の大雨でき損した法面の復旧を実施した。 事業期間　平成２３～令和２９年度（予定） 令和４年度事業　旧福原家書院解体格納工事、台所門跡石垣応急工事、外堀法面復旧工事

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
83			18,972	9,198		1,493	8,281
			527	263			264
			50,154	84		6,642	43,428

事　　業　　内　　容
見島ウシ産地再生事業 国指定天然記念物見島ウシ産地の再生を図るとともに、口蹄疫などの家畜伝染病対策のため、島外での分散飼育を委託した。また、令和２年９月に発生した台風１０号により破損した共同牛舎堆肥舎の屋根復旧修繕工事を行った。 令和４年度事業　給餌、健康診断、見島ウシ保護・振興対策委員会の開催等 【歳入内訳】 ○国庫補助金（見島ウシ産地再生事業費）６，８９９千円 １３，７９８千円×１／２ ○県補助金（見島ウシ産地再生事業費）２，２９９千円 １３，７９８千円×１／６ ○財産売払収入（市有牛売払収入）２７２千円 ○雑入（建物総合損害共済災害共済金）１，２２１千円
文化財調査事業 地中にあって確認が難しい埋蔵文化財の状態を把握するため、周知の埋蔵文化財包蔵地とその候補地について、試掘調査（部分的な発掘）を行った。また、史跡地内等で保存を目的とした遺構の確認調査を行った。 令和４年度事業　萩城遺跡ほかの試掘調査、史跡萩藩主毛利家墓所の遺構確認調査、史跡大板山たたら製鉄遺跡の遺構確認調査、史跡恵美須ヶ鼻造船所跡の遺構確認調査、史跡旧萩藩校明倫館の遺構確認調査 【歳入内訳】 ○国庫補助金（文化財調査事業費）２６３千円 ５２７千円×１／２
文化財保護修理事業 破損の著しい文化財施設等の修理・修繕等を行うことにより、文化財施設の適正な保存に努めるとともに、支障木等の伐採を行い、景観の改善を図った。 また、民間所有者が行う文化財施設等の保守・保存修理事業等に対して補助を行った。 瀧口家住宅生垣補植、瀧口家竹枝折戸補修、花江茶亭門修繕、木戸孝允旧宅表門修繕、旧野田家住宅土塀瓦補修、旧湯川家屋敷縁側修繕、国指定史跡「萩往還」木柵撤去など 文化財管理事業 文化財施設等の維持管理業務を行った。また、常駐ガイドを配置し、公開文化財施設の観光案内及び門扉の開閉等日常管理を委託した。 公開文化財等観光施設維持管理業務、機械警備保障業務、消防設備保守点検業務、樹木剪定業務、清掃業務、草刈業務など 【歳入内訳】 ○県負担金（文化財保護等関係経由事務費）３７千円 ○県補助金（文化財保護指導員設置事業費）４７千円 ９４千円×１／２ ○使用料（行政財産目的外使用料）４７千円 ○使用料（文化財施設使用料）４千円 ○使用料（文化財施設観覧料）５，７２７千円 ○財産運用収入（行政財産）１１１千円 ○財産運用収入（普通財産）７５３千円

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
83			33,275	21,647			11,628
			2,626				2,626
			785				785
			3,848				3,848
			25,075	12,537			12,538
			265				265
			556				556

事　　業　　内　　容
重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業 伝統的建造物群基盤強化事業（保存修理） 重要伝統的建造物群保存地区の歴史的風致を保全するため、伝統的建造物の保存修理に対する支援等を行った。 堀内地区　　土塀　３件 平安古地区　主屋　１件 浜崎　　主屋　２件、山門　１件 伝統的建造物群基盤強化事業（公開活用） 市が公有化した鍵曲り土塀について、適切に保存修理・整備を実施した上で、堀内地区内の他の文化財施設と連携し、一体的な利活用を図った。 事業期間　平成２８～令和８年度 令和４年度事業　堀内鍵曲り土塀東側石垣保存修理、生垣植栽 【歳入内訳】 ○国庫補助金（重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業費）２１，６４７千円 ３３，３０３千円×６．５／１０
佐々並市伝建地区文化財建造物公開活用事業 佐々並市伝建地区内の文化財建造物（旧小林家住宅）について、管理運営業務を地元団体の萩往還佐々並どうしんてやろう会に委託し、公開活用を行うとともに、イベントの企画・運営、地場産品の紹介・販売を実施し、文化財建造物の利活用を図った。
伝統的建造物群保存地区保存事業 堀内地区、平安古地区、浜崎、佐々並市の４つの国選定重要伝統的建造物群保存地区の適切な保存・活用を図るため、審議会の開催や地区住民の活動への支援を行った。
浜崎伝統的建造物群保存地区文化財建造物公開活用事業 伝統的建造物群保存地区内の文化財建造物（旧山中家住宅、旧山村家住宅、旧小池家土蔵、旧萩藩御船倉）について、管理運営業務を地元団体の浜崎しっちょる会に委託し公開活用を行った。また、伝建地区ガイドやイベント等を実施し、文化財建造物の利活用を図った。
浜崎伝建地区空き家等活用プロジェクト事業 萩市が抱える「まちなみ保全」「空き家活用」「移住定住促進」等の諸課題を解決し、今後の伝建地区におけるまちなみの保存と活用に向けたモデルとなる事業として、令和４年度は寄附を受けた伝統的建造物の改修を行うとともに、令和５年度の供用開始に向けて、コンセッション方式による民間事業者への長期運営権設定の準備を進めた。 【歳入内訳】 ○国庫補助金（浜崎伝建地区空き家等活用プロジェクト事業費）１２，５３７千円 ２５，０７４千円×１／２
高洲家文書美術工芸品保存修理事業 萩藩士であった高洲家に伝来する重要文化財（古文書）の恒久的な保存と安全な閲覧展示を目的とした保存修理事業に対して補助を行った。 事業主体　所有者 事業期間　令和４～８年度 総事業費　２，２７０千円（萩市１１．７％　国６４．９％　県１１．７％　所有者１１．７％）
大照院保存整備事業 国指定史跡萩藩主毛利家墓所の指定地内である大照院境内の湿潤状態改善のため、所有者が作成する基本計画に

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
83							
			2,692	1,346			1,346
			3,099	2,245			854
84		公民館活動・維持管理事業	36,705			6,149	30,556
		公民館・コミュニティ施設改修事業	6,842		2,000		4,842

事　　業　　内　　容
基づき、庭園池の浚渫、水路整備等の環境整備を行う予定としており、令和４年度は、それらの環境整備を行うための基本設計の費用に対して補助を行った。 事業主体　宗教法人大照院 事業期間　令和３～７年度（予定） 令和３年度繰越事業　３，３３７千円（萩市１／６　国１／２　県１／６　所有者１／６）
大板山たたら製鉄遺跡保存整備事業 平成２８・２９年度に策定した「世界文化遺産修復・公開活用計画」に基づき、遺構等の確実な保全と史跡の理解増進を図る整備を進めた。令和４年度は、史跡大板山たたら製鉄遺跡整備基本設計に基づき、年々深刻化する史跡内での獣による掘削被害に対処するため、獣害防止柵設置に係る実施設計を行った。 事業期間　令和４～１１年度（予定） 【歳入内訳】 ○国庫補助金（大板山たたら製鉄遺跡保存整備事業費）１，３４６千円 ２，６９２千円×１／２
萩市文化財保存活用地域計画策定事業 地域の歴史や文化財を総合的・一体的に保存・活用することにより、特徴をいかした地域振興及び確実な文化財の継承等につなげることを目的として、住民、民間団体、有識者などで構成する協議会を設置し、萩市文化財保存活用地域計画の策定を進めた。 事業期間　令和４～５年度 【歳入内訳】 ○国庫補助金（文化財保存活用地域計画策定事業費）２，２４５千円
各種学級や講座等を開設し、市民に学習の場や機会を提供した。 婦人学級・高齢者教室・教養講座等を開催 各公民館活動（全１６公民館）、社会教育関係団体への活動支援、施設維持を行った。 【歳入内訳】 ○使用料（行政財産目的外使用料）６６千円 ○使用料（公民館使用料）２６７千円 ○使用料（コミュニティ施設使用料）８９６千円 ○財産運用収入（行政財産）１，３８１千円 ○基金繰入金（公民館施設設備整備事業費）６千円　※あなたのふるさと萩応援基金 ○雑入（複写機使用料）９０千円 ○雑入（各講座・教室受講料）８３５千円 ○雑入（自動販売機電気代負担金）４３６千円 ○雑入（コミュニティ施設光熱水費等負担金）７９２千円 ○雑入（公民館光熱水費等負担金）６０千円 ○雑入（建物総合侵害共済災害共済金）１，３２０千円
公民館・コミュニティ施設の延命化を図るため、施設の改修等を行った。 大井公民館　下水道接続替工事 田万川コミュニティセンター　和室段差解消工事 須佐公民館　屋上手摺改修工事 弥富交流促進センター　便器洋式化改修工事 旭マルチメディアセンター　玄関庇防水シート改修工事

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
84							
		公民館等ＬＥＤ照明設置事業	36,785		36,400	78	307
85		博物館調査研究事業	360			100	260
		博物館教育普及事業	820			23	797
		萩博物館特別展等開催事業	21,341				21,341

事　　業　　内　　容
福栄コミュニティセンター　ロビー網戸設置工事 福栄農業担い手育成センター　高圧受変電設備改修工事 【歳入内訳】 ○市債（公民館等改修事業債）２，０００千円　※過疎債・辺地債
照明器具をＬＥＤ照明へ交換することにより、コミュニティ施設等の環境の改善を図り、省エネルギー化・長寿命化による費用の削減を図った。 むつみコミュニティセンター　監理業務・ＬＥＤ設置工事 むつみ農村環境改善センター　監理業務・ＬＥＤ設置工事 【歳入内訳】 ○市債（公民館等ＬＥＤ照明設置事業債）３６，４００千円　※過疎債・合併特例債 ○雑入（資源物売払収入）７８千円
萩の自然・歴史・民俗等に関する調査研究を行うとともに、研究報告書を刊行し、調査研究成果を発表した。 【歳入内訳】 ○雑入（研究報告書等売払収入）１００千円
古文書講座（年１０回）と天体観測及び天文講座（月４回）を開催した。また、史都萩を愛する会への補助（例会の開催、会報誌の発行）を行った。 【歳入内訳】 ○雑入（各講座・教室受講料）２３千円
特別展及び企画展等を開催した。令和４年度は特別展を２回・企画展を２回、常設展内の展示替えを５回実施した。令和３年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、新たにオンラインイベントなどにも取り組み、市内外からの来館・観覧を促進した。 事業主体　萩博物館特別展・企画展開催実行委員会 夏期特別展「めざせ！貝のトレジャー王国」 令和４年７月９日（土）～９月１８日（日） ※会期中無休 ※台風接近のため、９月１９日（月・祝）は休館。当初の予定より１日早く閉幕した。 市内コレクターからの寄贈標本や県内有数の館蔵資料から、日本をはじめとする世界の貝、さらには萩ゆかりの珍種・新種・天然記念物など計２千種をドラマチックに紹介した。また、貝のバラエティーと、それをコレクションすることの楽しさを通じ、市内外の親子が郷土の自然との未来を描く機会を創出した。 秋期特別展「江戸時代の地図　古地図で探ろう、ふる里や国の姿・形」 令和４年１０月１日（土）～１２月１１日（日） ※会期中無休 江戸時代に作成された古地図を中心に紹介した。観光客・市民に、故郷や国の姿形を思い思いに見てもらうことによって地図を見ることの楽しさ、故郷の変わりゆく姿、変わらぬ姿を発見してもらった。展示内容は萩・明倫学舎の幕末ミュージアムとリンクさせ、連携した話題作りや広報・集客を行った。また、萩博物館収蔵資料を使用することにより、外部からの資料借用の必要なく開催した。 冬期企画展「ヒストリカル・スターズ」 令和４年１２月２４日（土）～令和５年３月５日（日） ※毎週水曜、１２月３０日（金）～１月１日（日）、１月２５日（水）～１月２７日（金）休館 平成１８年以来２度目の天文系展示会を開催し、過去の人々と星との関りを萩博物館所蔵の歴史資料を駆使して紹介した。萩から見た歴史上の天文現象を再現した動画の上映をしたほか、謎解きワークを展開し、市

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
85							
		萩博物館賑わい創出事業	6,975	3,486			3,489
85・86		阿武川歴史民俗資料館運営事業	2,185			29	2,156
		須佐歴史民俗資料館運営事業	6,717			138	6,579
86		図書館管理運営事業	104,113			2,328	101,785

事　　業　　内　　容
内及び近隣の親子、帰省家族などの誘客を図った。また、展示観覧後の天体観望室の利用も促進した。 春期企画展「古写真で見る幕末明治　海外渡航者編」 令和５年３月１８日（土）～６月１８日（日） ※毎週水曜、６月１４日（水）～６月１６日（金）休館 「長州ファイブ」が英国に密航して１６０年が経過したことを機に、萩博物館所蔵の千点以上の古写真から、海外へ渡航した人々、彼らが海外で出会った人々、彼らが目にした風景・建物等に関するものを紹介し、観光客や市民が再び歴史に学ぶ機会を創出した。また「長州ファイブ」を通じて展示内容を萩・明倫学舎ビジターセンターとリンクさせ、連携して話題作りや広報、集客を行った。
萩まちじゅう博物館の拠点である萩博物館において、展示資料を分かりやすく解説するための環境整備として大型展示映像設備の設置、公衆無線ＬＡＮ（Ｗｉ-Ｆｉ）環境の整備を行った。 【歳入内訳】 ○国庫補助金（萩博物館賑わい創出事業費）３，４８６千円 ６，９７２千円×１／２
阿武川ダムの建設により水没した阿武川地域の、生活文化に関する資料の収集・保存・活用を図る施設の管理運営を行った。 【歳入内訳】 ○使用料（歴史民俗資料館使用料）２６千円 ○雑入（刊行物売払収入）３千円
須佐地域の歴史・文化・民俗に関する資料の収集・保存・活用を図り、文化財保護の意識と理解を深め、もって住民の文化の向上に資するため、施設の管理運営を行った。また、益田家やその家臣に関する調査・研究、テーマ展の開催、児童生徒や地域住民への講座等によるふるさと学習を推進した。 テーマ展「夏の彩り　～近世と益田家の花火～」 令和４年８月１１日（木・祝）～１０月１０日（月・祝） 近世の益田家においては、主君毛利家に花火を見せ、食事を提供しておもてなしをした、という饗応の記録が残されている。また、須佐地域では現代でも盛大な花火大会が実施され、地域住民にとって馴染み深いものである。本展示では、益田家の花火を取り上げ、現代の花火と比較しながら近世の花火がどのようなものであったかを示す史料の展示を行った。 【歳入内訳】 ○使用料（歴史民俗資料館使用料）１１６千円 ○雑入（刊行物売払収入）２２千円
図書館は、市民の生涯学習の中核施設であるとともに多くの市民が集う知の拠点であることから、情報拠点としての役割を果たすとともに暮らしに役立つ図書館づくりをＮＰＯ法人との協働運営により推進した。またコロナ禍においても利用が可能な電子図書館の利用を推進していくとともに、子どもを対象とした行事や幅広い年齢層に向けた歴史講座等も開催するなどの読書啓発活動を行い、新たな利用者層を開拓した。 郷土史・維新史レファレンス（調査・相談）専門員制度の推進 専門員を配置し、利用者の学習や調査研究を支援するサービスを実施した。 読書通帳の普及 借りた本のタイトル等を通帳に記録することで、読書意欲の向上を図った。 電子図書館利用者の拡大 電子書籍を充実させるとともに利用者拡大に取り組んだ。 ハローブックセットの配布

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
86							
		図書館資料整備事業	14,877			4,660	10,217
		移動図書館運営事業	526				526
		図書館システム更新事業	30,494				30,494
		萩・須佐図書館ＬＥＤ照明設置事業	7,876		7,800		76
		視覚障がい者等の読書環境整備事業	1,189				1,189
86・87		世界文化遺産推進事業	3,387			23	3,364

事　　業　　内　　容
子どもの読書啓発のため、ハローブックセット（「０、１歳におすすめの絵本」リスト、図書館利用案内等４点）を配布した。 各種行事の開催 ＮＰＯ法人との協働により、図書館まつり等多彩な行事を開催した。 【歳入内訳】 ○使用料（行政財産目的外使用料）３２２千円 ○財産運用収入（行政財産）１，５５３千円 ○雑入（複写機使用料）３９千円 ○雑入（公衆電話手数料）２千円 ○雑入（自動販売機電気代負担金）９７千円 ○雑入（図書館貸出カード発行手数料）４６千円 ○雑入（図書館光熱水費等負担金）２５４千円 ○雑入（読書通帳発行手数料）１５千円
成人・児童向け図書、移動図書館積載図書、逐次刊行物、視聴覚資料、電子書籍の購入及び図書館資料の整理・保存を行った。 令和４年度購入実績　　４，８４８点（萩図書館・須佐図書館・明木図書館） 令和４年度末所蔵数　２９０，２２１点（萩図書館・須佐図書館・明木図書館） 【歳入内訳】 ○雑入（図書館運営事業協力金）４，６６０千円　※阿武町分
生涯学習の一環として、公共施設や学校・保育園などへ移動図書館を運行し、図書館がない地域の子どもたちや市民の身近に本を届けた。 令和４年度利用実績 萩（わくわく号）　５２箇所　９，３２５人　　須佐（まなぼう号）　１１箇所　１，１３９人
図書館システムサーバーの保守期限満了に伴い、図書館（萩、須佐、明木）のシステムサーバー等の更新を行った。 事業内容　図書館システムサーバーの更新 業務用パソコン等の購入
照明器具をＬＥＤ照明へ交換することにより、図書館環境の改善を図り、省エネルギー化・長寿命化による費用の削減を図った。 設置場所　萩図書館、須佐図書館 事業内容　萩図書館　設備設計業務委託 須佐図書館　設備設計監理業務委託、ＬＥＤ照明設置工事 【歳入内訳】 ○市債（図書館ＬＥＤ照明設置事業債）７，８００千円　※過疎債
視覚障がいによって読書が困難な方の読書環境の充実やサービスの向上を図るため、書籍の購入や音声パソコンを更新した。 事業内容　点字図書、拡大図書、ＬＬブック、オーディオブックの購入（３４１点） 視覚障がい者支援用パソコンの購入（１台）
８県１１市で構成する世界遺産協議会や内閣官房と協力してユネスコからの勧告の対応を行うとともに、定期報告への対応や産業遺産全体の理解増進、管理保全の充実等を行い、また萩市世界遺産活用推進協議会と連携して市内の５つの構成資産の位置付けについての理解増進及び活用の推進に努めた。 世界遺産協議会負担金

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
86・87							
87	（教育費）保健体育費	スポーツ大会等開催事業	3,104				3,104
		スポーツ振興補助事業	12,225	750		1,000	10,475
		スポーツ合宿誘致推進事業	88				88
87・88		体育施設運営事業	47,800			8,807	38,993

事　　業　　内　　容
総会・幹事会等の開催、世界遺産委員会決議（勧告事項）への対応、ホームページ管理、国内外に向けた広報活動、定期報告への対応、管理保全に係る人材育成など 萩市世界遺産活用推進協議会負担金 ＳＮＳ投稿キャンペーン、スタンプラリー、清掃活動、絵画募集・展示、認定商品によるＰＲ、ガイド養成セミナーの開催など 【歳入内訳】 ○雑入（英語版ブックレット売払収入）２３千円
市が主催するスポーツ大会やスポーツ教室を開催した。 大会種目　高校野球、ソフトボール、バレーボール、ソフトバレー 教室種目　バドミントン、卓球、弓道、カヌー
萩市体育協会及び各種スポーツ団体等との協働により開催される各種スポーツ大会を支援した。また、全国大会や国民体育大会等に出場する選手に対して旅費等の一部を補助した。 市が大会実行委員会等に補助金を支出して支援した主な大会 山口県ビーチバレーｉｎ萩大会 実施日　令和４年７月１７日（日）、２４日（日） ２０２２カヌージャパンカップ 実施日　令和４年８月２８日（日） 日隈翁記念萩近郷柔道大会 実施日　令和４年１１月１９日（土） 維新の里　萩城下町マラソン２０２２ 実施日　令和４年１２月１１日（日） 第７２回　萩市駅伝競走大会 実施日　令和５年１月１５日（日） 萩往還ワンデーウオーク２０２３ 実施日　令和５年３月１１日（土） 【歳入内訳】 ○県補助金（カヌージャパンカップ大会開催支援事業費）７５０千円 １，５００千円×１／２ ○基金繰入金（スポーツ大会開催補助事業費）１，０００千円　※あなたのふるさと萩応援基金
スポーツによる交流人口の拡大及び地域活性化を目指すため、スポーツ合宿の誘致に取り組み、合宿を通して、萩市内の生徒、学生、指導者との交流を行った。 補助額　１団体８０千円（上限） 実績　８８千円（３件）
各種体育施設の管理運営を行った。 萩地域　　体育館　３、ナイター施設　３、テニスコート　１、相撲場　１ 川上地域　　体育館　１、グラウンド　１ 田万川地域　体育館　１、グラウンド　１ むつみ地域　体育館　１、グラウンド　２、プール　１ 須佐地域　　体育館　２、グラウンド　２ 旭地域　　体育館　１、グラウンド　２ 福栄地域　　体育館　２、グラウンド　２

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
87・88							
		萩ウェルネスパーク管理運営事業	55,695	33,510		2,927	19,258
		社会体育施設改修事業	56,916		26,400	1,825	28,691
88	（災害復旧費）農林水産施設災害復旧費	農業施設災害復旧事業	65,372	38,609	17,200	154	9,409

事　　業　　内　　容
【歳入内訳】 ○使用料（体育施設使用料）７，４００千円 ○財産運用収入（行政財産）１，０５３千円 ○雑入（複写機使用料）４千円 ○雑入（電話使用料）２千円 ○雑入（自動販売機電気代負担金）３４８千円
県からの指定管理を受けて、萩ウェルネスパークの管理運営を行った。 萩スタジアム（センター１２２ｍ　両翼１００ｍ）　１万５千人収容可能 萩武道館（多目的体育館）　アリーナ・弓道場（近的・遠的） 萩スポーツ広場（多目的広場）　陸上競技場外、各種競技場として使用可能 夏みかんランド（大型複合遊具） 駐車場　５５６台駐車可能（普通車　５１７台・バス　５台・おもいやり駐車場　３４台） 【歳入内訳】 ○県委託金（萩ウェルネスパーク管理費）３３，５１０千円 ○雑入（自動販売機電気代負担金）４４０千円 ○雑入（自動販売機販売手数料）５２８千円 ○雑入（萩ウェルネスパーク施設使用料）１，９５９千円
利用者の利便性・安全性の向上及び施設の延命化を図るため、社会体育施設の維持補修を行った。なお、事業費の一部については、令和５年度に繰り越した。 萩市民体育館浄化槽清掃等業務委託、萩市民体育館売店グリーストラップ設置業務委託、萩市民体育館屋根改修工事、萩市民体育館下水接続工事、萩市民体育館浄化槽解体工事、萩市民体育館受変電設備改修工事、堀内体育館解体工事、木間体育館消防設備改修工事、福栄体育館消防設備修繕工事、福栄グラウンド階段手摺設置工事、各地域体育施設修繕 【歳入内訳】 ○市債（社会体育施設改修事業債）２６，４００千円　※過疎債 ○雑入（資源物売払収入）１，８２５千円
豪雨により被災した農地及び農業施設の災害復旧を実施した。なお、事業費の一部については、令和５年度に繰り越した。 令和３年度繰越事業（令和３年８月１２日から１５日までの豪雨） 萩地域 補助災害復旧工事　水路１箇所 単独災害復旧工事　農道１箇所 むつみ地域 補助災害復旧工事　農地１箇所、水路１箇所 須佐地域 補助災害復旧工事　農地２箇所、水路１箇所 旭地域 補助災害復旧工事　農地１箇所 福栄地域 補助災害復旧工事　農地１箇所 令和４年度事業

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
88							
88・89		林業施設災害復旧事業	8,268	2,955	4,100		1,213
89	（災害復旧費） 土木施設災害復旧費	土木施設災害復旧事業	210,673	113,114	67,200		30,359

事　　業　　内　　容
萩地域 補助災害復旧工事　農道１箇所（令和２年７月６日から１４日までの豪雨） むつみ地域 補助災害復旧工事　農地１箇所、水路１箇所（令和４年８月１６日から１７日までの豪雨） 測量設計業務委託 土砂流入被害復旧事業補助金　２件（単独） 【歳入内訳】 ○県補助金（農業施設災害復旧事業費）３８，６０９千円 ５５，５０３千円×１／２～９．８９／１０ ○市債（農業施設災害復旧事業債）１７，２００千円　※災害復旧債 ○分担金（農業施設災害復旧事業分担金）１５４千円
豪雨により被災した林道の災害復旧を実施した。なお、事業費の一部については、令和５年度に繰り越した。 令和３年度繰越事業（令和３年８月１２日から１５日までの豪雨） 福栄地域 補助災害復旧工事　林道２箇所 令和４年度事業 測量設計業務委託 【歳入内訳】 ○県補助金（林業施設災害復旧事業費）２，９５５千円 ５，１７０千円×１／２～６．５／１０ ○市債（林業施設災害復旧事業債）４，１００千円　※災害復旧債
豪雨により被災した公共土木施設の災害復旧を行った。なお、事業費の一部については、令和５年度に繰り越した。 令和３年度繰越事業（令和３年８月１１日から２６日まで及び９月１日から６日までの豪雨） 萩地域 補助災害復旧工事　道路１箇所 単独災害復旧工事　道路１箇所　河川１箇所 田万川地域 補助災害復旧工事　道路１箇所 単独災害復旧工事　河川３箇所 むつみ地域 単独災害復旧工事　道路１箇所 須佐地域 補助災害復旧工事　道路２箇所　河川１箇所 単独災害復旧工事　河川１箇所 旭地域 補助災害復旧工事　道路４箇所　河川３箇所 単独災害復旧工事　道路１箇所　河川３箇所 福栄地域 単独災害復旧工事　道路１箇所 令和４年度事業（令和４年７月１８日から２０日まで及び８月２０日から２２日までの豪雨並びに９月１８日から１９日までの台風１４号）

５．主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
89							
		公園施設災害復旧事業	5,060		5,000		60

事　　業　　内　　容
川上地域 補助災害復旧工事　道路１箇所 応急復旧工事　道路２箇所 田万川地域 補助災害復旧工事　道路１箇所 むつみ地域 応急復旧工事　道路１箇所 須佐地域 補助災害復旧工事　河川２箇所 旭地域 補助災害復旧工事　道路１箇所　河川３箇所 防護柵設置工事　１箇所 福栄地域 補助災害復旧工事　道路１箇所 応急復旧工事　道路３箇所 ○国庫負担金（土木施設災害復旧事業費）９６，５４５千円 １４４，７４６千円×６．６７／１０ ○国庫補助金（土木施設災害復旧事業費）１６，５６９千円 ３３，１３９千円×１／２ ○市債（土木施設災害復旧事業債）６７，２００千円　※災害復旧債
令和３年９月１４日から１５日までの降雨により被災した公園施設の災害復旧を行った。 陶芸の村公園　１箇所 【歳入内訳】 ○市債（公園施設災害復旧事業債）５，０００千円　※緊急自然災害防止対策債

６．公債費の状況

公債費の令和４年度における償還状況は、次のとおりである。

第１表　市債目的別　　（単位：千円）

区分	令和３年度末残高 (A)	令和４年度発行額 (B)	令和４年度償還額 元金 (C)	令和４年度償還額 利子	令和４年度償還額 計	令和４年度末残高 (A)+(B)−(C)
1. 普通債	16,949,686	1,742,200	2,121,367	71,795	2,193,162	16,570,519
(1) 総務	1,291,027	170,300	187,526	3,158	190,684	1,273,801
(2) 民生	1,705,900	27,400	124,088	3,209	127,297	1,609,212
(3) 衛生	1,014,315	0	138,378	11,072	149,450	875,937
(4) 農林水産業	588,570	29,300	70,454	8,037	78,491	547,416
(5) 商工	127,686	13,800	13,561	269	13,830	127,925
(6) 土木	2,262,198	57,900	380,649	14,587	395,236	1,939,449
(7) 消防	316,931	182,200	109,141	1,821	110,962	389,990
(8) 教育	3,878,151	117,500	507,696	21,002	528,698	3,487,955
(9) 辺地	615,039	98,600	124,226	912	125,138	589,413
(10) 過疎	5,149,869	1,045,200	465,648	7,728	473,376	5,729,421
2. 災害復旧債	644,736	88,500	127,524	1,387	128,911	605,712
(1) 補助	304,453	74,000	77,095	473	77,568	301,358
(2) 単独	340,283	14,500	50,429	914	51,343	304,354
3. その他	6,340,605	189,900	889,080	16,778	905,858	5,641,425
(1) 財源対策	405,796	0	108,131	5,543	113,674	297,665
(2) 減税補てん	53,348	0	18,875	89	18,964	34,473
(3) 臨時財政対策	5,824,161	189,900	759,058	11,112	770,170	5,255,003
(4) 減収補塡	57,300	0	3,016	34	3,050	54,284
合計	23,935,027	2,020,600	3,137,971	89,960	3,227,931	22,817,656

第２表　市債借入先別　　（単位：千円）

借入先	令和３年度末残高 (A)	令和４年度発行額 (B)	令和４年度償還額 (C)	令和４年度末残高 (A)+(B)-(C)	左の利率別内訳			
					1.0%以下	2.0%以下	5.0%以下	5.0%超
1. 財政融資資金	11,284,627	1,021,200	1,479,814	10,826,013	9,743,295	996,563	86,155	0
2. かんぽ生命保険	998,499	0	219,280	779,219	226,480	521,951	30,788	0
3. ゆうちょ銀行	49,366	0	14,893	34,473	34,473	0	0	0
4. 地方公共団体金融機構	698,065	211,500	122,628	786,937	542,538	221,959	22,440	0
5. 日本政策金融公庫	406,366	0	38,825	367,541	18,100	305,067	43,108	1,266
6. 山口銀行	4,726,516	234,500	706,484	4,254,532	4,254,532	0	0	0
7. 西京銀行	1,330,350	368,800	111,709	1,587,441	1,587,441	0	0	0
8. 萩山口信用金庫	2,581,705	67,100	248,615	2,400,190	2,400,190	0	0	0
9. 山口県農業協同組合	671,414	0	69,843	601,571	601,571	0	0	0
10. 山口県漁業協同組合	181,380	0	16,410	164,970	164,970	0	0	0
11. 山口県市町村振興協会	1,003,142	117,500	107,708	1,012,934	1,012,934	0	0	0
12. 山口県	3,597	0	1,762	1,835	1,835	0	0	0
合計	23,935,027	2,020,600	3,137,971	22,817,656	20,588,359	2,045,540	182,491	1,266

7．市税の状況

（単位：千円）

区分＼年度		令和4年度 調定額	令和4年度 決算額(A)	令和4年度 収納率(%)	令和3年度 調定額	令和3年度 決算額(B)	令和3年度 収納率(%)	増減 (A)－(B)
市民税	個人均等割	75,782	75,067	99.1	76,747	76,018	99.1	△ 951
	個人所得割	1,661,985	1,648,170	99.2	1,669,952	1,655,457	99.1	△ 7,287
	個人滞納繰越分	49,439	16,065	32.5	56,136	16,176	28.8	△ 111
	小計	1,787,206	1,739,302	97.3	1,802,835	1,747,651	96.9	△ 8,349
	法人均等割	123,267	122,245	99.2	124,606	124,264	99.7	△ 2,019
	法人税割	113,790	113,691	99.9	129,960	129,891	99.9	△ 16,200
	法人滞納繰越分	1,708	1,235	72.3	4,076	1,736	42.6	△ 501
	小計	238,765	237,171	99.3	258,642	255,891	98.9	△ 18,720
	計	2,025,971	1,976,473	97.6	2,061,477	2,003,542	97.2	△ 27,069
固定資産税	土地	659,337	652,702	99.0	671,844	666,153	99.2	△ 13,451
	家屋	1,049,599	1,039,037	99.0	944,349	936,350	99.2	102,687
	償却資産	583,143	577,275	99.0	583,059	578,121	99.2	△ 846
	滞納繰越分	72,403	22,344	30.9	334,949	95,898	28.6	△ 73,554
	交付金	63,412	63,412	100.0	62,619	62,619	100.0	793
	計	2,427,894	2,354,770	97.0	2,596,820	2,339,141	90.1	15,629
軽自動車税	環境性能割	10,380	10,380	100.0	7,070	7,070	100.0	3,310
	種別割現年課税分	164,297	162,736	99.0	162,883	161,015	98.9	1,721
	種別割滞納繰越分	2,778	1,037	37.3	1,917	814	42.5	223
	旧法による滞納繰越分	2,945	565	19.2	4,558	925	20.3	△ 360
	計	180,400	174,718	96.9	176,428	169,824	96.3	4,894
市たばこ税	現年課税分	280,256	280,256	100.0	270,705	270,705	100.0	9,551
入湯税	現年課税分	26,626	26,626	100.0	19,520	19,520	100.0	7,106
	滞納繰越分	0	0	－	176	176	100.0	△ 176
	計	26,626	26,626	100.0	19,696	19,696	100.0	6,930
都市計画税	現年課税分	308,932	305,823	99.0	290,376	287,917	99.2	17,906
	滞納繰越分	10,455	3,226	30.9	49,816	14,262	28.6	△ 11,036
	計	319,387	309,049	96.8	340,192	302,179	88.8	6,870
合計	現年課税分	5,120,806	5,077,420	99.2	5,013,690	4,975,100	99.2	102,320
	滞納繰越分	139,728	44,472	31.8	451,628	129,987	28.8	△ 85,515
市税合計		5,260,534	5,121,892	97.4	5,465,318	5,105,087	93.4	16,805

８．引上げ分の地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる社会保障４経費その他社会保障施策に要する経費

（歳入）地方消費税交付金（社会保障財源分）　593,113 千円

（歳出）社会保障４経費及びその他の社会保障施策に要する経費　11,018,636 千円

うち一般財源　6,552,441 千円

【社会保障４経費及びその他の社会保障施策に要する経費】

（単位：千円）

区分		事業費	財源内訳			
			特定財源			一般財源
			国県支出金	地方債	その他	
社会福祉	社会福祉費	821,112	619,453		8,314	193,345
	障害者福祉費	1,833,011	1,135,961	1,800	79,758	615,492
	老人福祉費	1,247,949	1,547	63,000	44,124	1,139,278
	児童福祉費	2,388,307	1,009,465	109,500	99,496	1,169,846
	生活保護費	721,853	482,732		2,528	236,593
	小計	7,012,232	3,249,158	174,300	234,220	3,354,554
社会保険	国民健康保険事業（事業勘定）特別会計繰出金事業費	539,304	239,568			299,736
	後期高齢者医療事業特別会計繰出金事業費	306,183	199,303		7,983	98,897
	介護保険事業特別会計繰出金事業費	1,057,569	59,310			998,259
	小計	1,903,056	498,181		7,983	1,396,892
保健衛生	保健衛生総務費	1,585,230	22		1,235	1,583,973
	予防費	412,122	237,707		3,814	170,601
	保健センター費	9,460			37	9,423
	医療対策費	96,536	618	58,400	520	36,998
	小計	2,103,348	238,347	58,400	5,606	1,800,995
合計		11,018,636	3,985,686	232,700	247,809	6,552,441

９．入湯税の使途状況

（歳入）入湯税　　26,626 千円

（歳出）入湯税充当事業に要する経費　　293,336 千円

うち一般財源　　144,355 千円

【入湯税使途状況】

（単位：千円）

区分		事業費	財源内訳				
			特定財源			一般財源	
			国県支出金	地方債	その他	入湯税	その他
観光振興	観光客誘致宣伝事業	97,130	1,296	26,900	6,536	19,631	42,767
	小計	97,130	1,296	26,900	6,536	19,631	42,767
観光施設の整備	観光施設維持管理及び施設整備事業	133,399	373	38,400	17,412	2,252	74,962
	観光案内所整備事業	47,474	14,954	31,700		820	
	観光施設改修事業	14,296		11,400		2,896	
	小計	195,169	15,327	81,500	17,412	5,968	74,962
基金の積立て	萩市温泉振興基金	1,037			10	1,027	
	小計	1,037			10	1,027	
合計		293,336	16,623	108,400	23,958	26,626	117,729

第３　各種特別会計について

１．萩市土地取得事業特別会計

Ａ表　予算の執行状況

（単位：円）

区　　分	当初予算額	最終予算額	決　算　額	執行率
歳　　入	800,000	800,000	514,558	64.32%
歳　　出	800,000	800,000	514,558	64.32%

Ｂ表　前年度決算額との比較

（単位：円）

区　　分	令和４年度(a)	令和３年度(b)	(a)　－　(b)
歳　　入	514,558	665,421	△ 150,863
歳　　出	514,558	665,421	△ 150,863
差　　引	0	0	0

決算概況

本年度の決算額は、歳入歳出ともに514,558円で、歳入の内訳は、財産貸付収入195,460円、利子及び配当金319,098円、歳出は土地開発基金積立金514,558円となりました。

主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
98	（土地取得事業費） 土地取得事業費	土地開発基金管理事業	515			515	

事　　業　　内　　容
土地開発基金の運用収入（土地貸付収入及び土地開発基金利子）を基金に積み立てた。 【歳入内訳】 ○財産運用収入（土地貸付収入）１９６千円 ○財産運用収入（土地開発基金利子）３１９千円

２．萩市国民健康保険事業（事業勘定）特別会計

Ａ表　予算の執行状況

（単位：円）

区　　分	当初予算額	最終予算額	決　算　額	執　行　率
歳　　入	6,696,500,000	6,844,761,000	6,612,525,820	96.61%
歳　　出	6,696,500,000	6,844,761,000	6,610,669,820	96.58%

Ｂ表　前年度決算額との比較

（単位：円）

区　　分	令和４年度(a)	令和３年度(b)	(a)　－　(b)
歳　　入	6,612,525,820	6,714,204,284	△ 101,678,464
歳　　出	6,610,669,820	6,710,966,284	△ 100,296,464
差　　引	1,856,000	3,238,000	△ 1,382,000

Ｃ表　国庫負担金、補助金の交付状況

（単位：円）

区　　分	令和４年度	令和３年度
国民健康保険災害等臨時特例補助金	－	3,299,000

Ｄ表　県負担金、補助金の交付状況

（単位：円）

区　　分	令和４年度	令和３年度
保険給付費等交付金（普通交付金）	4,865,562,357	4,831,270,523
保険給付費等交付金（特別交付金のうち保険者努力支援交付金分）	26,348,000	24,069,000
保険給付費等交付金（特別交付金のうち特別調整交付金分）	110,556,000	110,267,000
保険給付費等交付金（特別交付金のうち都道府県繰入金分）	129,266,000	94,858,000
保険給付費等交付金（特別交付金のうち特定健康診査等負担金分）	9,878,000	8,584,000
保険給付費等交付金（特別交付金のうち特定健康診査等負担金分）（前年度精算に伴う追加交付分）	2,450,000	2,394,000
計	5,144,060,357	5,071,442,523

Ｅ表　保険料の収納状況

（単位：円）

区　分	調　定　額	収　納　額	還付未済額	不納欠損額	未　納　額	収納率
現年度分	841,404,880	812,916,910	76,560	2,550	28,561,980	96.61%
滞納繰越分	86,492,040	33,400,286	0	16,069,989	37,021,765	38.62%
計	927,896,920	846,317,196	76,560	16,072,539	65,583,745	91.20%

Ｆ表　療養給付費支出状況

（単位：千円）

区分	令和４年度 月別支払額	令和３年度 月別支払額	前年度比
５月	358,851	365,375	98.21%
６月	325,060	351,602	92.45%
７月	359,385	333,109	107.89%
８月	350,584	355,058	98.74%
９月	353,002	338,018	104.43%
１０月	323,956	325,876	99.41%
１１月	328,058	374,465	87.61%
１２月	377,991	363,224	104.07%
１月	381,348	359,878	105.97%
２月	342,060	347,260	98.50%
３月	330,495	326,382	101.26%
４月	317,360	307,614	103.17%
計	4,148,150	4,147,861	100.01%

Ｇ表　療養費支出状況

（単位：千円）

区　分	令和４年度	令和３年度	前年度比
	月別支払額	月別支払額	
４月	1,404	1,664	84.38%
５月	2,110	1,966	107.32%
６月	1,653	1,693	97.64%
７月	1,984	1,368	145.03%
８月	1,854	2,559	72.45%
９月	2,339	1,955	119.64%
１０月	2,022	1,680	120.36%
１１月	1,509	1,849	81.61%
１２月	1,772	1,902	93.17%
１月	1,598	1,950	81.95%
２月	1,817	2,002	90.76%
３月	1,446	2,027	71.34%
計	21,508	22,615	95.11%

Ｈ表　その他保険給付費支出状況

（単位：千円）

区　分	出産育児一時金月別支払額		葬祭費月別支払額	
	令和４年度	令和３年度	令和４年度	令和３年度
４月	420	0	0	0
５月	0	70	240	200
６月	420	0	360	560
７月	420	840	480	280
８月	0	404	360	480
９月	840	0	400	280
１０月	0	420	360	400
１１月	0	432	280	200
１２月	420	828	560	320
１月	840	420	240	240
２月	0	420	400	480
３月	732	840	400	320
４月	0	420	600	480
計	4,092	5,094	4,680	4,240

Ⅰ表　療養給付費年次別支出状況

（単位：千円）

区分 / 年度	支払額	月平均支払額
令和４年度	4,148,150	345,679
令和３年度	4,147,861	345,655

決算概況

本年度の決算額は、歳入6,612,525,820円、歳出6,610,669,820円となり、1,856,000円を翌年度に繰り越しました。

歳入については、保険料846,317,196円、県支出金5,144,060,357円、一般会計繰入金539,304,228円及びその他の収入21,147,624円、また、61,696,415円を基金から繰入れ、合計6,612,525,820円となりました。

歳出については、総務費113,421,146円、保険給付費4,875,685,453円、事業費納付金1,445,028,038円、保健事業費81,318,734円及びその他の支出95,216,449円で合計6,610,669,820円となりました。

主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
110	（総務費）総務管理費	国民健康保険（給付）電算化事業	3,202	165			3,037
113	（国民健康保険事業費納付金）医療給付費分	一般被保険者医療給付費分納付金事業	1,035,718				1,035,718
		退職被保険者等医療給付費分納付金事業	144				144
114	（国民健康保険事業費納付金）後期高齢者支援金等分	一般被保険者後期高齢者支援金等分納付金事業	317,816				317,816
		退職被保険者等後期高齢者支援金等分納付金事業	53				53
114	（国民健康保険事業費納付金）介護納付金分	介護納付金分納付金事業	91,297				91,297
114・115	（保健事業費）特定健康診査等事業費	特定健康診査等事業	44,750	44,750			
115	（保健事業費）保健事業費	保健衛生普及事業	7,552	7,552			

事　　業　　内　　容
国民健康保険電算システム保守業務等 　総合行政システム等に係る保守料・使用料の経費を支出した。 国民健康保険システム改修業務 　未就学児均等割保険料の均等割額減額措置に伴う、国民健康保険システムの改修を行った。 オンライン資格確認等システム運営費負担金 　被保険者の正しい資格情報を医療機関等でオンラインにより効率的に確認できる仕組みが構築され、安定的なシステム運営を行うためのシステム運用・保守費用等を全医療保険者等で負担した。 【歳入内訳】 ○県補助金（特別調整交付金）１６５千円 　１６５千円×１０／１０
国民健康保険一般被保険者に係る医療給付費分納付金事業 　国保財政運営の責任主体である県が、市町ごとの医療水準や所得水準を考慮して決定した事業費納付金を納付した。
国民健康保険退職被保険者等に係る医療給付費分納付金事業 　国保財政運営の責任主体である県が、市町ごとの医療水準や所得水準を考慮して決定した事業費納付金を納付した。
国民健康保険一般被保険者に係る後期高齢者支援金等分納付金事業 　国保財政運営の責任主体である県が、市町ごとの医療水準や所得水準を考慮して決定した事業費納付金を納付した。
国民健康保険退職被保険者等に係る後期高齢者支援金等分納付金事業 　国保財政運営の責任主体である県が、市町ごとの医療水準や所得水準を考慮して決定した事業費納付金を納付した。
国民健康保険一般・退職被保険者等に係る介護納付金分納付金事業 　国保財政運営の責任主体である県が、市町ごとの医療水準や所得水準を考慮して決定した事業費納付金を納付した。
特定健康診査等事業 　被保険者のＱＯＬ（生活の質）の向上を通した将来的な医療費の適正化を図るため、４０～７４歳までの被保険者を対象に特定健診を実施し、指導が必要な方に対して、特定保健指導（動機付け支援・積極的支援）を行い、生活習慣病の予防を行った。また、特定健診の受診率向上を目的に自己負担額の無料化を引き続き行った。 　　特定健診　２，８３５人、動機付け支援　６４人、積極的支援　１１人 特定健康診査未受診者勧奨事業 　山口県国民健康保険団体連合会の共同処理を活用し、人工知能とソーシャルマーケティングの技法を用いた個々の特性に応じた、より効果的な未受診勧奨を行った。 　　未受診者勧奨通知（年１回）　１４，５００通（勧奨パターン　全５種類） 【歳入内訳】 ○県補助金（県繰入金分（２号分））３４，８７２千円 ○県補助金（特定健康診査等負担金）９，８７８千円 　１４，８１９千円×２／３
国民健康保険制度の周知や健康づくりを推進するため、被保険者に対してパンフレット等を配布した。また、医療費の適正化を図るため、医療費通知、後発医薬品差額通知及び服薬情報通知を行った。 　制度周知・健康パンフレット（年１回）被保険者世帯に配布

主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
115							
115		疾病予防事業	19,723	12,036			7,687
		糖尿病性腎症重症化予防事業	4,401	2,150			2,251
115・116	（基金積立金）基金積立金	国民健康保険基金管理事業	257			257	

事　　業　　内　　容
医療費通知（年６回）　　３７，１９８通 後発医薬品差額通知（年２回）　　８６６通 服薬情報通知（年１回）　　４３５通 【歳入内訳】 ○県補助金（特別調整交付金分）１，９５４千円 ○県補助金（県繰入金分（２号分））５，５９８千円
国民健康保険被保険者対象の人間ドック、任意検査及び歯科検診費用の助成を行い、疾病の早期発見及び重病化の防止を推進することにより、医療費の抑制を図った。また、健診受診の意識付けを図るため、特定健診対象の初年となる４０歳被保険者を対象とした自己負担なしの簡易人間ドックを行った。 宿泊人間ドック　１６８件、日帰り人間ドック・脳検査　１７９件、４０歳人間ドック　８件 任意検査　１，１２３件 【歳入内訳】 ○県補助金（保険者努力支援分）１０，０３６千円 ○県補助金（県繰入金分（２号分））２，０００千円
糖尿病性腎症で通院する患者のうち、重症化するリスクの高い者に対して生活指導を行い、人工透析への移行を防止し、被保険者の健康保持・増進並びに医療費適正化、保険料の抑制を図った。 対象者　７名 【歳入内訳】 ○県補助金（特別調整交付金分）２，１５０千円
令和４年度の基金管理で生じた利子を国民健康保険基金に積み立てた。 【歳入内訳】 ○財産運用収入（国民健康保険基金利子）２５７千円

３．萩市国民健康保険事業（直診勘定）特別会計

Ａ表　予算の執行状況

（単位：円）

区　　分	当初予算額	最終予算額	決　算　額	執　行　率
歳　　入	705,300,000	720,159,000	645,587,437	89.65%
歳　　出	705,300,000	720,159,000	645,587,437	89.65%

Ｂ表　前年度決算額との比較

（単位：円）

区　　分	令和４年度(a)	令和３年度(b)	(a) － (b)
歳　　入	645,587,437	666,758,485	△ 21,171,048
歳　　出	645,587,437	666,758,485	△ 21,171,048
差　　引	0	0	0

Ｃ表　歳入歳出決算額

（単位：円）

区　　分		令和４年度	令和３年度
歳入	1. 診療収入	347,644,060	354,389,102
	2. 使用料及び手数料	1,805,350	2,167,364
	3. 県支出金	19,838,000	23,240,000
	4. 財産収入	4,500	4,500
	5. 繰入金	213,028,669	197,514,780
	6. 諸収入	10,166,858	11,251,030
	7. 市債	53,100,000	69,100,000
	繰越金	0	39,709
	国庫支出金	0	9,052,000
	歳入合計	645,587,437	666,758,485
歳出	1. 総務費	384,879,623	380,297,426
	2. 医業費	174,818,997	184,260,978
	3. 施設整備費	69,942,445	87,180,480
	4. 公債費	15,946,372	15,019,601
	歳出合計	645,587,437	666,758,485
歳入歳出差引額		0	0

決算概況

本年度の決算額は、歳入歳出ともに645,587,437円で前年度決算額から歳入歳出ともに21,171,048円の減少となりました。これは、大島診療所施設整備が完了したことによる事業費の減少によるものです。

歳入については、診療収入347,644,060円、使用料及び手数料1,805,350円、県支出金19,838,000円、財産収入4,500円、繰入金213,028,669円（一般会計繰入金133,824,669円及び事業勘定繰入金79,204,000円）、諸収入10,166,858円及び市債53,100,000円で合計645,587,437円となりました。

歳出については、総務費384,879,623円、医業費174,818,997円、施設整備費69,942,445円及び公債費15,946,372円で合計645,587,437円となりました。

主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
128	（総務費）	見島診療所運営事業(医科)	73,852	522	500	2,946	69,884
～	施設管理費	見島診療所運営事業(歯科)	29,167			540	28,627
130	研究研修費	見島診療所宇津分室運営事業	18,396			12	18,384
	（医業費）	大島診療所運営事業	67,710	433	400	559	66,318
	医業費	川上診療所運営事業	68,283	1,870	1,800	92	64,521
	（施設整備費）	田万川診療所運営事業	33,714			267	33,447
	施設整備費	むつみ診療所運営事業	60,969	1,815	1,800	56	57,298
	（公債費）	須佐診療センター運営事業	63,162			331	62,831
	公債費	弥富診療センター運営事業	109,034	962	900	5,367	101,805
		明木・佐々並診療所運営事業	19,882				19,882
		福川診療所運営事業	31,476			1	31,475
		大島複合施設整備事業	69,942	14,236	47,700		8,006

事　　業　　内　　容
見島（医科・歯科）、見島宇津分室、大島、川上、田万川、むつみ、須佐、弥富、明木、佐々並、福川診療所の管理運営を行った。 主な医療機器の整備 見島診療所（医科）　自動小型分包機 大島診療所　臨床化学分析装置 川上診療所　一般Ｘ線撮影装置一式 むつみ診療所　一般Ｘ線撮影装置一式 弥富診療センター　内視鏡洗浄機 大島複合施設整備事業 旧大島診療所兼医師住宅を解体し、新たに医師・看護師住宅の整備を行った。 大島診療所医師・看護師住宅整備事業 事業期間　令和４年度（令和５年３月３０日完成） 事 業 費　６２，１０６千円 構　　造　木造　２階建て 延床面積　１７５．８７㎡ 施設概要　医師住宅（２階）、看護師住宅（１階/２部屋） 事業内容　建築工事、機械設備工事、電気設備工事 【歳入内訳】 ○県補助金（見島診療所（医科）医療器具整備事業費）５２２千円 １，０４５千円×１／２ ○県補助金（大島診療所医療器具整備事業費）４３３千円 ８６７千円×１／２ ○県補助金（川上診療所医療器具整備事業費）１，８７０千円 ３，７４０千円×１／２ ○県補助金（むつみ診療所医療器具整備事業費）１，８１５千円 ３，６３０千円×１／２ ○県補助金（弥富診療センター医療器具整備事業費）９６２千円 １，９２５千円×１／２ ○県補助金（大島診療所整備事業費）１４，２３６千円 ２８，４７３千円×１／２ ○市債（見島診療所（医科）医療器具整備事業債）５００千円　※辺地債 ○市債（大島診療所医療器具整備事業債）４００千円　※辺地債 ○市債（川上診療所医療器具整備事業債）１，８００千円　※過疎債 ○市債（むつみ診療所医療器具整備事業債）１，８００千円　※過疎債 ○市債（弥富診療センター医療器具整備事業債）９００千円　※辺地債 ○市債（大島診療所整備事業債）４７，７００千円　※辺地債 ○財産運用収入（土地貸付収入）４千円 ○雑入（公衆電話使用料）４千円 ○雑入（在宅当番医負担金）４６５千円 ○雑入（容器売払収入）１１８千円 ○雑入（インフルエンザ予防接種個人負担金）４６千円

主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
128 ～ 130							

事　　業　　内　　容
○雑入（インフルエンザ予防接種助成金）３３千円 ○雑入（福祉複合施設やまびこ光熱水費等負担金）５，１３６千円 ○雑入（学校保健委員会出務手当）１２０千円 ○雑入（死体検案謝金）９千円 ○雑入（臨床実習謝金）４５千円 ○雑入（人生１００年時代づくりソフト事業費交付金）３，０００千円 ○雑入（田万川診療所光熱水費負担金）２５１千円 ○雑入（検診結果通知事務手数料）４千円 ○雑入（自動車損害共済分担金返戻金）４千円 ○雑入（資源物資売払）９３２千円

４．萩市休日急患診療事業特別会計

Ａ表　予算の執行状況

（単位：円）

区　分	当初予算額	最終予算額	決算額	執行率
歳入	104,800,000	98,102,000	93,580,731	95.39%
歳出	104,800,000	98,102,000	93,580,731	95.39%

Ｂ表　前年度決算額との比較

（単位：円）

区　分	令和４年度(a)	令和３年度(a)	(a) － (b)
歳入	93,580,731	96,481,000	△ 2,900,269
歳出	93,580,731	96,481,000	△ 2,900,269
差引	0	0	0

Ｃ表　歳入歳出決算額

（単位：円）

区分		令和４年度	令和３年度
歳入	1. 診療収入	36,239,838	20,899,348
	2. 使用料及び手数料	90,452	53,450
	3. 県支出金	2,917,889	6,501,362
	4. 財産収入	34,855	103,334
	5. 繰入金	48,462,481	62,069,380
	6. 諸収入	5,835,216	6,518,126
	国庫支出金	0	336,000
	歳入合計	93,580,731	96,481,000
歳出	1. 総務費	82,164,702	88,082,611
	2. 医業費	11,308,029	8,398,389
	4. 諸支出金	108,000	0
	歳出合計	93,580,731	96,481,000
歳入歳出差引額		0	0

Ｄ表　受診状況

（１）延べ受診者数

区　分	診療日数	受診者数	1日平均受診者数	1日最大受診者数	1日最小受診者数
内　科	71日	1,768人	25人	89人	8人
歯　科		1,199人	17人	27人	6人

（２）時間帯別受診者数【内科】

区　分	受診者数	割　合
午前９時～午後４時	1,386人	78.4%
午後５時～午後１０時	382人	21.6%

（３）年齢別受診者数【内科】

区　分	受診者数	割　合
０歳～１５歳	535人	30.3%
１６歳～６４歳	757人	42.8%
６５歳以上	476人	26.9%

（４）地域別受診者数【内科】

区　分	受診者数	割　合
萩　市	1,546人	87.4%
阿武町	72人	4.1%
その他	150人	8.5%

（５）症状別受診者数【内科】

区　分	受診者数	割　合	備　考
軽　度	1,529人	86.5%	診察又は処方箋のみ
中　度	153人	8.6%	センター内での注射・点滴等の処置
重　度	86人	4.9%	二次救急医療機関等への紹介

（６）地域別受診者数【歯科】

区　分	受診者数	割　合
萩　市	994人	82.9%
阿武町	82人	6.8%
その他	123人	10.3%

（７）症例別受診者数【歯科】

区　分	受診者数	割　合
紹介	1,041人	86.8%
救急	158人	13.2%

決算概況

本年度の決算額は、歳入歳出ともに93,580,731円となりました。

歳入については、診療収入36,239,838円、使用料及び手数料90,452円、県支出金2,917,889円、財産収入34,855円、繰入金48,462,481円及び諸収入5,835,216円で合計93,580,731円となりました。

歳出については、総務費82,164,702円、医業費11,308,029円及び諸支出金108,000円で合計93,580,731円となりました。

主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
139	（総務費）	休日急患診療センター運営事業	48,375			5,941	42,434
～	施設管理費						
141	（医業費）	発熱外来・検査センター設置運営事業	375	369			6
	医業費						
		休日急患診療センター診療事業	11,308	1,323		20	9,965

事　　業　　内　　容
休日の一次救急を担う休日急患診療センターの管理運営を行った。 【施設概要】 診療科目　内科・歯科 診 療 日　日曜日、祝日及び年末年始（１２月３０日～１月３日） 診療時間　内科　午前９時から午後４時まで、午後５時から午後１０時まで 歯科　午前９時から正午まで、午後１時から午後３時まで 診療体制　内科　医師１人、看護師２～４人 歯科　医師１人、歯科衛生士２人 医師派遣協力医療機関 山口大学医学部附属病院第１～３内科・第１外科・歯科口腔外科 山口県立総合医療センターへき地医療支援部、萩市医師会所属開業医、市立診療所等 令和４年度実績 診療日数　７１日　　受診者数　内科１，７６８人　　歯科１，１９９人 新型コロナウイルス感染症の対応のため、発熱外来を設置した。また、県の委託を受けて地域外来・検査センターを設置するとともに、火曜日と金曜日にＰＣＲ検査が行える体制を確保した。 ＰＣＲ検査体制確保日数　１０４日（火曜日・金曜日）、ＰＣＲ検査実施件数　０件 【歳入内訳】 ○県補助金（新型コロナウイルス感染症医療提供体制強化事業費）１，６９２千円 １，６９２千円×１０/１０ ○手数料（文書料）２５千円 ○使用料（ソーラーパネル設置使用料）６５千円 ○財産運用収入（家屋貸付収入）３５千円 ○雑入（インフルエンザ予防接種個人負担金）５千円 ○雑入（自動販売機電気代負担金）４３千円 ○雑入（休日急患診療センター運営事業協力金）５，７６８千円　※阿武町分 ○雑入（過年度分医薬材料費返還金）２０千円

５．萩市後期高齢者医療事業特別会計

Ａ表　予算の執行状況

（単位：円）

区　　分	当初予算額	最終予算額	決　算　額	執　行　率
歳　　入	992,000,000	1,006,416,000	988,270,181	98.20%
歳　　出	992,000,000	1,006,416,000	972,625,415	96.64%

Ｂ表　前年度決算額との比較

（単位：円）

区　　分	令和４年度(a)	令和３年度(b)	(a) － (b)
歳　　入	988,270,181	967,909,010	20,361,171
歳　　出	972,625,415	953,455,912	19,169,503
差　　引	15,644,766	14,453,098	1,191,668

Ｃ表　被保険者数（各年度末現在）

（単位：人）

区　　分	被保険者数	
	令和４年度	令和３年度
75歳以上の者	10,626	10,354
障害認定を受けた者(65歳以上75歳未満)	135	174
合　　計	10,761	10,528

Ｄ表　療養給付の状況

（単位：円）

区　　分	入院・食事療養	入　院　外	歯　　科	調　　剤
全　　体	5,453,038,439	2,299,276,300	331,257,789	1,425,205,432
現役並み所得分再掲	82,875,713	54,230,557	10,207,168	38,437,687

区　　分	訪問看護	療養費等	計
全　　体	50,582,312	28,911,178	9,588,271,450
現役並み所得分再掲	311,647	703,637	186,766,409

決算概況

本年度の決算額は、歳入988,270,181円、歳出972,625,415円となり、15,644,766円を翌年度に繰り越しました。

歳入については、保険料647,367,975円、使用料及び手数料97,500円、繰入金306,182,455円、諸収入20,169,153円及び前年度繰越金14,453,098円で合計988,270,181円となりました。

歳出については、総務費19,593,678円、後期高齢者医療広域連合納付金932,868,416円、保健事業費19,450,056円及び諸支出金713,265円で合計972,625,415円となりました。

主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
152・153	（後期高齢者医療広域連合納付金）後期高齢者医療広域連合納付金	後期高齢者医療事業	932,868				932,868
153	（保健事業費）保健事業費	介護予防等一体的実施事業	19,450			15,555	3,895

事　　業　　内　　容
後期高齢者医療広域連合納付金事業 市で徴収した後期高齢者医療保険料・後期高齢者医療保険料延滞金を山口県後期高齢者医療広域連合に納付した。 なお、保険料率は、山口県後期高齢者医療広域連合が医療費の状況などにより２年毎に改定され、令和４年度に改定された。 山口県後期高齢者医療広域連合に対し、後期高齢者医療保険基盤安定負担金を納付した。 山口県後期高齢者医療広域連合の運営に係る共通経費（広域連合特別会計）に対して、県下１９市町で負担した。
国民健康保険の保健事業及び介護保険の地域支援事業等と一体的に実施し、被保険者等に必要な医療・介護サービスを総合的に分析し、状況に応じたきめ細やかな支援を行うことで個々の疾病予防や重症化防止を図った。 【歳入内訳】 ○雑入（介護予防等一体的実施事業受託料）１５，５５５千円

６．萩市介護保険事業特別会計

Ａ表　予算の執行状況

（単位：円）

区　分	当初予算額	最終予算額	決算額	執行率
歳入	6,124,400,000	6,191,000,000	5,824,860,084	94.09%
歳出	6,124,400,000	6,191,000,000	5,721,727,569	92.42%

Ｂ表　前年度決算額との比較

（単位：円）

区　分	令和４年度(a)	令和３年度(b)	(a) － (b)
歳入	5,824,860,084	6,042,345,183	△ 217,485,099
歳出	5,721,727,569	5,979,009,329	△ 257,281,760
差引	103,132,515	63,335,854	39,796,661

Ｃ表　保険給付費の状況（財源内訳）

（単位：円）

区　分	歳入額①	保険給付費充当額②	構成比	保険給付費以外の充当先	保険給付費以外の充当額③	充当額計④(②＋③)	繰越額①－④
介護給付費負担金（国）	911,689,358	880,055,793	17.56%	－	－	880,055,793	31,633,565
介護給付費交付金（支払基金）	1,386,907,000	1,353,534,386	27.00%	－	－	1,353,534,386	33,372,614
介護給付費負担金（県）	786,202,000	749,198,559	14.94%	－	－	749,198,559	37,003,441
調整交付金	383,695,000	383,695,000	28.00%	－	－	383,695,000	0
保険料	964,453,278	921,361,083		地域支援事業等	42,283,415	964,453,278	0
				介護給付費準備基金積立金	0		
				その他	808,780		
低所得者介護保険料軽減事業繰入金	79,079,910	79,079,910		－	－	79,079,910	0
介護給付費準備基金繰入金	19,315,799	19,315,799		－	－	19,315,799	0
延滞金	213,500	213,500		－	－	213,500	0
介護給付費繰入金（一般会計）	626,636,290	626,636,290	12.50%	－	－	626,636,290	0
合計	5,158,192,135	5,013,090,320	100.00%		43,092,195	5,056,182,515	102,009,620

D表　保険料収納状況

（単位：円）

区分		調定額	収納額	還付未済額	不納欠損額	未納額	収納率
現年度	特別徴収	900,453,840	900,878,280	424,440	0	0	100.00%
	普通徴収	63,653,500	60,903,431	1,370	0	2,751,439	95.68%
	計	964,107,340	961,781,711	425,810	0	2,751,439	99.71%
滞納繰越分		7,367,713	2,671,567	0	1,685,533	3,010,613	36.26%
合計		971,475,053	964,453,278	425,810	1,685,533	5,762,052	99.23%

E表　第１号被保険者数・要介護認定者数等

（単位：人）

区分		令和４年度	令和３年度	前年度比 R4/R3
第１号被保険者数（３月末現在）		19,357	19,578	98.9%
要支援・要介護認定者数（３月末現在）		3,606	3,608	99.9%
内訳	第１号被保険者	3,551	3,556	99.9%
	第２号被保険者	55	52	105.8%
サービス利用者数（３月末現在）		2,848	2,837	100.4%
内訳	居宅サービス利用者	1,890	1,848	102.3%
	地域密着型サービス利用者	313	317	98.7%
	施設サービス利用者	645	672	96.0%

F表　保険給付の状況

月別　（単位：円）

審査月	保険給付額		前年度比
	令和４年度	令和３年度	R4/R3
４月	429,732,460	462,664,670	92.9%
５月	417,344,214	436,212,912	95.7%
６月	422,847,320	444,016,510	95.2%
７月	418,186,529	436,754,281	95.7%
８月	425,920,202	446,260,363	95.4%
９月	422,400,575	438,775,358	96.3%
１０月	414,225,307	423,774,196	97.7%
１１月	424,378,573	434,915,431	97.6%
１２月	421,422,278	425,848,502	99.0%
１月	420,131,827	428,468,938	98.1%
２月	405,145,157	409,903,840	98.8%
３月	391,355,878	394,421,931	99.2%
計	5,013,090,320	5,182,016,932	96.7%
月平均	417,757,527	431,834,744	96.7%

サービス種類別　　（単位：円）

区分		給付費	サービス種類	給付費
介護サービス等諸費	居宅介護サービス給付費	1,711,701,465	訪問介護（ホームヘルプサービス）	277,950,799
			訪問入浴介護	9,100,401
			訪問看護	90,500,368
			訪問リハビリテーション	16,395,663
			通所介護（デイサービス）	736,411,252
			通所リハビリテーション（デイケア）	85,553,024
			福祉用具貸与	135,571,709
			居宅療養管理指導	13,744,502
			短期入所生活介護（福祉施設ショートステイ）	153,405,489
			短期入所療養介護（医療施設ショートステイ）	3,718,503
			特定施設入居者生活介護	189,349,755
	地域密着型介護サービス給付費	536,394,013	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	215,924,018
			認知症対応型共同生活介護（短期利用）	296,298
			地域密着型介護老人福祉施設	46,997,091
			認知症対応型通所介護	24,437,572
			小規模多機能型居宅介護	116,998,413
			定期巡回・随時対応型訪問介護看護	6,042,915
			地域密着型通所介護	125,697,706
	特例地域密着型介護サービス給付費	4,261,401	大島・相島デイサービス	4,261,401
	施設介護サービス給付費	2,098,394,563	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	1,419,406,442
			介護老人保健施設（老人保健施設）	327,145,422
			介護療養型医療施設（療養型病床群等）	8,373,427
			介護医療院	343,469,272
	居宅介護福祉用具購入費	5,023,504		5,023,504
	居宅介護住宅改修費	8,095,924		8,095,924
	居宅介護サービス計画給付費	219,009,440		219,009,440
	小計	4,582,880,310		4,582,880,310
介護予防サービス等諸費	介護予防サービス給付費	109,592,180	介護予防訪問看護	13,339,302
			介護予防訪問リハビリテーション	2,857,507
			介護予防通所リハビリテーション（デイケア）	40,237,020
			介護予防福祉用具貸与	28,275,337
			介護予防短期入所生活介護（福祉施設ショートステイ）	3,837,742
			介護予防居宅療養管理指導	1,202,283
			介護予防特定施設入居者生活介護	19,842,989
	地域密着型介護予防サービス給付費	10,543,287	介護予防小規模多機能型居宅介護	10,543,287
	介護予防福祉用具購入費	1,627,918		1,627,918

区　　分		給　付　費	サ　ー　ビ　ス　種　類	給　付　費
	介護予防住宅改修費	5,805,778		5,805,778
	介護予防サービス計画給付費	24,217,800		24,217,800
	小　　計	151,786,963		151,786,963
その他諸費	審査支払手数料	5,325,631		5,325,631
高額介護サービス等費	高額介護サービス費	104,109,982		104,109,982
	高額介護予防サービス費	66,961		66,961
	小　　計	104,176,943		104,176,943
高額医療合算介護サービス等費	高額医療合算介護サービス費	14,493,468		14,493,468
	高額医療合算介護予防サービス費	121,676		121,676
	小　　計	14,615,144		14,615,144
特定入所者介護サービス等費	特定入所者介護サービス費	153,942,904		153,942,904
	特定入所者介護予防サービス費	362,425		362,425
	小　　計	154,305,329		154,305,329
合　　計		5,013,090,320		5,013,090,320

G表　介護保険事業計画で定めた給付見込額と保険給付実績の比較

（単位：円）

区　　分	金　　額
介護保険事業計画における保険給付費推計①	5,273,501,000
保険給付費実績②	5,013,090,320
増　減　（②－①）	△ 260,410,680
率（②－①）／①	△4.94％

決算概況

本年度の決算額は、歳入5,824,860,084円、歳出5,721,727,569円となり、103,132,515円を翌年度に繰り越しました。

歳入については、保険料964,453,278円、国庫支出金1,425,759,620円、支払基金交付金1,428,289,514円、県支出金836,310,978円、一般会計繰入金1,057,569,151円、前年度繰越金63,335,854円及びその他の収入29,825,890円、また、19,315,799円を基金から繰入れ、合計5,824,860,084円となりました。

歳出については、総務費121,527,680円、保険給付費5,013,090,320円、地域支援事業費518,119,477円、基金積立金689,280円及び諸支出金68,300,812円で、合計5,721,727,569円となりました。

主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
170	(地域支援事業費)介護予防・生活支援サービス事業費	介護予防・生活支援サービス事業	146,001	55,965		36,552	53,484
171	(地域支援事業費)一般介護予防事業費	一般介護予防事業	6,726	2,617		1,710	2,399
171・172	(地域支援事業費)包括的支援等事業費	包括的支援等事業	350,136	95,096		24,442	230,598

事　　業　　内　　容
介護予防・日常生活支援総合事業において、その提供主体に対して、補助等を行った。 訪問型サービス・通所型サービス（住民主体） 高齢者の生活支援サービス提供を行う住民主体の団体に対し、実施にかかる経費を補助 訪問型サービス　１１箇所（三見、大井、見島、川上、小川、江崎、むつみ、須佐、弥富、佐々並、明木地区） 通所型サービス　１６箇所（木間、三見、大井、大島、相島、見島、川上、小川、江崎、むつみ、須佐、弥富、明木、佐々並、福川、紫福地区） その他の生活支援サービス（給食サービス） 高齢者の見守り、栄養改善を目的とした給食サービスを実施　　延べ２０，１６５食 【歳入内訳】 ○国庫補助金（地域支援事業交付金（介護予防・日常生活支援総合事業））３９，０４３千円 ○県補助金（地域支援事業交付金（介護予防・日常生活支援総合事業））１６，９２２千円 ○支払基金交付金（地域支援事業交付金）３６，５５２千円
高齢者が介護予防に取り組みながら、できるだけ長く生きがいを持ち地域で自立した生活を送ることができるように、介護予防教室の開催や医師・歯科医師等による認知症予防・転倒予防・口腔ケアなどの指導を実施し、介護予防事業の普及啓発を行った。 介護予防事業の実施　延べ２，３２３人 【歳入内訳】 ○国庫補助金（地域支援事業交付金（介護予防・日常生活支援総合事業））１，８２６千円 ○県補助金（地域支援事業交付金（介護予防・日常生活支援総合事業））７９１千円 ○支払基金交付金（地域支援事業交付金）１，７１０千円
地域包括支援センター運営等事業 地域の高齢者の心身の健康の維持、保健・福祉・医療の向上及び生活の安定のために必要な援助・支援を包括的に行う中核機関である地域包括支援センターの運営を行った。 地域における高齢者の相談窓口及び地域包括支援センターの補助機関である在宅介護支援センターの運営を行った。 地域包括支援センターの運営　１箇所 在宅介護支援センターの運営　１３箇所 新しい包括的支援事業（社会保障充実分） 新しい包括的支援事業として位置づけられた、生活支援体制整備事業、認知症施策推進事業、在宅医療・介護連携推進事業、地域ケア会議推進事業の４事業を推進した。 生活支援体制整備事業 地域の生活支援サービス提供体制づくりを支援する「地域ささえあい推進員」の配置　２０箇所 地域の生活支援サービス提供に向けた情報共有及び連携強化の場となる「協議体」の設置　２０箇所 認知症施策推進事業 認知症初期集中支援チーム員会議　１２回 認知症サポーター養成講座　１９回　３３４人（累計９，２９６人） 認知症ガイドブック地域づくり編の全戸配布、認知症カフェの運営支援　２箇所 在宅医療・介護連携推進事業 萩市医師会が導入した地域医療連携情報システム利用料の負担 地域ケア会議推進事業

主要施策並びに事務事業実施状況　　（単位：千円）

決算書ページ	（款）項	事業名	事業費	左の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
171・172							
172	（基金積立金） 基金積立金	介護給付費準備基金管理事業	689			689	

事　　業　　内　　容
地域ケア推進会議　２回、地域ケア生活圏域別会議　３２回、地域ケア個別会議　２２回 成年後見制度利用支援事業 認知症や知的・精神障がい等により、判断能力が不十分な方の権利や財産を守るため、相談支援を行うとともに地域連携ネットワークを構築し、成年後見制度の利用促進を図った。 萩市成年後見制度利用促進協議会　４回 成年後見市長申立て　４件　　成年後見人等への報酬助成　３件 生活支援・家族支援事業 生活支援・家族支援に係る各種サービスを提供することにより、在宅のひとり暮らし高齢者等の自立した生活の継続を可能にするとともに、要介護状態への進行の予防に努めた。また、高齢者の介護を行う家族の経済的・精神的な負担の軽減を行った。 生活支援ホームヘルプサービス　延べ５７．５時間 生活支援ショートステイ　延べ４４日 見島ショートステイ　延べ１３４日 生活支援給食サービス　延べ３３，５３１食 生活支援ハウス運営事業（居住部門５箇所） シルバーハウジング生活援助員派遣事業（３箇所） 緊急通報体制整備事業　１０６台（新規分） 訪問理美容サービス事業　８１回 リフト付タクシー券支給事業　７５人 介護用品・生活支援用具給付等事業　２２０人 地域リハビリテーション推進事業 かがやきリハビリテーション機能強化事業 【歳入内訳】 ○国庫補助金（地域支援事業交付金（包括的支援等事業））６３，０６４千円 ○国庫補助金（成年後見制度利用促進体制整備推進事業）５００千円 ○県補助金（地域支援事業交付金（包括的支援等事業））３１，５３２千円 ○雑入（介護予防支援収入等）２４，４４２千円
令和４年度に基金管理で生じた利子や返還金等を介護給付費準備基金に積み立てた。 利子積立金　１６４千円 返還金等積立金　５２５千円 【歳入内訳】 ○財産運用収入（介護給付費準備基金利子）１６４千円 ○支払基金交付金（地域支援事業支援交付金（令和３年度分追加交付））９５千円 ○雑入（生活支援サービス体制整備事業委託料返還金）４３０千円

定額基金の運用状況に関する調書

第１　萩市土地開発基金

令和４年度基金の運用状況に関する調書

１．運用の状況

（単位：円）

基金名	基金の額	運用額				
		区分	前年度末現在高	当年度中増加高	当年度中減少高	当年度末現在高
萩市土地開発基金	1,294,288,850	現金	1,103,158,124	ア　514,558	0	1,103,672,682
		土地	190,616,168	0	0	190,616,168
		計	1,293,774,292	514,558	0	1,294,288,850

備考　アの内訳

土地貸付料	195,460 円
預金利子	319,098 円
計	514,558 円

２．土地の増減状況

用途別	増減状況			
	前年度末現在高	当年度中増加高	当年度中減少高	当年度末現在高
道路建設用地	16,845.71 ㎡ (51,171,556 円)	0 (0)	0 (0)	16,845.71 ㎡ (51,171,556 円)
福祉施設建設予定地	3,998.00 ㎡ (22,000,000 円)	0 (0)	0 (0)	3,998.00 ㎡ (22,000,000 円)
大照院駐車場整備用地	1,843.61 ㎡ (20,017,266 円)	0 (0)	0 (0)	1,843.61 ㎡ (20,017,266 円)
図書館建設予定地	2,023.00 ㎡ (101,150 円)	0 (0)	0 (0)	2,023.00 ㎡ (101,150 円)
住宅建設予定地	27,623.00 ㎡ (43,357,677 円)	0 (0)	0 (0)	27,623.00 ㎡ (43,357,677 円)
工場用地	2,734.00 ㎡ (4,158,600 円)	0 (0)	0 (0)	2,734.00 ㎡ (4,158,600 円)
史跡保存用地	622.74 ㎡ (832,302 円)	0 (0)	0 (0)	622.74 ㎡ (832,302 円)

用途別	増減状況			
	前年度末現在高	当年度中増加高	当年度中減少高	当年度末現在高
駐車場用地	1,218.00 ㎡ (17,304,520 円)	0 (0)	0 (0)	1,218.00 ㎡ (17,304,520 円)
ゲートボール場・キャンプ場用地	19,700.00 ㎡ (7,392,487 円)	0 (0)	0 (0)	19,700.00 ㎡ (7,392,487 円)
農業施設用地	2,445.00 ㎡ (6,931,600 円)	0 (0)	0 (0)	2,445.00 ㎡ (6,931,600 円)
浦中傾斜地崩壊防止工事用地	1,476.00 ㎡ (1,166,040 円)	0 (0)	0 (0)	1,476.00 ㎡ (1,166,040 円)
弥富住宅道路用地	961.65 ㎡ (2,121,580 円)	0 (0)	0 (0)	961.65 ㎡ (2,121,580 円)
自然公園集団施設整備事業用地	214.00 ㎡ (1,143,320 円)	0 (0)	0 (0)	214.00 ㎡ (1,143,320 円)
保健センター前駐車場用地	290.00 ㎡ (3,253,956 円)	0 (0)	0 (0)	290.00 ㎡ (3,253,956 円)
池ヶ原用地	2,520.54 ㎡ (3,705,193 円)	0 (0)	0 (0)	2,520.54 ㎡ (3,705,193 円)
その他	30,529.59 ㎡ (5,958,921 円)	0 (0)	0 (0)	30,529.59 ㎡ (5,958,921 円)
合計	115,044.84 ㎡ (190,616,168 円)	0 ㎡ (0 円)	0 ㎡ (0 円)	115,044.84 ㎡ (190,616,168 円)

第２　萩市用品調達基金

令和４年度基金の運用状況に関する調書

１．運用の状況

基　金　名	基金の額	運　用　額			
		区分	前年度末現在高	当年度中増加高	当年度中減少高
萩市用品調達基金	3,000,000	現金	2,329,680	ア　33,679,746	イ　33,023,593
		用品	670,320	40,074,854	40,247,944
		計	3,000,000	73,754,600	73,271,537

（単位：円）

運　用　額				
区分	債権（未収金）	債務（未払金）	一般会計払出金	当年度末現在高
現金	7,349,859	7,051,261	781,661	2,502,770
用品	0	0	0	497,230
計	7,349,859	7,051,261	781,661	3,000,000

※参考　（単位：円）

ア の 内 訳		イ の 内 訳	
事　項	金　額	事　項	金　額
当年度中用品払出分収入済額	33,679,719	当年度中用品購入分支払済額	33,023,593
預金利子	27		
合　計	33,679,746	合　計	33,023,593

２．用品の異動状況及び年度末在庫高

（単位：円）

区　分		前年度末現在高（在庫高）	当年度中増加高（購入高）	当年度中減少高			当年度末現在高（在庫高）
				当年度中払出額	当年度中廃棄処分額 当年度中単価調整額	計	
（１）	用紙類	0	15,910,354	15,910,354	0 0	15,910,354	0
	紙製用品	0	1,777,877	1,777,877	0 0	1,777,877	0
	筆記用品	0	1,156,846	1,156,846	0 0	1,156,846	0
	事務用品	0	3,559,434	3,559,434	0 0	3,559,434	0
	ＯＡ用品	0	6,236,800	6,236,800	0 0	6,236,800	0
	収録・整理用品	0	3,723,463	3,723,463	0 0	3,723,463	0
	その他の用品	0	6,583,961	6,583,961	0 0	6,583,961	0
（２）	庁内共通用品	670,320	1,126,119	1,300,478	0 △ 1,269	1,299,209	497,230
合　計		670,320	40,074,854	40,249,213	△ 1,269	40,247,944	497,230

備考　上記の数値は仕入原価による。

令和４年度
各 会 計 決 算 関 係 資 料

萩市総務部財政課
℡　０８３８－２５－３１３１（代表）
　　０８３８－２５－３３４９（直通）